

関東信越厚生局長 殿

開設者名 学校法人 順天堂大学
理事長 小川 秀典

順天堂大学医学部附属順天堂医院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 22 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	114.7 人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	471人	103人	574.0人	看護補助者	15人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	3人	2.5人	5.5人	理学療法士	17人	臨床検査技師	80人
薬剤師	84人	人	84.0人	作業療法士	6人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	人	0.0人	視能訓練士	11人	その他	0人
助産師	44人	人	44.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	1,071人	人	1,071人	臨床工学技士	22人	医療社会事業従事者	4人
准看護師	1人	人	1.0人	栄養士	0人	その他の技術員	11人
歯科衛生士	3人	人	3.0人	歯科技工士	0人	事務職員	192人
管理栄養士	16人	人	16.0人	診療放射線技師	50人	その他の職員	40人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。
- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	939 人	0 人	939 人
1日当たり平均外来患者数	3845 人	39 人	3884 人
1日当たり平均調剤数	6,178剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	141人	・膿疱性乾癬	4人
・多発性硬化症	217人	・広範脊柱管狭窄症	3人
・重症筋無力症	184人	・原発性胆汁性肝硬変	59人
・全身性エリテマトーデス	1094人	・重症急性膵炎	0人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	54人
・再生不良性貧血	40人	・混合性結合組織病	187人
・サルコイドーシス	177人	・原発性免疫不全症候群	8人
・筋萎縮性側索硬化症	27人	・特発性間質性肺炎	19人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	443人	・網膜色素変性症	144人
・特発性血小板減少性紫斑病	113人	・プリオン病	2人
・結節性動脈周囲炎	54人	・肺動脈性肺高血圧症	8人
・潰瘍性大腸炎	346人	・神経線維腫症	18人
・大動脈炎症候群	52人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	22人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2人
・天疱瘡	58人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	2人
・脊髄小脳変性症	71人	・ライソゾーム病	4人
・クローン病	82人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	78人	・脊髄性筋萎縮症	2人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	1468人	・球脊髄性筋萎縮症	4人
・アミロイドーシス	8人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	90人
・後縦靭帯骨化症	42人	・肥大型心筋症	6人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	30人	・ミトコンドリア病	7人
・ウェゲナー肉芽腫症	24人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	86人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	46人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	66人	・黄色靭帯骨化症	2人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	17人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	67人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・眼底三次元画像解析	・
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	・
・悪性黒色腫又は乳がんにおける センチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した 症例検討会の開催頻度	1週間に3~4回程度 1ヶ月13から15回程度 開催
部 検 の 状 況	部検症例数 71 例 / 部検率 12.3%

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1	2型糖尿病の原因因子としての解β細胞オートファジー機能不全	綿田 裕 孝	代謝内分泌学	3,300,000	補委 文部科学省
2	骨格筋萎縮シグナルにおけるPKCδの役割	田村 好 史	代謝内分泌学	1,300,000	補委 文部科学省
3	肝インスリン抵抗性における酸化ストレスの役割	内田 豊 義	代謝内分泌学	1,300,000	補委 文部科学省
4	プロテオーム解析による関節リウマチの疼痛関連物質探索と痛み診断への応用	竹内 和 世	麻酔・ペインクリニック	1,170,000	補委 文部科学省
5	出生直後の遺伝子導入による難聴モデルマウスの聴力の獲得	田崎 京 子	耳鼻咽喉科学	1,560,000	補委 文部科学省
6	O結合型糖化αシヌクレインの解析	志村 秀 樹	神経学	1,690,000	補委 文部科学省
7	一過性の血流制限筋萎縮防止の分子メカニズムの解明	寛 佐 織	代謝内分泌学	2,080,000	補委 文部科学省
8	スポーツビジョンにおける精密眼球運動の検討	工藤 大 介	眼科学	780,000	補委 文部科学省
9	メタボリックシンドロームに合併するCKDにおける肥満遺伝子Agp1の機能解析	萩原 晋 二	腎臓内科学	2,080,000	補委 文部科学省
10	運動によるインスリン感受性亢進における筋-マクロファージ間コミュニケーション	池田 真 一	代謝内分泌学	2,080,000	補委 文部科学省
11	経口糖負荷試験によるメタボリックフレキシビリティ測定法の開発	佐藤 文 彦	代謝内分泌学	2,080,000	補委 文部科学省
12	補体受容体シグナルによる神経新生制御の解明と臨床応用	長谷川麻衣子	麻酔・ペインクリニック	2,210,000	補委 文部科学省
13	単球-マクロファージのインスリン抵抗性と動脈硬化	三田 智 也	代謝内分泌学	1,430,000	補委 文部科学省
14	腎糸球体上皮細胞におけるオートファジー関連蛋白の機能解析	浅沼 悦 子	腎臓内科学	1,950,000	補委 文部科学省
15	遺伝性パーキンソン病モデル細胞におけるmitophagyの細胞死における役割	斉木 臣 二	神経学	1,950,000	補委 文部科学省
16	血糖変動による平滑筋増殖亢進作用のメカニズムの検討	野見山 崇	代謝内分泌学	2,470,000	補委 文部科学省
17	L-asparaginase薬剤性肺炎誘発因子の解明および予防法の検討	鈴木 光 幸	小児科学	1,430,000	補委 文部科学省
18	RT-PCR法による腸管粘膜バリア機構およびプロバイオティクス感染予防効果の解明	久田 研	小児科学	1,560,000	補委 文部科学省
19	新規治療を目指した角化機序における転写調節因子Sp1の活性化機構の解析	高木 敦	皮膚科学	1,950,000	補委 文部科学省
20	脳内アミロイド蛋白に着目した臨床病理学的研究	藤城 弘 樹	精神医学	1,170,000	補委 文部科学省
21	5個の電子(物理)密度を使用した放射線治療計画	斉藤アンネ優子	放射線医学	650,000	補委 文部科学省
22	統合失調症の前駆状態、発症早期における脳の構造変化:MRI撮像の最適化	堀 正 明	放射線医学	1,040,000	補委 文部科学省
23	酸化ストレスによる加齢性筋力低下の分子機構解明	野尻 英 俊	整形外科	1,560,000	補委 文部科学省
24	老人性骨粗鬆症モデルマウスの作製と解析	斎田 良 知	整形外科	1,170,000	補委 文部科学省
25	変形性関節疾患におけるWnt/β-cateninシグナルの機能解析	湯浅 崇 仁	整形外科	1,430,000	補委 文部科学省
26	パルカンの成長板軟骨への血管侵入における作用機序解明	石島 旨 章	整形外科	1,560,000	補委 文部科学省
27	ミクログリアにおける補体受容体シグナルの役割の解明と脳虚血性疾患治療への応用	高橋 良 佳	麻酔・ペインクリニック	2,210,000	補委 文部科学省
28	オピオイドおよび吸入麻酔薬が神経情報伝達制御に与える影響と作用機序に関する研究	工藤 治	麻酔・ペインクリニック	1,170,000	補委 文部科学省
29	蝸牛線維細胞を標的としたBrn-4欠損マウスへの骨髄間葉系幹細胞移植	神谷 和 作	耳鼻咽喉科学	1,690,000	補委 文部科学省
30	難聴モデルマウスにおける聴力獲得の挑戦	飯塚 崇	耳鼻咽喉科学	1,560,000	補委 文部科学省

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
31	G J B 2 遺伝子優性阻害変異マウスの生後発育段階における外有毛細胞の細胞機能評価	成井 裕 弥	耳鼻咽喉科学	1,560,000	補助元 文部科学省
32	便失禁ゼロへの挑戦：古典的洗腸を用いた排便コントロール	宮野 剛	小児外科学	1,300,000	補助元 文部科学省
33	うつ病休職者の同居家族における負担と家族の支援に関する研究	酒井 佳 永	精神医学	910,000	補助元 文部科学省
34	喘息に特異的な肺マクロファージのポピュレーションにおける補助シグナル分子の役割	原田 紀 宏	呼吸器内科学	2,860,000	補助元 文部科学省
35	I g A 腎症における免疫複合体形成機序の解明と新規治療法の開発	鈴木 仁	腎臓内科学	1,950,000	補助元 文部科学省
36	近位尿管 L 型脂肪酸結合蛋白を介した腎内 R A S の調節機構並びに関連病態の解析	谷 藤 千 暁	腎臓内科学	2,080,000	補助元 文部科学省
37	I g A 腎症における拮抗、特に M B L の関与の検討	田中 裕 一	腎臓内科学	1,430,000	補助元 文部科学省
38	新規家族性パーキンソン病の原因遺伝子探索と機能解析	船山 学	神経学	1,300,000	補助元 文部科学省
39	パーキンソン遺伝子異常による病態と放出機構の関係の検討	江口 博 人	神経学	1,820,000	補助元 文部科学省
40	膵β細胞の増殖機能における G a b ファミリーの役割	中山 志 保	代謝内分泌学	2,080,000	補助元 文部科学省
41	炎症性腸疾患の病態におけるガレクチンの免疫調節機能とその治療戦略	工藤 孝 広	小児科学	1,430,000	補助元 文部科学省
42	S G A 児の高次脳機能発達の特徴と somatropin 投与による影響の検討	田中 恭 子	小児科学	1,560,000	補助元 文部科学省
43	慢性疼痛（線維筋痛症）における脳機能画像および睡眠に関する研究	白井 千 恵	精神医学	2,080,000	補助元 文部科学省
44	タンパク質発現解析に基づいた骨軟部腫瘍バイオマーカーの大規模検証及び機能解析	末原 義 之	整形外科	1,690,000	補助元 文部科学省
45	A L D H 1 活性を指標にした子宮内膜・子宮体癌細胞の解析	須 賀 新	産婦人科学	1,430,000	補助元 文部科学省
46	鼻ポリープ由来細胞を用いた副鼻腔炎の I N V I T R O 評価系の確立	小野田 純 子	耳鼻咽喉科学	2,470,000	補助元 文部科学省
47	レーザーキャプチャー顕微鏡を応用した好酸球性副鼻腔炎のエオタキシン分子の解析	八 尾 亨	耳鼻咽喉科学	2,470,000	補助元 文部科学省
48	ステロイドをファーマコゲノミクスマーカーとした好酸球性副鼻腔炎での標的分子の探索	川野 健 二	耳鼻咽喉科学	2,470,000	補助元 文部科学省
49	顔面神経不全麻痺の神経再生ネットワークに関する研究	吉澤 秀 和	形成外科学	2,730,000	補助元 文部科学省
50	がんに対する免疫賦活化抗体療法の開発	八木田 秀 雄	免疫学	16,120,000	補助元 文部科学省
51	リンパ球表面分子および細胞内シグナル伝達分子を標的とした免疫アレルギー疾患の制御	奥 村 康	免疫学	5,330,000	補助元 文部科学省
52	減衰過程中のδビリルビン濃度の推移とアルブミン半減期および機能肝細胞総量との関連	今 村 宏	肝・胆・膵外科学	2,210,000	補助元 文部科学省
53	遺伝子改変マウスを用いた遺伝子難聴の治療開発の挑戦	池田 勝 久	耳鼻咽喉科学	5,460,000	補助元 文部科学省
54	新しいインスリン抵抗性発症因子としての"脂肪感受性"の規定因子の解明	河盛 隆 造	代謝内分泌学	5,590,000	補助元 文部科学省
55	ニッチ特異的ノッチシグナルにより細胞系列決定の分子機構 - T 細胞をモデルとして -	垣 生 園 子	免疫学	5,590,000	補助元 文部科学省
56	オートファジーを焦点とした消化器難治性疾患の病態解明および治療開発	渡辺 純 夫	消化器内科学	2,600,000	補助元 文部科学省
57	パーキンソン病遺伝子改変モデルの解析及びモデル作成	服部 信 孝	神経学	5,980,000	補助元 文部科学省
58	アデノシンレセプターを標的とした好中球機能の調節と急性肺障害に対する治療法の開発	井上 貴 昭	救急・災害医学	5,200,000	補助元 文部科学省
59	パルクソンに着目した筋肥大を制御するメカニカルシグナル受容機構の研究	平澤 恵 理	老研センター	7,410,000	補助元 文部科学省
60	僧帽弁複合体のねじれ運動から見た虚血性僧帽弁逆流発症メカニズムの解明	大門 雅 夫	循環器内科学	390,000	補助元 文部科学省

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
61	水中運動による抗動脈硬化作用機序の解明—3 D管状ヒト血管モデルによる基礎的解析—	島田和典	循環器内科学	650,000	補助元 文部科学省
62	2型糖尿病のコントロールと心理的、社会的要因との関連	弘世貴久	代謝内分泌学	1,560,000	補助元 文部科学省
63	悪性骨軟部腫瘍における浸潤・転移能獲得および治療抵抗性の分子機構の解明	齋藤剛	人体病理病態学	1,430,000	補助元 文部科学省
64	サイクロフィリンによるSARSコロナウイルス複製制御メカニズムの解析	山本典生	総合診療科学	1,430,000	補助元 文部科学省
65	癌細胞死の誘導と免疫活性化による新規癌治療の開発	竹田和由	免疫学	1,430,000	補助元 文部科学省
66	動脈硬化症における酸化リン脂質を介したHDL機能異常の解明	三井田孝	臨床検査医学	1,300,000	補助元 文部科学省
67	肝臓におけるオートファジーの役割の解明	山科俊平	消化器内科学	780,000	補助元 文部科学省
68	新規血管炎症性マーカーPTX3の意義	井上健司	循環器内科学	780,000	補助元 文部科学省
69	IgA腎症の発症と進展における樹状細胞の役割	鈴木祐介	腎臓内科学	910,000	補助元 文部科学省
70	Lipid Raftsにおける家族性パーキンソン病原因たんぱく質の機能解析	久保紳一郎	神経学	910,000	補助元 文部科学省
71	骨髄移植によるβ細胞容積増加のメカニズム	綿田裕孝	代謝内分泌学	1,430,000	補助元 文部科学省
72	胎児胎盤系に着目した早産児脳障害の病態解明	奥村彰久	小児科学	1,170,000	補助元 文部科学省
73	未熟児・新生児における腸管粘膜バリアー機能の検討	清水俊明	小児科学	910,000	補助元 文部科学省
74	アトピー性皮膚炎における知覚神経線維の基底膜侵入メカニズムの解明と治療への応用	高森建二	皮膚科学	1,300,000	補助元 文部科学省
75	レビー小体型認知症の臨床・病理診断基準の妥当性の検討	井関栄三	精神医学	1,040,000	補助元 文部科学省
76	てんかんによって惹起される海馬神経細胞新生は、てんかん原生となるか	中島円	脳神経外科学	1,170,000	補助元 文部科学省
77	細菌性中耳炎における中耳粘膜肥厚分子制御の解明とその治療	古川正幸	耳鼻咽喉科学	780,000	補助元 文部科学省
78	遺伝子治療用ソフトコンタクトレンズの開発	藤巻拓郎	眼科学	130,000	補助元 文部科学省
79	虚血性白質障害におけるインスリン抵抗性の関与と抗酸化ペプチドの保護作用	卜部貴夫	神経学	1,300,000	補助元 文部科学省
80	慢性腎臓病における運動療法評価マーカー作製への試み	谷本光生	腎臓内科学	650,000	補助元 文部科学省
81	自然免疫機構による肝臓の代謝機能モデュレーションと脂肪性肝炎の病態形成機序	池嶋健一	消化器内科学	1,040,000	補助元 文部科学省
82	運動療法の冠動脈粥腫に与える影響に関する研究	代田浩之	循環器内科学	1,950,000	補助元 文部科学省
83	CD44を標的とした中皮腫抗がん剤耐性機構の解明と治療戦略	高橋和久	呼吸器内科学	1,430,000	補助元 文部科学省
84	2型糖尿病モデルマウスを用いた糖尿病性腎症疾患感受性遺伝子座の同定	富野康日己	腎臓内科学	1,560,000	補助元 文部科学省
85	IgA腎症における責任細胞の器器選択的移動に関わる制御機構の解明	堀越哲	腎臓内科学	1,430,000	補助元 文部科学省
86	常染色体優性遺伝性パーキンソン病における新規原因遺伝子単離に向けた遺伝子解析	富山弘幸	神経学	1,690,000	補助元 文部科学省
87	アルツハイマー病の発症、経過における閉塞型睡眠時無呼吸症候群の関与	塩田智美	呼吸器内科学	650,000	補助元 文部科学省
88	NK細胞リンパ腫におけるeIF4E高発現とアスパラギナーゼによる抑制機序の検討	杉本耕一	血液学	1,430,000	補助元 文部科学省
89	CXCR4に関連するCML前駆細胞の骨髄遊走、定着機構の解明とその治療的応用	田部陽子	臨床検査医学	1,560,000	補助元 文部科学省
90	ユビキチン-プロテアソーム系の自己抗体産生における意義の検討	高崎芳成	膠原病内科学	1,690,000	補助元 文部科学省

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
91	SLEにおける性染色体に発現するToll様受容体を介した免疫異常	天野 浩文	膠原病内科学	1,300,000	補委 文部科学省
92	未消化食物由来ペプチドによる食物アレルギーおよび炎症性腸疾患発症に関する検討	大塚 宜一	小児科学	1,300,000	補委 文部科学省
93	functional MRIと脳波の同時計測による統合失調症の認知機能障害の検討	桐野 衛二	精神医学	780,000	補委 文部科学省
94	リン酸化H2AXを用いたヒト癌放射線感受性予測法の開発	笹井 啓資	放射線医学	1,300,000	補委 文部科学省
95	マグネシウム溶液持続脳槽内投与を用いた常温冬眠療法による新しい脳保護法の開発	森 健太郎	脳神経外科学	650,000	補委 文部科学省
96	海馬神経細胞新生を促し生着させる遺伝子導入の効果	菅野 秀宣	脳神経外科学	1,170,000	補委 文部科学省
97	脳内神経ネットワークからみた吸入麻酔薬の情報伝達と作用機序に関する研究	西村 欣也	麻酔・ペインクリニック	1,040,000	補委 文部科学省
98	中耳真珠腫における骨破壊に関わる促進因子と抑制因子の研究	楠 威志	耳鼻咽喉科学	1,430,000	補委 文部科学省
99	神経発癌因子セマフォリン3Aを用いた新形で画期的なアレルギー性鼻炎治療の研究	横井 秀格	耳鼻咽喉科学	1,430,000	補委 文部科学省
100	ステロイド線内障発症におけるエピジェネティック因子の解析	松田 彰	眼科学	1,950,000	補委 文部科学省
101	短期的電気刺激による神経再生の促進と神経端側縫合への応用について	林 礼人	形成外科学	650,000	補委 文部科学省
102	骨格筋における「脂質耐性」のメカニズム解明に関する検討	金澤 昭雄	代謝内分泌学	1,820,000	補委 文部科学省
103	甲状腺乳頭癌の予後予測因子の検討	清水 友章	代謝内分泌学	1,560,000	補委 文部科学省
104	脳GTPシクロヒドロラーゼIの生化学的研究によるドーパ反応性ジストニーの病態解明	古川 芳明	神経学	1,820,000	補委 文部科学省
105	膵ベータ細胞オートファジーにおける亜鉛トランスポーターの役割の解明	藤谷 与士夫	腎付・先端糖尿病治療学	1,690,000	補委 文部科学省
106	ゲノム解析による円形脱毛症疾患感受性遺伝子同定の試み	池田 志孝	皮膚科学	1,950,000	補委 文部科学省
107	特異性正常圧水頭症における白質障害：拡散テンソル、QSIを用いたMRI拡散解析	青木 茂樹	放射線医学	1,950,000	補委 文部科学省
108	子宮体癌細胞の転移能獲得機構の解明	寺尾 泰久	産婦人科学	2,080,000	補委 文部科学省
109	新規抑制レセプターSIGLEC-2および-6による扁桃炎の分子メカニズムの解明	横井 尚子	耳鼻咽喉科学	2,340,000	補委 文部科学省
110	Lymphatic chemotherapyによるリンパ節転移制御法の開発	横山 純吉	耳鼻咽喉科学	1,690,000	補委 文部科学省
111	新規T細胞特異的サイトカインIL-17による慢性扁桃炎発症の分子メカニズム	一針 幸子	耳鼻咽喉科学	1,690,000	補委 文部科学省
112	リンパ脈管筋腫症(LAM)幹細胞の培養とLAMモデルマウス作成への応用	瀬山 邦明	呼吸器内科学	800,000	補委 文部科学省
113	ポドサイト特異的に発現する蛋白の機能解析	淺沼 克彦	腎臓内科学	1,500,000	補委 文部科学省
114	難聴遺伝子変異マウスへのIPS細胞移植による難聴レスキュー	池田 勝久	耳鼻咽喉科学	1,500,000	補委 文部科学省
115	子宮内膜症発生・発症機構へのゲノム多様性の関与	加藤 聖子	産婦人科学	1,900,000	補委 文部科学省
116	アトピー性眼合併症におけるIFNG-PAI-1シグナル	村上 晶	眼科学	1,500,000	補委 文部科学省
117	ギャップ結合分子の変異体での外有毛細胞の収縮能と歪耳音響放射の解離の機序	峯 川 明	耳鼻咽喉科学	1,235,000	補委 文部科学省

計 117件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
1	Juntendo Medical Journal 56: 274-278, 2010	A case of endometriosis in the inguinal region.	Goto M	下部消化管外科学講座
2	Journal of Japanese College of Surgeons 35: 598-602, 2010	A case of metastatic small intestine tumor from breast cancer 19 years after the breast operation.	Kojima Y	下部消化管外科学講座
3	Progress of Digestive Endoscopy 76: 108-109, 2010	A case of radiation-induced giant rectal ulcer.	Kojima Y	下部消化管外科学講座
4	Juntendo Medical Journal 56: 472-477, 2010	A Case of primary appendiceal adenocarcinoma with some interesting PET/CT and SILS findings.	Gao Z	下部消化管外科学講座
5	Juntendo Medical Journal 56: 572-580, 2010	Outcomes of laparoscopic-assisted surgery for pSM colorectal cancer.	Gao Z	下部消化管外科学講座
6	Genes Genet Syst. 85:75-83, 2010	Alu-derived cis-element regulates tumorigenesis-dependent gastric expression of GASDERMIN B (GSDMB).	Komiyama H	下部消化管外科学講座
7	Blood. 115:4302-12. Epub 2010 Jan 28.	Tissue type plasminogen activator regulates myeloid-cell dependent neoangiogenesis during tissue regeneration.	Ohki M	下部消化管外科学講座
8	Int J Clin Oncol 15 : 559-564. 2010	Improvement of long-term survival of colorectal cancer in Japanese-Americans of Hawaii from 1990 to 2001.	Hata M	下部消化管外科学講座
9	Clin J Gastroenterol published on line. DOI 10.1007/s12328-010-0186-5, 2010	Sigmoid colon carcinoma that developed from a sessile-type cancer in a short period of time.	Tomiki Y	下部消化管外科学講座
10	Progress of Digestive Endoscopy 77:128-129, 2010	A case of multiple colonic lipomas treated with ESD and endoscopic unroofing.	Takahashi M	下部消化管外科学講座
11	Journal of Japanese College of Surgeons 35:783-788,	A case of appendicovesical fistula with a 30-Year History.	Kamiyama H	下部消化管外科学講座
12	Genes Genet.Syst. 85,p.75-83,2010	Alu-derived cis-element regulates tumorigenesis-dependent gastric expression of GASDERMIN B(GSDMB)	Hirimitsu K	下部消化管外科学講座
13	Cancer Biol Ther. Sep21;10(6),2010	High levels of fatty acid synthase expression in esophageal cancer represent a potential target for therapy	Orita H	下部消化管外科学講座
14	Surgery Today,40:1084-1087,2010	Jejunal Cancer Detected After a Resection of Bilateral Ovarian Metastasis.	HIROSHI M	下部消化管外科学講座
15	Cornea, 2010; 29 (11 suppl 1): S41-S47	The Epithelium Takes Center Stage in Allergic Keratoconjunctivitis	Ebihara N	眼科学講座
16	Invest Ophthalmol Vis Sci, 2010; 51: 151-155	Functional Roles of Thymic Stromal Lymphopoietin for Chronic Allergic Keratoconjunctivitis	Matsuda A	眼科学講座
17	Br J Ophthalmol, 2010; 94: 513-518	Basophils in the giant papillae of chronic allergic keratoconjunctivitis	Matsuda A	眼科学講座
18	J Allergy Clin Immunol, 2010; 126: 1310-1312	Lymphoid neogenesis in the giant papillae of patients with chronic allergic conjunctivitis	Matsuda A	眼科学講座
19	Exp Eye Res, 2010; 91: 748-754	Role of TGF- β in tissue eosinophilia associated with vernal keratoconjunctivitis	Ohtomo K	眼科学講座
20	J Ocul Pharmacol Ther, 2010; 28: 165-174	A randomized, placebo-controlled clinical trial of tacrolimus ophthalmic suspension 0.1% in severe allergic conjunctivitis	Ohashi Y	眼科学講座
21	Cornea, 2010; 29: 622-627	T cell-related co-stimulatory molecules in the conjunctiva of patients with severe allergic conjunctivitis	Sumi T	眼科学講座
22	Exp Eye Res, 2010; 91: 721-726	Distribution of goblet cells and MUC5AC mRNA in the canine nictitating membrane	Umeda Y	眼科学講座
23	Invest Ophthalmol Vis Sci, 2010; 51: 4523-4530	Lattice Corneal Dystrophy Type IV (p.Leu527Arg) was caused by a founder mutation of the TGFB1 gene in a single Japanese Ancestor	Fukuoka H	眼科学講座
24	Cornea, 2010; 29: 883-888	Mutation analysis of CHST6 gene in Chinese patients with macular corneal dystrophy	Liu Z	眼科学講座
25	Jpn J Ophthalmol, 2010; 54: 481-485	Comparison of the influence of intracameral gentamicin, gatifloxacin, and moxifloxacin on the corneal endothelium in a rabbit model	Kobayakawa S	眼科学講座
26	Am J Ophthalmol, 2010; 149: 133-139	Subthreshold micropulse diode laser photocoagulation for diabetic macular edema in Japanese patients	Ohkoshi K	眼科学講座
27	Am J Ophthalmol, 2010; 150: 856-862	Visualization of subthreshold micropulse diode laser photocoagulation by scanning laser ophthalmoscopy in the mode in the retro mode	Ohkoshi K	眼科学講座
28	Am J Ophthalmol, 2010; 150: 876-882	Intravitreal Injection of Autologous Plasmin Enzyme for Macular Edema Associated with Branch Retinal Vein	Sakuma T	眼科学講座
29	Ophthalmic Epidemiol, 2010; 17: 125-130	Geographical distribution of ophthalmologists before and after the new postgraduate training program in Japan	Ono K	眼科学講座
30	Am J Public Health, 2010; 100: 1784-1788	Global inequality in eye health: country-level analysis from the Global Burden of Disease Study	Ono K	眼科学講座
31	Clinical Ophthalmology, 2010; 4: 1299-1309	Influence of cataract surgery and blood pressure changes caused by sodium restriction on retinal vascular diameter	Tano T	眼科学講座
32	Ophthalmic Epidemiology, 2010; 17: 50-57	Prevalence of Visual Impairment in the Japanese Population by Cause and Severity and Future Projections	Yamada M	眼科学講座
33	Archives of Ophthalmology, 2010; 128: 766-771	The economic cost of visual impairment in Japan	Roberts GB	眼科学講座
34	Invest Ophthalmol Vis Sci, 2010; 51: 277-283	Involvement of platelet coagulation and inflammation in the endothelium of schlemm's canal	Watanabe Y	眼科学講座
35	Clin Ophthalmol, 2010; 4: 383-385	Alternative approach to treating malignant glaucoma after trabeculectomy with unplanned zonullectomy	Ozeki N	眼科学講座
36	J Glaucoma, 2010; 19: 535-539	Elevated serum immunoglobulin G titers against Chlamydia pneumoniae in primary open-angle glaucoma patients without systemic disease	Yuki K	眼科学講座
37	Int J Hamatal, 2010; 92: 535-537	Visualization of subthreshold micropulse diode laser photocoagulation by scanning laser ophthalmoscopy in the mode in the retro mode	Yoshida K	眼科学講座
38	Clin Ophthalmology, 2010; 30: 817-822	Visualization of subthreshold micropulse diode laser photocoagulation by scanning laser ophthalmoscopy in the mode in the retro mode	Marumoto T	眼科学講座
39	Am J Pathol, 2010; 177: 2278-2289	Evidence of oxidative stress in the pathogenesis of fuchs endothelial corneal dystrophy	Jurkunas UV	眼科学講座
40	Journal of Surgical Research,2010	Effect of hemoperfusion using polymyxin B-immobilized fibers on non-shock rat sepsis model	Iba T	救急・災害医学研究室
41	Thromb Res,2010	Frequency and hemostatic abnormalities in pre-DIC patients	Okamoto K	救急・災害医学研究室
42	EMS Mag 39:61-5, 2010.	Target: tPA. Educational efforts help prehospital providers get stroke patients to the appropriate destinations and treatment	Yanagawa Y	救急・災害医学研究室
43	Am J Emerg Med 2010;28:703-7.	Relationship between abnormal pupillary reactivity and the outcome of a psychotropic drug overdose.	Yanagawa Y	救急・災害医学研究室
44	Sci Signal, 2010;3(125):ra45	Purinergic signaling: a fundamental mechanism in neutrophil activation.	Chen Y	救急・災害医学研究室
45	J Emerg Med. 2010, 38(3):17-22.	Spontaneous occlusion of splenic and renal pseudoaneurysm after blunt abdominal trauma: A case report and literature	Inoue Y	救急・災害医学研究室

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
46	Am J Physiol Cell Physiol, 2010, 299:1118-1126.	Adrenergic receptor activation involves ATP release and feedback through purinergic receptors.	Sumi Y	救急・災害医学研究室
47	Nature, 464:104-7, 2010.	Circulating mitochondrial DAMPs cause inflammatory responses to injury.	Zhang Q	救急・災害医学研究室
48	Blood, 116:3475-3484, 2010	Pannexin-1 hemichannel-mediated ATP release together with P2X1 and P2X4 receptors regulate T cell activation at the immune synapse.	Woehrle T	救急・災害医学研究室
49	Am J Physiol Cell Physiol, 299:1118-1126, 2010.	Adrenergic receptor activation involves ATP release and feedback through purinergic receptors.	Sumi Y	救急・災害医学研究室
50	J Leukoc Biol, 2010; 88:1181-9.	Hypertonic stress regulates T cell function via pannexin-1 hemichannels and P2X receptors.	Woehrle T	救急・災害医学研究室
51	Histopathology 57;648-650, 2010	Intravascular large B cell lymphoma with hepatic portal vein, splenic vein and mesenteric vein tumour embolism.	Hajime Yasuda	救急・災害医学研究室
52	J Plast Reconstr Aesthet Surg 63: 858-864, 2010	Comparison of readily available scaffolds for adipose tissue engineering using adipose-derived stem cells	Itoi Y	形成外科学講座
53	Ann Plast Surg 65: 237-244, 2010	Effect of mesenchymal stem cells on skin graft to flap prefabrication: an experimental study	Uysal AC	形成外科学講座
54	J Plast Reconstr Aesthet Surg 63: 1875-1882, 2010	Therapeutic angiogenesis by autologous bone marrow cell implantation together with allogeneic cultured dermal substitute for intractable ulcers in critical limb ischemia	Mizuno H	形成外科学講座
55	J Neurosurg 113:102-109, 2010	The differential effects of pathway- versus target-derived glial cell line-derived neurotrophic factor on peripheral nerve regeneration	Magill CK	形成外科学講座
56	J Craniofac Surg 21: 1434-1437, 2010	Cephalic index of Japanese children with normal brain development	Koizumi T	形成外科学講座
57	J Reconstr Microsurg 26: 583-588, 2010	Microsurgeons are superstitious? A statistical survey by questionnaire	Matsui T	形成外科学講座
58	Acta Haematol, 2010; 123: 215-219	Suppression of eIF4E expression by L-Asparaginase.	Suto H	血液学講座
59	Blood, 2010; 116(15): e41-56	Hematopoiesis in Three-Dimensions: Human and Murine Bone Marrow Architecture Visualised by Confocal Microscopy.	Takaku T	血液学講座
60	Blood, 2010; 115(18): 3787-3795	FOXO3A as a key molecule for all-trans retinoic acid-induced granulocytic differentiation and apoptosis in acute promyelocytic leukemia	Sakoe Y	血液学講座
61	Blood, 2010; 116(20): 4175-4184	Hematopoiesis in Three-Dimensions: Th17 immune responses contribute to the pathophysiology of aplastic anemia.	Peffault de Latour R	血液学講座
62	Cancer Genet Cytogenet, 2010; 201: 111-115	Emergence of two unrelated clones in acute myeloid leukemia with MLL-SEPT9 fusion transcript	Saito H	血液学講座
63	Eur J Haematol, 2010; 84: 310-315	Activity and safety of combination chemotherapy with methotrexate, ifosfamide, l-asparaginase and dexamethasone (MILD) for refractory lymphoid malignancies: a pilot study.	Tsukune Y	血液学講座
64	Exp Hematol, 2010; 38(5):363-372	Structural and biological properties of erythropoietin in <i>Xenopus laevis</i>	Nogawa-Kosaka N	血液学講座
65	Histopathology, 2010; 57(4): 648-650	Intravascular Large B-Cell Lymphoma with Hepatic Portal Vein, Splenic Vein, and Mesenteric Vein Tumor Embolism	Yasuda H	血液学講座
66	Int J Cancer, 2010;	Bortezomib induces apoptosis in T lymphoma cells and natural killer lymphoma cells independent of Epstein-Barr	Iwata S	血液学講座
67	Int J Lab Hematol, 2010; 32(4):419-426	Frequent STAT3 activation is associated with Mcl-1 expression in nasal NK-cell lymphoma	Tsutsui M	血液学講座
68	Intern Med, 2010; 49(23): 2617-2620	Successful Treatment of Extramedullary Tumors in Patients with Multiple Myeloma with Low-dose Thalidomide	Yasuda H	血液学講座
69	J Clin Exp Hematol, 2010; 50(2): 107-112	Characteristics of CD5-positive splenic marginal zone lymphoma with leukemic manifestation; clinical, flow cytometry, and histopathological findings of 11 cases	Kojima M	血液学講座
70	J Neurooncol, 2010; 99(2):295-296	Early CNS relapse in a good-risk primary mediastinal large B-cell lymphoma after combined chemo- and radio-therapy	Sasaki M	血液学講座
71	Leuk Lymphoma, 2010; 51: 2230-2239	Chronic lymphocytic leukemia in a Japanese population: varied immunophenotypic profile, distinctive usage of frequently mutated IGH gene, and indolent clinical behavior.	Tomomatsu J	血液学講座
72	Stem Cell Rev, 2010;	APOA-1 is a Novel Marker of Erythroid Cell Maturation from Hematopoietic Stem Cells in Mice and Humans	Inoue T	血液学講座
73	Tissue engineering, 2010; 16(10): 3251-3259	Efficient differentiation of murine dermal Sca-1(-) cells via initial aggregation culture	Wakabayashi M	血液学講座
74	Interact Cardiovasc Thorac Surg 2010;10(1):53-7.	Clinicopathologic features in resected subcentimeter lung cancer—status of lymph node metastases	Zhou Q	呼吸器外科学講座
75	Thorac Cardiovasc Surg 2010;58(6):345-9.	Prognostic evaluation of nodal staging based on the new IASLC lymph node map for lung cancer.	Takamochi K	呼吸器外科学講座
76	Gen Thorac Cardiovasc Surg 2010;58(9):467-70.	Experience of silicone gel sheets for patients with keloid scars after median sternotomy.	Sakuraba M	呼吸器外科学講座
77	Lung Cancer 2010 Dec 1.	The usefulness of mutation-specific antibodies in detecting epidermal growth factor receptor mutations and in predicting response to tyrosine kinase inhibitor therapy in lung adenocarcinoma.	Kozu Y	呼吸器外科学講座
78	Carcinogenesis 2010;31(10):1794-9.	Association of CYP19A1 polymorphisms with risks for atypical adenomatous hyperplasia and bronchioloalveolar carcinoma in the lungs.	Kohno T	呼吸器外科学講座
79	Ann Thorac Cardiovasc Surg, 2010 Aug;16(1):16-20.	The effects of sheet-type absorbable topical collagen hemostat used to prevent pulmonary fistula after lung	Miyamoto H	呼吸器外科学講座
80	Med Oncol, 2010; 27: 932-937	Actual status of adjuvant chemotherapy for non-small-cell lung cancer at one Japanese cancer center: the need for increased cooperation between medical oncologists and	Shukuya T	呼吸器内科学講座
81	Proc Natl Acad Sci USA, 2010; 107(3): 1100-5	HOXB9, a gene overexpressed in breast cancer, promotes tumorigenicity and lung metastasis. (* First two authors contributed equally to this work.)	Hayashida T	呼吸器内科学講座
82	Lung Cancer, 2010; 67: 194-197	Efficacy of chemotherapy with carboplatin and paclitaxel for unresectable thymic carcinoma.	Igawa S	呼吸器内科学講座
83	Lung Cancer, 2010; 68: 99-104	Pooled analysis of the reports of erlotinib after failure of gefitinib for non-small cell lung cancer.	Kaira K	呼吸器内科学講座
84	Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol, 2010; 298: L784-L792	Complete lack of vitamin C intake generates pulmonary emphysema in senescence marker protein-30 knockout mice.	Koike K	呼吸器内科学講座
85	J. Med. Genet, 2010; 47: 281-287	Clinical and genetic spectrum of Birt-Hogg-Dubé syndrome patients in whom pneumothorax and/or multiple lung cysts are the presenting feature	Kunogi M	呼吸器内科学講座

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
86	Int J Clin Oncol, 2010; 15: 161-165	Evaluation of S-1 as third- or further-line chemotherapy in advanced non-small-cell lung cancer.	Ono A	呼吸器内科学講座
87	Cell, 2010; 141(1): 69-80	A Chromatin-Mediated Reversible Drug-Tolerant State in Cancer Cell Subpopulations.	Sharma SV	呼吸器内科学講座
88	Oncogene, 2010; 29(13): 1941-1951	Osteopontin-mediated enhanced hyaluronan binding induces multidrug resistance in mesothelioma cells.	Tajima K	呼吸器内科学講座
89	J Biol Chem, 2010; 285(6): 4060-73	Tumor necrosis factor- α regulates transforming growth factor- β -dependent epithelial-mesenchymal transition by promoting hyaluronan-CD44-moesin interaction.	Takahashi E	呼吸器内科学講座
90	BMC Bioinformatics, 2010; 11 Suppl 7: S5	A quantitatively-modeled homozygosity mapping algorithm, qHomozygosityMapping, utilizing whole genome single nucleotide polymorphism genotyping data.	Huqun	呼吸器内科学講座
91	Mod Pathol, 2010; 23: 1251-1260	Loss of heterozygosity on tuberous sclerosis complex genes in multifocal micronodular pneumocyte hyperplasia.	Hayashi T	呼吸器内科学講座
92	Lymphat Res Biol, 2010; 8: 81-87	The International LAM Registry: a component of an innovative web-based clinician, researcher, and patient-driven rare disease research platform.	Nurok M	呼吸器内科学講座
93	Lymphat Res Biol, 2010; 8: 21-31	Lymphangioliomyomatosis: a disease involving the lymphatic system.	Seyama K	呼吸器内科学講座
94	Am J Pathol, 2010; 176: 2051-2052; author reply 2052-2054	Lymphangioliomyoma cells and lymphatic endothelial cells: expression of VEGFR-3 in lymphangioliomyoma cell clusters.	Seyama K	呼吸器内科学講座
95	Intern Med, 2010; 49: 439-445	A pleuro-peritoneal communication through the diaphragm affected with lymphangioliomyomatosis.	Takagi Y	呼吸器内科学講座
96	J Clin Oncol, 2010; 28: 4-6	Lymphangioliomyomatosis: cause of a malignant chylous pleural effusion.	Malinowska-Kolodziej I	呼吸器内科学講座
97	Respir Med, 2010; 104: 267-274	Beta-2 Agonist Research and Evaluation Committee in COPD (BAREC) Study Group. Additive effects of transdermal tulobuterol to inhaled tiotropium in patients with COPD.	Ichinose M	呼吸器内科学講座
98	J Thorac Oncol, 2010; 5: 1068-74	A phase I study of enzastaurin combined with pemetrexed in advanced non-small cell lung cancer.	Tanai C	呼吸器内科学講座
99	Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol, 2010; 298: L297-L303	Involvement of Rho kinase in the pathogenesis of acute pulmonary embolism-induced polystyrene microspheres in Multidetector CT of the Lung: Image Quality with Garnet-based Detectors.	Toba M	呼吸器内科学講座
100	Radiology, 2010; 255(3): 944-954	IL-13 and TH2 cytokine exposure triggers matrix metalloproteinase 7-mediated Fas ligand cleavage from bronchial epithelial cells.	Yanagawa M	呼吸器内科学講座
101	J Allergy Clin Immunol, 2010; 126(2): 366-374	Distinct roles of cholinergic receptors in small cell lung cancer cells.	Wadsworth SJ	呼吸器内科学講座
102	Anticancer Research, 2010; 30: 97-108	Reduced miR-146a increases prostaglandin E ₂ in chronic obstructive pulmonary disease fibroblasts.	Zhang S	呼吸器内科学講座
103	Am J Respir Crit Care Med, 2010; 182: 1020-1029	Thymic adenocarcinoma with sarcomatoid features characterized by intracaval tumor growth: report of a case.	Sato T	呼吸器内科学講座
104	Surg Today, 2010; 40: 1068-1072	Hepatic growth factor(HGF) inhibits cigarette smoke extract induced apoptosis in human bronchial epithelial cells.	Ishiwata T	呼吸器内科学講座
105	Exp Cell Res, 2010; 316(20): 3501-3511	Weekly Paclitaxel After Failure of Gemcitabine in Pancreatic Cancer Patients with Malignant Ascites: A Retrospective	Togo S	呼吸器内科学講座
106	Jpn J Clin Oncol, 2010; 40(12): 1135-8	Carboplatin plus weekly paclitaxel treatment in non-small-cell lung cancer patients with interstitial lung disease.	Shukuya T	呼吸器内科学講座
107	Anticancer Res, 2010; 30(10): 4357-61	A Rare image of a pulmonary nodule revealed on FDG-PET	Shukuya T	呼吸器内科学講座
108	Inter Med, 2010; 49: 2275-2276	Peritoneal Vascular Density Assessment Using Narrow Band Imaging and Vascular Analysis Software, and Cytokine Analysis in Women With and Without Endometriosis.	Ichikawa M	呼吸器内科学講座
109	J Minim Invasive Gynecol, 2010; 17: 21-5	Characterization of side-population cells in human normal endometrium and endometrial cancer cells. Review	Kuroda K	産科婦人科学講座
110	Curr. Res. in Cancer, 2010; 4: 51-66	A definitive haplotype map as determined by genotyping duplicated haploid genomes finds a predominant haplotype preference at copy number variation events.	Kato K. and Wake N.	産科婦人科学講座
111	The American Journal of Human Genetics, 2010; 86: 918-928	Low-dose mithramycin exerts its anti-cancer effect via the p53 signaling pathway and synergizes with nutlin-3 in gynecologic cancers.	Kukita Y	産科婦人科学講座
112	Cancer Sci, 2010; 101: 1387-1395	Specific regulation of point-mutated K-ras-immortalized cell proliferation by a photodynamic antisense strategy.	Ongami T	産科婦人科学講座
113	Oligonucleotides, 2010; 20: 37-44	Endometrial cancer side-population cells show prominent migration and have a potential to differentiate into the mesenchymal cell lineage.	Higuchi M	産科婦人科学講座
114	Am J Pathol, 2010; 176: 381-392	Safe primary approach using a micro-laparoscope via the posterior vaginal fornix for patients with previous upper laparotomy: a report of five cases.	Kato K	産科婦人科学講座
115	J Obstet Gynaecol Res. 2010 ;38(1):195-8.	Implantation of a capillary structure engineered by optical lithography improves perfusion, reduces tissue damage, and lessens ambulatory impairment in mouse hindlimb ischemic	Kumakiri J	産科婦人科学講座
116	Tissue Engineering Part A. 2010 Mar;16(3):953-9	Peritoneal vascular density assessment using narrow-band imaging and vascular analysis software, and cytokine analysis in women with and without endometriosis.	Akahori T	産科婦人科学講座
117	J Minim Invasive Gynecol. 2010 ;17:21-25	Strategy for Laparoscopic Cervical Myomectomy.	Kuroda K	産科婦人科学講座
118	J Minim Invasive Gynecol. 2010;17(3):301-5.	Incidence of Complications during Gynecologic Laparoscopic Surgery in Patients after Previous Laparotomy.	Matsuoka S	産科婦人科学講座
119	J Minim Invasive Gynecol. 2010;17(4):480-486.	Knockdown of Efp by DNA-modified small interfering RNA inhibits breast cancer cell proliferation and in vivo tumor	Kumakiri J	産科婦人科学講座
120	Cancer Gene Ther. 2010; 17:624-632	Limitations of internal iliac artery ligation for the reduction of intraoperative hemorrhage during cesarean hysterectomy in cases of placenta previa accreta.	Ueyama K	産科婦人科学講座
121	J Obstet Gynaecol Res. 2010 Apr;38(2):254-9.	Gynecologic Evaluation of Catamenial Pneumothorax Associated with Endometriosis.	Iwata A	産科婦人科学講座
122	J Minim Invasive Gynecol. 2010 Jun 25. [Epub ahead of print]	Increased expression of enzymes for sphingosine 1-phosphate turnover and signaling in human decidua during late	Kumakiri J	産科婦人科学講座
123	Biol Reprod. 2010 ;82(3):628-35. Epub 2009 Dec 9.	Reply of the Authors	Yamamoto Y	産科婦人科学講座
124	Fertil Steril. 2010 Jun 30.	Evaluation of factors contributing to uterine scar formation after laparoscopic myomectomy.	Kumakiri J	産科婦人科学講座
125	Acta Obstet Gynecol Scand. 2010 Aug;89(8):1078-83	The Poly(C)-Binding Protein-1 Regulates Expression of the Androgen Receptor.	Cloke B	産科婦人科学講座
126	Endocrinology (Aug 2010)151:3954-3984	Histopathologic analysis of intestinal endometriosis after laparoscopic low anterior resection.	Jinushi M	産科婦人科学講座
127	J Minim Invasive Gynecol. 2010 .			

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
128	J. Med. Ultrasonics 2010	Attempt to quantify uterine involution using acoustic radiation force impulse before and after placental delivery.	Tanaka T.	産科婦人科学講座
129	Acta Obstet Gynecol Scand. 2010 Dec;89(12):1604-1607, Epub 2010 Nov 5	Linear salpingotomy with suturing by single incision laparoscopic surgery for tubal ectopic pregnancy.	Kumakiri J	産科婦人科学講座
130	Oral Radiology, 2010; 26: 166-169	A case of true conorescence diagnosed with cone-beam CT and in vivo micro-CT	Ono M	歯科・口腔外科学研究室
131	FEBS Letters 584:2327-2332,2010.	Salicylate-induced translocation of prestin having mutation in the GTSRH sequence to the plasma membrane	Shun Kumano	耳鼻咽喉科学講座
132	Head Neck. 32:96-103, 2010.	Frequent expression of Niban in head and neck squamous cell carcinoma and squamous dysplasia.	Ito S	耳鼻咽喉科学講座
133	Acta Otolaryngol, 130:990-995, 2010.	Vestibular function of patients with profound deafness related to GJB2 mutation.	Kasai M	耳鼻咽喉科学講座
134	J Oral Pathol Med 39:74-8, 2010.	Overexpression of GLUT-1 in the invasion front is associated with depth of oral squamous cell carcinoma and prognosis.	Ohba S	耳鼻咽喉科学講座
135	American Journal of Otolaryngology 31:360-363, 2010.	A randomized prospective study of oral levofloxacin versus intravenous flomoxef prophylaxis in postoperative infection after endoscopic sinus surgery.	Inoshita A	耳鼻咽喉科学講座
136	ORL 72:325-331 2010	Expression of IL-17 and Its Role in Bone Destruction in Human Middle Ear Cholesteatoma	Haruyama T	耳鼻咽喉科学講座
137	FEBS Letters 584 : 2327 - 2332 , 2010	Salicylate-induced translocation of prestin having mutation in the GTSRH sequence to the plasma membrane	Kumano S	耳鼻咽喉科学講座
138	Rhinology & Laryngology 119(11) : 749-754 , 2010	Relationship Between Olfactory Acuity and Peak Expiratory Flow During postoperative Follow-Up in Chronic Rhinosinusitis Associated With Asthma. Annals of Otolaryngology	Ikeda K	耳鼻咽喉科学講座
139	The Journal of Immunology 3526-353 Downloaded from www.jimmunol.org on November 11,2010	Antimicrobial Peptides Human β -Defensins and Cathelicidin LL-37 Induce the Secretion of a Pruritogenic Cytokine IL-31 by Human Mast Cells	Francois Niyonsaba	耳鼻咽喉科学講座
140	Hearing Research 270 (2010)110-118	Salicylate restores transport function and anion exchanger activity of missense pendrin mutation	Kenji Ishihara	耳鼻咽喉科学講座
141	Circ J. 2010; 74: 1158-64	Changes of Matrix Metalloproteinase-9 Level Is Associated With Left Ventricular Remodeling Following Acute Myocardial	Miyazaki S	循環器内科学講座
142	Clin Chim Acta. 2010; 411: 253-7	Circadian change of serum concentration of small dense LDL-cholesterol in type 2 diabetic patients	Hirayama S	循環器内科学講座
143	Circ J 74: 271-277, 2010	Clinical characteristics of defecation syncope compared with	Komastu K	循環器内科学講座
144	Atherosclerosis, 2010; 212: 237-42.	Correlation between circulating adiponectin levels and coronary plaque regression during aggressive lipid-lowering therapy in patients with acute coronary syndrome: subgroup analysis of Diabetes Mellitus Is a Major Negative Determinant of Coronary	Ohashi T	循環器内科学講座
145	Circ J. 2010; 74: 1165-74	Plaque Regression During Statin Therapy in Patients With	Hiro T	循環器内科学講座
146	Atherosclerosis, 2010; 210: 497-502	Early intensive statin treatment for six months improves long-term clinical outcomes in patients with acute coronary syndrome (Extended-ESTABLISH trial): a follow-up study	Dohi T	循環器内科学講座
147	Atherosclerosis, 2010; 210: 497-502	Early intensive statin treatment for six months improves long-term clinical outcomes in patients with acute coronary syndrome (Extended-ESTABLISH trial): a follow-up study	Dohi T	循環器内科学講座
148	Lipids Health Dis. 2010; 9: 122	Effects of fenofibrate on lipid profiles, cholesterol ester transfer activity, and in-stent intimal hyperplasia in patients after elective coronary stenting	Miyazaki T	循環器内科学講座
149	J HK Coil Cardiol 18: 44-52, 2010.	Evaluation of pulmonary hypertension using the right to left	Ichinose T	循環器内科学講座
150	Int. J Cardiol 2010; 51: 82-85	Impact of Initial Degree of Coronary Narrowing on Left Ventricular Function in First Myocardial Infarction	Yamagami S	循環器内科学講座
151	J Cardiol Cases 1:e28-e32, 2010	Infective endocarditis associated with acute myocardial infarct	Okai I	循環器内科学講座
152	J Atheroscler Thromb. 2010; 17: 350-5.	Long-term Efficacy of Pravastatin Therapy in Diabetic Patients	Aihara K	循環器内科学講座
153	eneral Medicine, 2010; 11, 17-23.	Medical Interview Skills and Patient Satisfaction Levels in a Setting Utilizing Electronic Medical Records	Yuji Nishizaki et al	循環器内科学講座
154	J Atheroscler Thromb. 2010; 17: 1096-107	More Intensive Lipid Lowering is Associated with Regression of Coronary Atherosclerosis in Diabetic Patients with Acute	Arai H	循環器内科学講座
155	Circ J 74:271-277, 2010	Prevalence of the Brugada-type electrocardiogram and incidence	Hayashi H	循環器内科学講座
156	1. Circ J 74 (Suppl 1): 784, 2010	Rapid improvement and long term stability of pacing threshold	Sekita G	循環器内科学講座
157	Journal of Multidisciplinary Healthcare 2010; 3 49-54.	Relationship between nursing workloads and patient safety incidents	Yuji Nishizaki et al	循環器内科学講座
158	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2010; 19: 190-7	Risk factor profiles of stroke, myocardial infarction, and atrial fibrillation: a Japanese Multicenter Cooperative Registry	Uchiyama S	循環器内科学講座
159	Circ J. 2010; 74: 1704-10.	Synergistic effects of calcium-channel and Angiotensin-receptor blockers on endothelial function and inflammatory responses	Kubota N	循環器内科学講座
160	Cardiovasc Drugs Ther. 2010; 24: 77-83	The PACIFIC (Prevention of Atherothrombotic Incidents Following Ischemic Coronary attack) Registry: Rationale and design of a 2-year study in patients initially hospitalised with acute coronary syndrome in Japan.	Miyauchi K	循環器内科学講座
161	Ann Vasc Dis 3: 117-126, 2010.	T-Type Ca ²⁺ Channel Blockers Increase Smooth Muscle Progenitor Cells and Endothelial Progenitor Cells in Bone Marrow Stromal Cells in Culture by Suppression of Cell Death	Hashimoto R	循環器内科学講座
162	Pediatr Int 2010; 52:729-34.	Peroxisome proliferator-activated receptor gamma 2 mutation may cause a subset of ulcerative colitis.	Aoyagi Y	小児科学講座
163	Pediatr Int 2010; 52: e192-5.	3 β -hydroxy- Δ^5 -C ₂₇ -steroid dehydrogenase/isomerase deficiency in a patient who underwent oral bile acid therapy for 10 years and delivered two healthy infants.	Nitto H	小児科学講座
164	Pediatr Transplant 2010; 14:E88-8.	Liver transplantation for an infant with neonatal intrahepatic cholestasis caused by citrin deficiency using heterozygote living donor.	Shigeta T	小児科学講座
165	Eur J Med Genet 2010; 53:159-61.	Phenotypic overlapping of trisomy 12p and Pallister-Killian syndrome.	Inage E	小児科学講座
166	Pediatr Int 2010; 52:257-61.	Serum indoxyl sulfate as an early marker for detecting chronic cyclosporine nephrotoxicity.	Umino D	小児科学講座

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
167	Acta Paediatr 2010; 99:37-41.	IQF-1, leptin and active ghrelin levels in very low birth weight infants during the first 8 weeks of life.	Ohkawa N	小児科学講座
168	Pediatr Int 2010; 52:584-9.	Increased mucosal expression of GATA-3 and STAT-4 in pediatric ulcerative colitis.	Ohtani K	小児科学講座
169	J Gastroenterol Hepatol 2010; 25:1626-30	Monitoring 6-thioguanine nucleotide concentrations in Japanese children and adolescents with inflammatory bowel	Ohtsuka Y	小児科学講座
170	Neonatology 2010; 97:216-224.	Overfeeding can cause NEC-like enterocolitis in premature rat pups.	Okada K	小児科学講座
171	Brain Dev 2010; 32:564-6.	Transiently reduced water diffusion in the corpus callosum in infants with benign partial epilepsy in infancy.	Okumura A	小児科学講座
172	Brain Dev 2010; 32:813-8.	Nutritional state, maturational delay on electroencephalogram, and developmental outcome in extremely low birth weight	Okumura A	小児科学講座
173	Early Hum Dev 2010; 86:665-7.	Altered gene expression in umbilical cord mononuclear cells in preterm infants with periventricular leukomalacia.	Okumura A	小児科学講座
174	Brain Dev 2010; 32:435-9.	The axonal damage marker tau protein in the cerebrospinal fluid is increased in patients with acute encephalopathy with bihasic seizures and late reduced diffusion.	Tanuma N	小児科学講座
175	Epilepsia 2010; 51:2392-6.	Prolonged EEG depression in term and near-term infants with hypoxic ischemic encephalopathy and later development of West syndrome.	Kato T	小児科学講座
176	Epilepsy Res 2010; 91:143-52.	Genetic seizure susceptibility underlying acute encephalopathies in childhood.	Kobayashi K	小児科学講座
177	Neuropediatric 2010; 41:144-6.	Does the pediatricians' work setting or years of experience influence febrile seizure education?	Sakai R	小児科学講座
178	Neuropediatrics 2010; 41:147-50.	Congenital infiltrating lipomatosis of the face with ipsilateral hemimegalencephaly, band heterotopia, and hypertrophy of brainstem and cerebellum.	Maruyama K	小児科学講座
179	Neuropediatrics 2010; 41:241-5.	Absent cyclicity on aEEG within the first 24 h is associated with brain damage in preterm infants.	Kidokoro H	小児科学講座
180	Pediatr Neurol 2010; 42:375-9.	Early diffusion-weighted images in infants with subcortical leukomalacia.	Kato T	小児科学講座
181	Clin Pediatr Endocrinol 2010; 19:39-44.	Prolonged intracranial hypertension after recombinant growth hormone therapy due to impaired CSF absorption.	Obinata K	小児科学講座
182	Pediatr Infect Dis J 2010; 29:1057-9.	Norovirus encephalopathy in a previously healthy child.	Obinata K	小児科学講座
183	Pediatr Int 2010; 52:e111-3.	Recurrent meningitis with Mondini dysplasia after the operation and vaccination.	Kamata A	小児科学講座
184	J Pediatr Gastroenterol Nutr 2010; 51:96-9.	Development of candida albicans colitis in a child undergoing steroid therapy for ulcerative colitis.	Kudo T	小児科学講座
185	J Clin Microbiol 2010; 48:1624-8.	Bacterial rRNA-targeted reverse transcription-PCR used to identify pathogens responsible for fever with neutropenia.	Sakaguchi S	小児科学講座
186	Pediatr Int 2010; 52:773-7.	Intracellular magnesium and tolerance against hypoxia in immature rat heart.	Sato T	小児科学講座
187	Int J Pediatr 2010;9568915.	Assessment of growth disturbance in Japanese children with	Shono T	小児科学講座
188	Neuropathology 2010; 30:597-605.	Maternal docosahexaenoic acid-enriched diet prevents neonatal brain injury.	Suganuma H	小児科学講座
189	Pediatr In 2010; 52:891-2	Laboratory evaluation of blood plasma separation device in children.	Suzuki M	小児科学講座
190	Pediatr Int 2010; 52:335-6.	Spontaneous shrinkage of a solid pseudopapillary tumor of the pancreas: CT findings.	Suzuki M	小児科学講座
191	J Am Soc Echocardiogr 2010; 23:286-93	Normal rotational, torsion and untwisting data in children, adolescents and young adults.	Takahashi K	小児科学講座
192	Brain Dev 2010; 32:477-81.	Acute encephalopathy with bihasic seizures and late reduced diffusion associated with hemophagocytic syndrome.	Tadokoro R	小児科学講座
193	Paediatr Nurs 2010; 22:31-2.	A need for play specialists in Japanese children's wards.	Tanaka K	小児科学講座
194	Immunology 2010; 130:352-62.	Well-controlled proinflammatory cytokine responses of Peyer's patch cells to probiotic Lactobacillus casei.	Chiba Y	小児科学講座
195	Digestion 2010; 81:188-92.	Efficacy and safety of pulse steroid therapy in Japanese pediatric patients with ulcerative colitis: a survey of the Japanese society for pediatric inflammatory bowel disease.	Nagata S	小児科学講座
196	Beneficial Microbes 2010; 1:357-5.	Beneficial microbes for premature infants, and children with malignancy undergoing chemotherapy.	Yamashiro Y	小児科学講座
197	Microbiol Immunol 2010; 54:265-75.	Anti-infectious activity of synbiotics in a novel mouse model of methicillin-resistant Staphylococcus aureus infection.	Lkhagvadorj E	小児科学講座
198	Pediatr Int 2010; 52:795-800.	Imbalance of peroxisome proliferator-activated receptor gamma and adiponectin predisposes Kawasaki disease patients to developing atherosclerosis.	Fukunaga H	小児科学講座
199	Pediatr Int 2010; 52:e57-9.	Effect of mizoribine in children with inflammatory bowel	Fujii T	小児科学講座
200	Clin Nephrol 2010; 74:303-7.	The successful treatment of rapidly progressive idiopathic membranoproliferative glomerulo-nephritis Type 1 in a 4-year-old male pediatric patient.	Fujinaga S	小児科学講座
201	Pediatr Int 2010; 52:895-6.	Unfavorable outcome in a child with megaureter-megacystis syndrome complicated by mild acute poststreptococcal glomerulonephritis.	Fujinaga S	小児科学講座
202	Pediatr Nephrol 2010; 25:539-44.	Single infusion of rituximab for persistent steroid-dependent minimal-change nephrotic syndrome after long-term cyclosporine.	Fujinaga S	小児科学講座
203	Pediatr Nephrol 2010; 25:563-4.	Low-dose pulse methylprednisolone followed by short-term combination therapy and tonsillectomy for childhood IgA nephropathy.	Fujinaga S	小児科学講座
204	Pediatr Transplant 2010; 14:540-8.	Contribution of B7RP-1/ICOS co-stimulation to lethal acute GVHD.	Fujimura J	小児科学講座
205	Pediatr Surg Int 2010; 26:447-50.	Pancreaticoduodenectomy for pancreatoblastoma: a case report and literature review.	Ohata R	小児科学講座
206	BMC Pediatr 2010; 29:10:53.	Efficacy of bacterial ribosomal RNA-targeted reverse transcription-quantitative PCR for detecting neonatal sepsis: a case control study.	Fujimori M	小児科学講座
207	Pediatr Cardiol 2010; 31:773-9.	Drug-Eluting Stents Ameliorate Pulmonary Vein Stenotic Changes in Pigs In Vivo.	Furukawa T	小児科学講座
208	J Pediatr 2010; 156:158-60.	Autoimmune focal encephalitis shows marked hypermetabolism on positron emission tomography.	Sekigawa M	小児科学講座
209	J Hum Genet 2010; 55:779-84.	Matrix metalloproteinase haplotypes associated with coronary artery aneurysm formation in patients with Kawasaki disease.	Shimizu C	小児科学講座

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
210	Pediatr Int 2010; 52:319-28.	Japanese society of pediatric allergy and clinical immunology. Successful treatment of membranoproliferative glomerulonephritis associated with hepatitis B and C virus simultaneous infection patient.	Kondo N	小児科学講座
211	PLoS One 2010; 5:e11458.	Association of CCR2-CCR5 haplotypes and CCL3L1 copy number with Kawasaki disease, coronary artery lesions, and IVIG responses in Japanese children.	Mamtani M	小児科学講座
212	Brain Dev 2010; 32:390-5.	Neurodevelopment in the offspring of Japanese systemic lupus erythematosus patients.	Yoshikawa N	小児科学講座
213	J Appl Microbiol 2010; 108:779-88.	Quantitative reverse transcription-PCR assay for the rapid detection of methicillin-resistant Staphylococcus aureus.	Wada M	小児科学講座
214	Support Care Cancer 2010; 18:751-9.	Effects of the enteral administration of Bifidobacterium breve on patients undergoing chemotherapy for pediatric	Wada M	小児科学講座
215	順天堂医学2010; 56:564-571.	Histopathological examination of stenosis after stent implantation in porcine arteries.	Ohtsuki M	小児科学講座
216	Brain Dev 2010; 32:849-54.	Association between iron status and neurodevelopmental outcomes among VLBW infants.	Kon N	小児科学講座
217	J.Gastroenterol, 2010;45:335-341	Efficacy of camostat mesilate against dyspepsia associated with non-alcoholic mild pancreatic disease.	Sai JK.	消化器画像診断研究室
218	Cancer Sci,2010; 101:969-974	Antitumor activity of nati-C-ERC/mesothelin monoclonal antibody in vivo.	Inami K.	消化器画像診断研究室
219	World J Gastroenterol,2010; 16:1772-1775	Identification of cerebral response to balloon distention of the bile duct.	Sai JK.	消化器画像診断研究室
220	Hepatology Research,2010,40,2:135-144	Prolonged treatment with pegylated interferon alpha 2b plus ribavirin improves sustained virological response in chronic hepatitis C genotype 1 patients with late response in a clinical real-life setting in Japan.	Watanabe S	消化器内科学講座
221	FEBS Letters,2010,584,4:645-651	Gentamicin inhibits HSP70-assisted protein folding by interfering with substrate recognition.	Yamamoto S	消化器内科学講座
222	J Gastroenterol,2010,45,1:77-85	Ultrasound-guided percutaneous drainage may decrease the mortality of severe acute pancreatitis.	Sato N	消化器内科学講座
223	Journal of Gastroenterology and Hepatology,2010,25,Suppl	Observational comparative trial of the efficacy of PPI versus H2RA for uninvestigated dyspepsia.	Nagahara A	消化器内科学講座
224	Clin J Gastroenterol,2010,3:61-68	Maintenance therapy of gastroesophageal reflux disease.	Nagahara A	消化器内科学講座
225	J Gastroenterol,2010,45,3:335-341	Efficacy of camostat mesilate against dyspepsia associated with non-alcoholic mild pancreatic disease.	Sai J	消化器内科学講座
226	World Journal of Gastroenterology,2010,16,14:1772-1775	Identification of cerebral response to balloon distention of the bile duct.	Sai J	消化器内科学講座
227	Inflamm Bowel Dis,2010,16,2:192-197	Comparison of several activity indices for the evaluation of endoscopic activity in UC: inter- and intraobserver consistency.	Osada T	消化器内科学講座
228	Gastrointest Endosc.,2010	A prospective, multicenter study of 1111 colorectal endoscopic submucosal dissections (with video).	Saito Y	消化器内科学講座
229	Hepatology Research,2010,40,10:1034-1041	Radiofrequency ablation of hepatocellular carcinoma: The feasibility of MRI with Gd-EOB-DTPA for evaluating the ablative margin.	Okubo H	消化器内科学講座
230	Gastrointestinal endoscopy,2010,72,3:660-661	Jejunal Capillary Hemangioma Treated Using Double-Balloon Endoscopy.	Shibuya T	消化器内科学講座
231	Colorectal Disease,2010,12,11:1113-1121	Colonic mucosal lesions associated with long-term or short-term administration of nonsteroidal anti-inflammatory drugs.	Shibuya T	消化器内科学講座
232	Dig Dis Sci.,2010	Establishment of a reflux esophago-laryngitis model in rats.	Asaoka D	消化器内科学講座
233	Adv Med Sci,2010,55,2:137-142	Phase I Study of 5-fluorouracil, paclitaxel and Cisplatin combination chemotherapy for unresectable/recurrent gastric cancer.	Kato J	消化器内科学講座
234	Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol,2010,299,2:329-33	Diabetic KK-Ay mice are highly susceptible to oxidative hepatocellular damage induced by acetaminophen.	Kon K	消化器内科学講座
235	Toxicol Sci.,2010,117,1:101-108	Lysosomal iron mobilization and induction of the mitochondrial permeability transition in acetaminophen-induced toxicity to mouse hepatocytes.	Kon K	消化器内科学講座
236	Journal of Gastroenterology and Hepatology,2010,25,Suppl	Clinicopathologic characteristics of colorectal cancer(Less than 10mm in diameter and invading submucosa and below.	Beppu K	消化器内科学講座
237	Cancer Science,2010,101,4:969-974	Antitumor activity of anti-C-ERC/mesothelin monoclonal antibody in vivo.	Inami K	消化器内科学講座
238	Med Sci Monit.,2010,16,10:CS119-123	Response to chemotherapy in a case of gastric adenocarcinoma producing granulocyte colony-stimulating	Mori H	消化器内科学講座
239	PNAS,2010,107,2:844-848	Disruption of TAK1 in hepatocytes causes hepatic injury, inflammation, fibrosis, and carcinogenesis.	Inokuchi S	消化器内科学講座
240	Life Sciences,2010,86,13-14:499-504	Overexpression of a 60-kDa heat shock protein enhances cytoprotective function of small intestinal epithelial cells.	Takada M	消化器内科学講座
241	Journal of Gastroenterology,2010,45,2:195-203	Inhibition of hepatitis C virus replication by chloroquine targeting	Mizui T	消化器内科学講座
242	J Clin Biochem Nutr. ,2010,47,1:64-73	Correlation of heat shock protein expression to gender difference in development of stress-induced gastric mucosal	Takahashi T	消化器内科学講座
243	JOURNAL OF HEPATOLOGY,2010	CD1d-restricted natural killer T cells contribute to hepatic inflammation and fibrogenesis in mice.	Ishikawa S	消化器内科学講座
244	Journal of Medical Case Reports,2010,4,25	Acute variceal bleeding in a patient with idiopathic myelofibrosis successfully treated with endoscopic variceal band ligation and chemotherapy: a case report.	Tamaki K	消化器内科学講座
245	American Journal of Surgical Pathology,2010,34,5:609-619	Gastric adenocarcinoma of fundic gland type (chief cell predominant type); proposal for a new entity of gastric adenocarcinoma.	Ueyama H	消化器内科学講座
246	Progress of Digestive Endoscopy,2010,77,2:140-141	腹腔鏡下肝生検で診断された肝結節性再生性過形成の1例.	深田浩大	消化器内科学講座
247	Med Sci Monit,2010,16,7:CS81-86	Reactive lymphoid hyperplasia of the liver associated with primary biliary cirrhosis.	Fukuo Y	消化器内科学講座
248	World J Gastrointest Endosc.,2010,2,8:298-300	A novel endoscopic ablation of gastric antral vascular ectasia.	Komiyama M	消化器内科学講座
249	World Journal of Gastroenterology,2010,16,13:1676-1679	Peeling a giant ileal lipoma with endoscopic unroofing and submucosal dissection.	Morimoto T	消化器内科学講座
250	Endoscopy,2010,42,Supplement2:333-334	Endoscopic hemostasis with hemoclips for active gastric variceal bleeding.	Morimoto T	消化器内科学講座

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
251	JOURNAL OF HEPATOLOGY,2010	Ursolic acid ameliorates hepatic fibrosis in the rat by specific induction of apoptosis in hepatic stellate cells.	Wang X	消化器内科学講座
252	Cancer Biology & Therapy, 2010; 10(6):549-554	High levels of fatty acid synthase expression in esophageal cancers represent a potential target for therapy.	Orita H	上部消化管外科学講座
253	Diseases of Esophagus, 2010; 23(5): 415-421	Study of Abnormal Chromosome Regions in Esophageal Squamous Cell Carcinoma by Comparative Genomic hybridization: relationship of Lymph Node Metastasis and Distant Metastasis to Selected Abnormal regions	Sakai N	上部消化管外科学講座
254	Journal of Atherosclerosis and Thrombosis, 2010; 17(4): 350-355	Long-term efficacy of pravastatin therapy in diabetic patients undergoing complete coronary revascularization.	Aihara K	心臓血管外科学講座
255	Annals of Vascular Diseases, 2010; 7(1):84-85	The use of enclose II anastomosis assist device for the proximal coronary branch anastomosis to vascular graft.	Kikuchi K	心臓血管外科学講座
256	Clinical Transplantation, 2010; 24(22):6-10	Prolongation of renal allograft survival by anergic cells: advantages and limitations.	Bashuda H	心臓血管外科学講座
257	Journal of Heart and Lung Transplantation, 2010; 29(7): 818-820	Impact of sairel-to and its individual constituents on cardio allograft survival.	Zhang Q	心臓血管外科学講座
258	Interact Cardiovasc Thrac Surg 2010; 10: 771-776	The role of EuroSCORE in patients undergoing off-pump coronary artery bypass.	Hirose H	心臓血管外科学講座
259	Clin Transplant, July 2010; 24 (22): 6-10	Prolongation of renal allograft survival by anergic cells: advantages and limitations.	Bashuda H	心臓血管外科学講座
260	Stem Cells, Nov 2010; 28(11):2088-2098	Cardiospheres recapitulate a niche-like microenvironment rich in stemness and cell-matrix interactions, rationalizing their enhanced functional potency for myocardial repair.	Li TS	心臓血管外科学講座
261	J Steroids Hormon Sci, Dec 2010; 1:103. doi:10.4172/2157- 7536.1000103	The Proportion of BNP Decline after Left Ventricular Assist Device Implantation Predicts Length of Survival after Surgery	Akashi H	心臓血管外科学講座
262	J Heart Valve Dis. 2010; 19(4):427-33	Echocardiographic assessment of the effects of mitral valve repair on mitral valve geometry in rheumatic mitral stenosis.	Makinae H	心臓血管外科学講座
263	Intern Med. 2010;49(18):2023	Crowned dens syndrome mimicking meningitis	Ishikawa K	脳神経内科
264	Brain 2010;133:1779-1797.	Decreased cerebral cortical serotonin transporter binding in ecstasy users: a positron emission tomography/[11C]DASB and structural brain imaging study	Kish SJ	脳神経内科
265	J Psychopharmacol 2010;24:281-284.	Low striatal serotonin transporter protein in a human polydrug MDMA (ecstasy) user: a case study	Kish SJ	脳神経内科
266	Am J Hum Genet 2010;87:75-89.	Mechanisms of genomic instabilities underlying two common fragile-site-associated loci, PARK2 and DMD, in germ cell and cancer cell lines.	Mitsui J	脳神経内科
267	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2010 Sep-Oct;19(5):393-7.	Comparison of clinical backgrounds with anterior versus posterior circulation infarcts	Miyamoto N	脳神経内科
268	Neurology 2010;75:1658	Opalski syndrome: ipsilateral hemiplegia due to a lateral-medullary infarction	Nakamura S	脳神経内科
269	Int. Orthop., Jun 2, 2010 [Epub ahead of print]	Correlations between both the expression levels of inflammatory mediators and growth factor in medial perimeniscal synovial tissue and the severity of medial knee	Ning L	脳神経内科
270	Brain Nerve 2010;62:1337-40	Cryptococcal meningitis successfully treated with liposomal amphotericin B and voriconazole in an elderly patient	Ogaki K	脳神経内科
271	Matrix Biol. Matrix Biol. 2010 Jul;29(6):484-93	Laminin-121-Recombinant expression and interactions with integrins	Sasaki T	脳神経内科
272	J Stroke Cerebrovasc Dis.,2010.[Epub ahead of print]	Predominant Vasogenic Edema in a Patient with Fatal Cerebral Air Embolism	Tanaka R	脳神経内科
273	Mov Disord.,2010.[Epub ahead of print]	Visual grasping in frontotemporal dementia and parkinsonism linked to chromosome 17 (microtubule-associated with protein tau): A comparison of N-Isopropyl-p-[(123)]-iodoamphetamine brain perfusion single photon emission computed tomography analysis with progressive supranuclear	Ogaki K	脳神経内科
274	J Stroke Cerebrovasc Dis.,2010.[Epub ahead of print]	Benefits of Prestroke Use of Angiotensin Type 1 Receptor Blockers on Ischemic Stroke Severity	Miyamoto N	脳神経内科
275	J Stroke Cerebrovasc Dis.,2010.[Epub ahead of print]	Economy Class Stroke Syndrome after a Long Drive	Tanaka R	脳神経内科
276	Mov Disord.,2010,25(14):2434-7	Rapid screening of ATP13A2 variant with high-resolution melting analysis	Funayama M	脳神経内科
277	Neurology,2010,75(15):1358-61	Phenotypic spectrum of patients with PLA2G6 mutation and PARK14-linked parkinsonism	Yoshino H	脳神経内科
278	Neuroscience,2010,171(4):1367-76	Cilostazol attenuates ischemic brain injury and enhances neurogenesis in the subventricular zone of adult mice after transient focal cerebral ischemia	Tanaka Y	脳神経内科
279	Mov Disord.,2010,25(16):2871-5	Clinical course of the first Asian family with Parkinsonism related to SNCA triplication	Sekine T	脳神経内科
280	Intern Med,2010,49(15):1687	Retroperitoneal fibrosis secondary to pergolide therapy	Fukae J	脳神経内科
281	Intern Med,2010,49(15):1633-6	Isolated proximal leg paresis due to a small cortical infarction	Noda K	脳神経内科
282	Intern Med,2010,49(15):1515-9	Peripheral arterial atherosclerosis in patients with extracranial, not intracranial, arterial stenosis	Watanabe M	脳神経内科
283	J Neuropsychiatry Clin Neurosci,2010,22(3):352.e14-352.e15	Dopamine deficiency may lead to capgras syndrome in Parkinson's disease with dementia	Shiotsuki H	脳神経内科
284	Neurosci Lett,2010,479(3):245-8	No evidence for pathogenic role of GIGYF2 mutation in Parkinson disease in Japanese patients	Li L	脳神経内科
285	Brain Res,2010,1352:214-22	Impaired in vivo dopamine release in parkin knockout mice	Oyamaa G	脳神経内科
286	Neurosci Lett,2010,481(2):88-91	Zonisamide reduces cell death in SH-SY5Y cells via an anti-apoptotic effect and by upregulating MnSOD	Kawajiri S	脳神経内科
287	Matrix Biol,2010,29(6):461-70	Perlecan deficiency causes muscle hypertrophy, a decrease in myostatin expression, and changes in muscle fiber	Xu Z	脳神経内科
288	J Stroke Cerebrovasc Dis,2010,19(5):393-7	Comparison of Clinical Backgrounds with Anterior Versus Posterior Circulation Infarcts	Miyamoto N	脳神経内科
289	Cerebrovasc Dis,2010,30(1):15-22	Patent foramen ovale with atrial septal aneurysm may contribute to white matter lesions in stroke patients	Ueno Y	脳神経内科
290	Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry,2010,34(2):284-7	Successful treatment with Yokukansan for behavioral and psychological symptoms of Parkinsonian dementia	Kawanabe T	脳神経内科
291	J Cell Biol,2010,189(2):211-21	PINK1 stabilized by mitochondrial depolarization recruits Parkin to damaged mitochondria and activates latent Parkin	Matsuda N	脳神経内科
292	J Neurochem,2010,115(4):854-63	Ectopic expression of alpha-synuclein affects the migration of neural stem cells in mouse subventricular zone	Tani M	脳神経内科
293	J Neurosci Methods,2010,189(2):180-5	A rotarod test for evaluation of motor skill learning	Shiotsuki H	脳神経内科
294	J Cereb Blood Flow Metab,2010,30(6):1494-503	Alterations in nitric oxide and endothelin-1 bioactivity underlie cerebrovascular dysfunction in ApoE-deficient mice	Yamashiro K	脳神経内科

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
295	Hum Mol Genet,2010,19(10):1998-2004	Parkinson's disease-related LRRK2 G2019S mutation results from independent mutational events in humans	Lesage S	脳神経内科
296	Intern Med,2010,49(4):343-7	Fukae J, Noda K, Fujishima K, Takahashi T, Hattori N, Okuma	Fukae J	脳神経内科
297	FEBS Lett,2010,389(1):181-6	Kawajiri S, Saiki S, Sato S, Sato F, Hatano T, Eguchi H,	Kawajiri S	脳神経内科
298	Neurobiol Aging,2010,32(3):548.e9-548.e18	A large-scale genetic association study to evaluate the contribution of Omi/HtrA2 (PARK13) to Parkinson's disease	Krüger R	脳神経内科
299	Intern Med. 2010;49(4):343-7	Subacute longitudinal myelitis associated with Behcet's disease: case report and literature review	Fukae J	脳神経内科
300	Neuroscience. 2010;167(2):372-83	Pigment epithelium-derived factor up-regulation induced by memantine, an N-methyl-D-aspartate receptor antagonist, is involved in increased proliferation of hippocampal progenitor	Namba T	脳神経内科
301	Arch Neurol. 2010;67(8):970-5	Association of alpha, beta, and gamma synuclein in diffuse Lewy body disease	Nishioka K	脳神経内科
302	J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2010 Apr;81(4):391-5	A comparative study of LRRK2, PINK1 and genetically undefined familial Parkinson disease. J Neurol Neurosurg	Nishioka K	脳神経内科
303	J Orthop Res. 2010 Jul;28(7):859-64	Distinct Mechanosensitive Ca2+ Influx Mechanisms in Human Primary Synovial Fibroblasts	Sakamoto Y.	脳神経内科
304	Neuropsychopharmacology. 2010 Apr;35(5):1155-84	Association of the HSPG2 gene with neuroleptic-induced tardive dyskinesia	Syu A	脳神経内科
305	Am J Pathol.2010 ;176:320-9.	Conditional deletion of neuronal cyclin-dependent kinase 5 in developing forebrain results in microglial activation and neurodegeneration	Takahashi S	脳神経内科
306	Nephron Clin Pract, 2010; 117:c341-c347	Predictive factors associated with the period of time before initiation of hemodialysis in CKD stages 4 and 5	Furukawa M	腎臓内科学講座
307	J Hypertens. 28:1034-43, 2010	Cilnidipine suppresses podocyte injury and proteinuria in metabolic syndrome rats: possible involvement of N-type calcium channel in podocyte	Fan YY	腎臓内科学講座
308	Nephrology Dialysis Transplant.,2010; 25:3379-3385	Quantitative evaluation and assessment of peritoneal morphologic changes in peritoneal dialysis patients.	Shimaoka T	腎臓内科学講座
309	Semin Dial. Aug 13, 2010	Predictive Factors Associated with Left Ventricular Hypertrophy at Baseline and in the Follow-Up Period in Non-Diabetic Hemodialysis Patients	Io H	腎臓内科学講座
310	Nephrology Dialysis Transplant., 2010; 25:1825-1832	Establishment of a peritoneal mesothelial cell line from a transgenic rat harbouring the temperature-sensitive simian virus 40 large T-antigen gene.	Hotta Y	腎臓内科学講座
311	Peritoneal Dialysis International., 2010;30:353-361	Cardiac function and structure in longitudinal analysis of echocardiography in peritoneal dialysis patients.	Io H	腎臓内科学講座
312	Nephron Exp Nephrol. 2010; 117: 124-132.	Effect of Combination Therapy with Angiotensin Receptor Blocker and 1,25-Dihydroxyvitamin D(3) in Type 2 Diabetic Nephropathy in KK-A/Ta Mice.	Ohara I	腎臓内科学講座
313	Nephrol Dial Transplant. 2010;	Mindin: a novel marker for podocyte injury in diabetic	Murakoshi M	腎臓内科学講座
314	J Clin Immunol 31: 74-79, 2010	Galactosylation of serum IgA1 O-glycan in celiac disease.	Lindfors K	腎臓内科学講座
315	Nephrol Dial Transplant. 2010 Nov 25.	Protective effects of tubular liver-type fatty acid-binding protein against glomerular damage in murine IgA nephropathy.	Zuo N	腎臓内科学講座
316	Nephrol Dial Transplant. 2010 Dec;25(12):3890-7.	Down-regulation of core 1 beta1,3-galactosyltransferase and Cosmc by Th2 cytokine alters O-glycosylation of IgA1.	Yamada K	腎臓内科学講座
317	Mod Rheumatol. 2010 Feb;20(1):54-62.	Clinicoepidemiological manifestations of RPGN and ANCA-associated vasculitides: an 11-year retrospective hospital-based study in Japan.	Suzuki Y	腎臓内科学講座
318	Mol Cell Proteomics 9: 2545-2557, 2010	Clustered O-glycans of IgA1: Defining macro- and micro-heterogeneity by use of electron capture/transfer	Takahashi K	腎臓内科学講座
319	Biochemistry 13: 5671-5682, 2010	Recognition of Galactose-Deficient O-Glycans in the Hinge Region of IgA1 by N-Acetylgalactosamine-Specific Snail Lectins: A Comparative Binding Study.	Gomes MM	腎臓内科学講座
320	Nephrol Dial Transplant 25: 1708-1713, 2010	Glomerulonephritis after Hematopoietic Cell Transplantation: IgA Nephropathy with Increased Excretion of Galactose-deficient-IgA1	Hu SL	腎臓内科学講座
321	Proteomics Clin Appl 4: 464-478, 2010	Comprehensive human urine standards for comparability and standardization in clinical proteome analysis.	Mischak H	腎臓内科学講座
322	Clin Exp Nephrol. , 14: 396-400, 2010	Evidence of immunopathological traces mucormycosis: an autopsy case	Kusaba G	腎臓内科学講座
323	J Clin Lab Anal. 24:113-118, 2010	Metabolic impact on serum levels of complement Component 3 in Japanese patients.	Ohsawa I	腎臓内科学講座
324	Clin Nephrol. 73:157-162,2010	Type B insulin resistance syndrome with systemic lupus erythematosus.	Sato N	腎臓内科学講座
325	Research and Clinical Practice. 87:228-232, 2010	Diabetic Nephropathy Remission and Regression Team Trial in Japan (DNETT-Japan): Rationale and study	Shikata K	腎臓内科学講座
326	Mod Rheumatol. 20:291-294, 2010	Improvement of rapidly progressive lupus nephritis associated MPO-ANCA with tacrolimus.	Morimoto S	腎臓内科学講座
327	Kidney Int. 77:921-927,2010	The Oxford IgA nephropathy clinicopathological classification is valid for children as well as adults.	Coppo R	腎臓内科学講座
328	BMC Nephrol 2010;11:34	Complement in patients receiving maintenance hemodialysis: functional screening and quantitative analysis.	Inoshita H	腎臓内科学講座
329	NDT Plus 2010; 3 :136-141	Evidence of latent pathogenesis of Propionibacterium acnes infection in a patient with renal sarcoidosis.	Ishii M	腎臓内科学講座
330	Microbiology and Immunology 59: 691-701, 2010	Altered antibody production and helper T cell function in mice lacking chemokines CCL19 and CCL21-Ser.	Aritomi K	整形外科講座
331	Biochem Biophys Res Commun 399: 721-726, 2010	Hypoxia induces adipogenic differentiation of myoblastic cell lines.	Itoigawa Y	整形外科講座
332	J Plast Reconstr Aesthet Surg 63: 543-546, 2010	Combined sliding flap using a single perforator enables simple closure of the donor site: A case report.	Katsuragi Y	整形外科講座
333	Jpn J Clin Oncol 40: 60-72, 2010	Pftein as a prognostic biomarker in gastrointestinal stromal tumor: Novel monoclonal antibody and external validation study in multiple clinical facilities.	Kikuta K	整形外科講座
334	Proteomics Clin Appl 4: 560-567, 2010	Peroxiredoxin 2 as a chemotherapy responsiveness biomarker candidate in osteosarcoma revealed by proteomics.	Kikuta K	整形外科講座
335	J Orthop Sci 15: 641-646, 2010	A longitudinal study of the relationship between the status of bone marrow abnormalities and progression of knee	Kubota M	整形外科講座
336	Free Radic Biol Med 48:1252-1262, 2010	Oxidative stress in skeletal muscle causes severe disturbance of exercise activity without muscle atrophy.	Kuwahara H	整形外科講座

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
337	Clin Rheumatol 29: 1185-1190, 2010	Correlation between synovitis detected on enhanced-magnetic resonance imaging and a histological analysis with a patient-oriented outcome measure for Japanese patients with end-stage knee osteoarthritis receiving joint	Liu L	整形外科科学講座
338	Life Sciences 86: 538-543, 2010	Evaluation of the effect of glucosamine on an experimental rat osteoarthritis model.	Naito K	整形外科科学講座
339	J Orthop Res 28: 361-369, 2010	Low-intensity pulsed ultrasound (LIPUS) increases the articular cartilage type II collagen in a rat osteoarthritis	Naito K	整形外科科学講座
340	Hand Surg 15: 57-60, 2010	An unusual fracture-dislocation of the trapeziometacarpal joint	Narushima Y	整形外科科学講座
341	J Orthop Res 28: 859-864, 2010	Distinct mechanosensitive Ca ²⁺ influx mechanisms in human primary synovial fibroblasts.	Sakamoto Y	整形外科科学講座
342	Journal of Anatomy (E pub), Nov 30, 2010	Anatomical and functional segments of the deltoid musc.	Sakoma M	整形外科科学講座
343	J Orthop Surg. (Hong Kong) 18: 58-62, 2010	Bone versus soft-tissue sarcomas in the elderly.	Torigoe T	整形外科科学講座
344	J Biol Chem 285: 317-27, 2010	Wnt/ β -catenin and retinoic acid receptor signaling pathways interact to regulate chondrocyte function and matrix	Yasuhara R	整形外科科学講座
345	Neurosci Lett,2010;18:469:55-59.	Association analysis between functional polymorphism of the rs4606 SNP in the RGS2 gene and antipsychotic-induced Parkinsonism in Japanese patients with schizophrenia: results from the Juntendo University Schizophrenia Projects (JUSP).	Higa M	精神医学講座
346	Synapse,2010;64:814-821.	Effects of repeated electroconvulsive seizure on cell proliferation in the rat hippocampus.	Ito M	精神医学講座
347	Clin Neuropharmacol,2010;33:74-78.	Estimation of plasma IC50 of donepezil for cerebral acetylcholinesterase inhibition in patients with Alzheimer disease using positron emission tomography.	Ota T	精神医学講座
348	J Neuropsychiatry Clin Neurosci,2010;22:70-74.	Executive dysfunction in remitted late-life depression: Juntendo University Mood Disorder Projects (JUMP).	Baba K	精神医学講座
349	J Alzheimers Dis,2010;20:417-21.	Genetic association between CALHM1, 2, and 3 polymorphisms and Alzheimer's disease in a Japanese population.	Shibata N	精神医学講座
350	Dement Geriatr Cogn Disord,2010;30:78-82.	Genetic association between PLTP gene polymorphisms and Alzheimer's disease in a Japanese population.	Kurban B	精神医学講座
351	Schizophrenia Res,2010;118:300-302.	No association between DAO and schizophrenia in a Japanese patient population: a multicenter replication study.	Ohnuma T	精神医学講座
352	Psychiatry Clin Neurosci,2010;64:52-6.	Open wards versus locked wards of general hospitals in the treatment of psychiatric patients with medical comorbidities: a cross-sectional study in Tokyo.	Hatta K	精神医学講座
353	Psychiatry Res,2010;15:177:27-31.	Plasma alanine levels increase in patients with schizophrenia as their clinical symptoms improve-Results from the Juntendo University Schizophrenia Projects (JUSP).	Hatano T	精神医学講座
354	J Clin Hypertens 12:166-173, 2010.	Longitudinal community-based assessment of blood pressure control among Japanese hypertensive patients: Fukushima Research of Hypertension (FRESH).	Yokokawa H	総合診療科学講座
355	International Electronic Journal of Health Education, 2010; 13:1-13	Diabetes Control among Vietnamese Patients in Ho Chi Minh City: An Observational Cross-Sectional Study	Yokokawa H	総合診療科学講座
356	Fukushima J Med Sci (3):56: 2010	Epidemiology research training in Vietnam: Evaluation at the five year mark.	Goto A	総合診療科学講座
357	Fukushima J Med Sci 56:80-88, 2010.	Association between maternal feeling about pregnancy and child's lifestyle.	Saito T	総合診療科学講座
358	Obesity Research & Clinical Practice 4:e333-e337, 2010	High cardiovascular risk factors among obese children in an urban area of Japan.	Sato Y	総合診療科学講座
359	Am J Hypertens 23:1299-1305, 2010.	Characteristics of antihypertensive medication and change of prescription over one year of follow-up in Japan; Fukushima Research of Hypertension (FRESH).	Yokokawa H	総合診療科学講座
360	Obesity Research & Clinical Practice 4:e293-e299, 2010	Characteristics of metabolic syndrome and its clinical components among diabetic Vietnamese patients: an observational cross-sectional study performed at two institutions in Ho Chi Minh City.	Yokokawa H	総合診療科学講座
361	Clin Exp Rheumatol, 2010, 28: 419-423	A new hypothesis of the possible mechanisms of gender differences in systemic lupus erythematosus:	Sekigawa I	総合診療科学講座
362	General Medicine 2010 ; 11 :91-92.	A case of synovitis acne pustulosis hyperostosis osteitis (SAPHO) syndrome.	Sugihara E	総合診療科学講座
363	Mod Rheumatol. 20:54-62,2010	Clinicoepidemiological manifestations of RPGN and ANCA-associated vasculitides: an 11-year retrospective hospital-based study in Japan.	Suzuki Y	総合診療科学講座
364	J Rheumatol 37:723-729,2010.	the Study Group for the Japanese Ministry of Health , Labor and Welfare, Research for Establishment of Therapeutic Guidelines in Early Rheumatoid Arthritis Program.	Ichikawa Y	総合診療科学講座
365	Rheumatol 49:348-354,2010.	Positron emission tomography/computed tomography: a clinical tool for evaluation of enthesitis in patients with spondyloarthritis.	Taniguchi Y	総合診療科学講座
366	Rheumatology 49:829,2010.	Clinical implication of 18F-fluorodeoxyglucose PET/CT in monitoring disease activity in spondyloarthritis.	Taniguchi Y	総合診療科学講座
367	Ann Rheum Dis. 2010 Oct;69(10):1744-50.	EULAR points to consider in the development of classification and diagnostic criteria in systemic vasculitis.	Basu N	総合診療科学講座
368	Mod Rheumatol. 2010 Sep 28. [Epub ahead of print] (In press)	Antineutrophil cytoplasmic antibodies against myeloperoxidase, proteinase 3, elastase, cathepsin G and lactoferrin in Japanese patients with rheumatoid arthritis.	Kida I	総合診療科学講座
369	DNA Research 2010;17:369-79.	A novel hollow fiber array for focused microarray analysis.	Okuzaki D	総合診療科学講座
370	Annals of Medicine, Early Online, 2010; 1-11	Absolute value of visceral fat area measured on computed tomography scans and obesity-related cardiovascular risk factors in large-scale Japanese general population(the VACATION-J study)	Hiuge-Shimizu A	総合診療科学講座
371	Diabetes, 2010; 59: 1030-7	Inhibition of monocyte adhesion to endothelial cells and attenuation of atherosclerotic lesion by a glucagon-like peptide-1 receptor agonist, exendin-4	M. Arakawa	代謝内分泌学講座
372	Nat Med, 2010; 16: 804-8	Serotonin regulates pancreatic beta cell mass during	H. Kim	代謝内分泌学講座

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
373	Clin Exp Nephrol, 2010; 14: 315-24	Overexpression of acetyl-coenzyme A carboxylase beta increases proinflammatory cytokines in cultured human renal proximal tubular epithelial cells	Kobayashi H	代謝内分科学講座
374	Diabetology International, 2010; 1: 65-71	Investigation of clinical factors associated with development of chronic kidney disease and eGFR decline in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus	K. Komiya	代謝内分科学講座
375	Biochem Biophys Res Commun, 2010; 401: 561-7	Free fatty acids stimulate autophagy in pancreatic beta-cells via JNK pathway	K. Komiya	代謝内分科学講座
376	Journal of Diabetes Investigation, 2010; 1: 60-65	Combination therapy of miglitol and insulin in type 1 diabetes mellitus patients	S. Kubo	代謝内分科学講座
377	J Sci Med Sport, 2010; 14: 95-99	Blood flow restriction by low compressive force prevents disuse muscular weakness	A. Kubota	代謝内分科学講座
378	Diabetes, 2010; 59: 2075-9	Replication study for the association between four Loci identified by a genome-wide association study on European American subjects with type 1 diabetes and susceptibility to diabetic nephropathy in Japanese subjects with type 2	S. Maeda	代謝内分科学講座
379	Biochem Biophys Res Commun, 2010; 395: 477-83	Impact of insulin resistance on enhanced monocyte adhesion to endothelial cells and atherosclerosis independent of LDL cholesterol level	T. Mita	代謝内分科学講座
380	Diabetes Care, 2010; 33(4): 842-6	A single nucleotide polymorphism in KCNQ1 is associated with susceptibility to diabetic nephropathy in Japanese subjects with type 2 diabetes	T. Ohshige	代謝内分科学講座
381	Intern Med, 2010; 49: 2317-20	Fulminant emphysematous pyelonephritis (EPN) in a diabetic patient suspected of having multiple tumors	J. Sato	代謝内分科学講座
382	Journal of Diabetes Investigation, 2010; 1: 172-183	Combination treatment of db/db mice with exendin-4 and gastrin preserves β -cell mass by stimulating β -cell growth and differentiation	M. Tamaki	代謝内分科学講座
383	Metabolism, 2010; 59: 62-63	Preliminary report: mitochondrial DNA 5178 polymorphism in male elite Japanese endurance runners	Y. Tamura	代謝内分科学講座
384	Endocr J, 2010; 57: 439-43	Superior thyroid artery mean peak systolic velocity for the diagnosis of thyrotoxicosis in Japanese patients	T. Uchida	代謝内分科学講座
385	Journal of Diabetes Investigation, 2010; 1: 149-153	Comparison of thrice-daily lispro 50/50 vs thrice-daily lispro in combination with sulfonylurea as initial insulin therapy for type 2 diabetes	K. Yamashiro	代謝内分科学講座
386	Nat Genet, 2010; 42: 864-8	A genome-wide association study in the Japanese population identifies susceptibility loci for type 2 diabetes at UBE2E2 and C2CD4A-C2CD4B	T. Yamauchi	代謝内分科学講座
387	Journal of Diabetes Investigation, 2010 On line; Epub ahead of print	Determinants of intramyocellular lipid accumulation after dietary fat loading in non-obese men	Y. Sakurai	代謝内分科学講座
388	Neurol Med Chir (Tokyo), 2010; 50: 150-153	Huge supratentorial extraventricular anaplastic ependymoma presenting with massive calcification—case report	Hamano E	脳神経外科学講座
389	Neurol Med Chir (Tokyo), 2010; 50: 482-484	Infantile chronic subdural hematoma infected by Escherichia coli—case report	Iimura Y	脳神経外科学講座
390	Neurol Med Chir (Tokyo), 2010; 50: 236-239	Malignant transformation 20 years after partial removal of intracranial epidermoid cyst	Nakao Y	脳神経外科学講座
391	Surg Neurol International, 2010; 1: 1-3	A ruptured internal carotid artery aneurysm located at the origin of the duplicated middle cerebral artery associated with accessory middle cerebral artery and middle cerebral artery	Otani N	脳神経外科学講座
392	Neurol Med Chir (Tokyo), 2010; 50: 1108-1112	Anaplastic pleomorphic xanthoastrocytoma with a component of anaplastic astrocytoma as skull base tumor followed by downward extracranial extension	Tsutsumi S	脳神経外科学講座
393	Neurol Med Chir (Tokyo), 2010; 50: 499-502	Metastatic skull base tumor from thymic carcinoma mimicking Tolosa-Hunt syndrome—case report	Tsutsumi S	脳神経外科学講座
394	Neuro Med Chir (Tokyo), 2010; 50: 1031-1035	Intramedullary primitive neuroectodermal tumor presenting with rapidly progressive caudal equine syndrome	Tsutsumi S	脳神経外科学講座
395	J Neuroimaging, 2010; 20: 376-378	Atypical megadolichoectasia manifesting as brain infarction rapidly followed by fatal subarachnoid hemorrhage	Tsutsumi S	脳神経外科学講座
396	No Shinko Geka, 2010; 38: 1019-1024	A case of chondroblastoma arising from the temporal bone	Tsutsumi S	脳神経外科学講座
397	Nervous System in Children, 2010; 34: 490-494	Thoracic intramedullary arteriovenous malformation in a pediatric patient manifesting as subarachnoid hemorrhage and successfully treated with endovascular surgery—a case	Tsutsumi S	脳神経外科学講座
398	Neurol Med Chir (Tokyo), 2010; 50: 502-505	Chondrosarcoma with atypical clinical presentation and treated by gamma knife radiosurgery for multiple brain metastases—case report	Tsutsumi S	脳神経外科学講座
399	Neurol Med Chir (Tokyo), 2010; 50: 49-53	Revascularization for anterior cerebral artery aneurysms—three case reports—	Uozumi Y	脳神経外科学講座
400	World Neurosurg, 2010; 73: 675-682	Efficacy of low-dose tissue-plasminogen activator intracisternal administration for the prevention of cerebral vasospasm after subarachnoid hemorrhage	Yamamoto T	脳神経外科学講座
401	AJNR, 2010; 31: 651-655	Transvenous embolization of dural carotid cavernous fistulas: a series of 44 consecutive patients	Yoshida K	脳神経外科学講座
402	J Sex Med, 2010; 7(3):1277-83	Impact of Dry Ejaculation Caused by Highly Selective alpha1A-blocker: Randomized, Double-blind, Placebo-controlled Crossover Pilot Study in Healthy Volunteer Men.	Shimizu F	泌尿器科学講座
403	Scand J Urol Nephrol, 2010; 44(1):38-45	Long-term treatment and prognostic factors of alpha 1-blockers for lower urinary tract symptoms associated with benign prostatic hyperplasia: a pilot study comparing naftopidil and tamsulosin hydrochloride.	Kawachi Y	泌尿器科学講座
404	Urol Int, 2010 Aug 18;85(2):209-15. Epub	Association of seminal plasma motility inhibitors/semenogelins with sperm in asthenozoospermia-	Terai K	泌尿器科学講座
405	J Invest Dermatol, 2010; 614-617	Staphylococcus aureus Extracellular Protease Causes Epidermal Barrier Dysfunction.	Hirasawa Y	皮膚科学講座
406	Medical Mycology, 2010; 48:229-233	Quantitative analysis of the cutaneous Malassezia microbiota in 770 healthy Japanese by age and gender using a real-time PCR assay.	Sugita T	皮膚科学講座
407	J Dermatol, 2010; 37: 255-258	Immunoglobulin A against desmoglein 1, envoplakin, periplakin and BP230 in a patient with atypical bullous pemphigoid.	Yamaki F	皮膚科学講座
408	J Dermatol sci, 2010; 58:64-71	Keratinocyte-derived anosmin-1, an extracellular glycoprotein encoded by the X-linked Kallmann syndrome gene, is involved in modulation of epidermal nerve density in atopic dermatitis.	Tengara S	皮膚科学講座
409	J Dermatol sci, 2010; 59:40-49	Investigators for the Japanese Infliximab study: Infliximab monotherapy in Japanese patients with moderate-to-severe plaque psoriasis and psoriatic arthritis. A randomized double-blind placebo-controlled multicenter trial	Torii H	皮膚科学講座

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
410	J Dermatol, 2010; 37:623-628	Efficacy of photodynamic therapy with topical 5-aminolevulinic acid using intense pulsed light for Bowen's disease.	Hasegawa T	皮膚科学講座
411	J Dermatol, 2010; 37:680-682	Severe form of keratitis-ichthyosis-derfness(KID)syndrome associated with septic complications.	Haruna K	皮膚科学講座
412	Juntendo Medical Journal, 2010; 56:550-557	Effects of Cyclooxygenase-1or-2 Inhibitors on Eypressions of ATP2A2 and ATP2C1 in Cultured Normal Human	Sugimura R	皮膚科学講座
413	J Dermatol, 2010;37:1032-1035	Treatmnet of alopecia aleata with 308nm exoimer lump.	Ohtsuki A	皮膚科学講座
414	Int J Immuno Gent, 2010;37:139-141	FcepslonRialphagene (FCERIA)promoter polymorphisms and total serum Ige levels in Japanese atopc dermatitis patients	Niwa Y	皮膚科学講座
415	Aesthetic Plast Surg, 2010;34:153-158	Mesotherapy for benign symmetrical lipomatosis.	Hasegawa T	皮膚科学講座
416	Allergol Int, 2010; 59: 1-20	Development of IL-17-mediated delayed-type hypersensitivity is not affected by down-regulation of IL-25	Ishii A	皮膚科学講座
417	Allergol Int, 2010; 59: 277-284	Amphiregulin is not essential for induction of contact hypersensitivity.	Yagami A	皮膚科学講座
418	Allergology International, 2010; 59: 313-319	TGF-β signaling may play a role in the development of goblet cell hyperplasia in a mouse model of allergic rhinitis.	Ouyang Y	皮膚科学講座
419	Biochem Biophys Res Commun, 2010; 391: 471-476	Synergistic augmentation of inflammatory cytokine productions from murine mast cells by monomeric IgE and toll-like receptor ligands.	Takenaka H	皮膚科学講座
420	FEBS Lett, 2010; 584: 2315-2320	Opposite effects of Trichostatin A on activation of mast cells by different stimulants.	Wang QH	皮膚科学講座
421	Immunogenetics, 2010; 62: 421-429	Suppressive effects of transcription factor GATA-1 on cell type-specific gene expression in dendritic cells.	Shimokawa N	皮膚科学講座
422	Immunol Cell Biol, 2010; 88: 685-689	Activation of the aryl hydrocarbon receptor pathway may ameliorate dextran sodium sulfate-induced colitis in mice.	Takamura T	皮膚科学講座
423	Int Arch Allergy Immunol, 2010; 153: 27-34	Glucocorticoids inhibit double-stranded RNA-induced thymic stromal lymphopoietin release from keratinocytes in atopc cytokine milieu more effectively than tacrolimus.	Le TA	皮膚科学講座
424	J Allergy Clin Immunol, 2010; 126: 985-993	Staphylococcus aureus membrane and diacylated lipopeptide induce thymic stromal lymphopoietin in keratinocytes via the Toll-like receptor 2-Toll-like receptor 6 pathway.	Vu AT	皮膚科学講座
425	J Immunol, 2010; 184: 3526-3534	Antimicrobial peptides human beta-defensins and cathelicidin LL-37 induce the secretion of a pruritogenic cytokine IL-31 by human mast cells.	Niyonsaba F	皮膚科学講座
426	J Immunol, 2010; 185: 4252-4260	GATA2 and Sp1 positively regulate the c-kit promoter in mast cells.	Maeda K	皮膚科学講座
427	Legal Med, 2010; 12: 172-176	Establishment of a simple detection system for blood group ABO-specific transferase activity in DNA-transfected cells.	Nishida C	皮膚科学講座
428	Anti-Aging Medicine, 2010; 7:94-100	Age and sex-dependent alterations in heart rate variability: profiling the characteristics of men and women in their 30s.	Yukishita T	病院管理学研究室
429	Health, 2010; 2:1191-1198	Evaluation of autonomic nervous system by heart rate variability and differential count of leukocytes in athletes.	Suetaka N	病院管理学研究室
430	Health, 2010; 2:1432-1436	The efficacy of recovery care with cool veil serum.	Yumoto Y	病院管理学研究室
431	Int J Clin Oncol. 2010 Dec;15(6):571-7.	Long-term outcomes of three-dimensional conformal radiation therapy combined with neoadjuvant hormonal therapy in Japanese patients with locally advanced prostate	Sakamoto M	放射線医学講座
432	Epilepsia. 2010 Dec;51(12):2484-7.	A case of adult-onset type II citrullinemia with comorbid epilepsv even after liver transplantation.	Eriguchi Y	放射線医学講座
433	Radiology. 2010 Jun;255(3):917-23	A simple respiratory indicator for irradiation during voluntary breath holding: a one-touch device without electronic	Onishi H	放射線医学講座
434	Neuroradiology. 2010 Oct;52(10):865-73	Age-related changes in regional brain volume evaluated by atlas-based method.	Gonoi W	放射線医学講座
435	Int J Clin Oncol.15(5):457-61 2010	An Investigation of anxiety about radiotherapy deploying the radiotherapy categorical anxiety scale.	Shimotsu S	放射線医学講座
436	Biol Psychiatry. 2010;68(11):1066-72.	Association between the oxytocin receptor gene and amygdalar volume in healthy adults.	Inoue H	放射線医学講座
437	Arthritis Res Ther.2010;12(2):R64. Epub 2010 Apr 7.	Brain perfusion in fibromyalgia patients and its differences between responders and poor responders to gabapentin.	Usui C	放射線医学講座
438	J Vasc Interv Radiol. 2010 May;21(5):663-70.	Can balloon-occluded retrograde transvenous obliteration be performed for gastric varices without gastroduodenal shunts?	Araki T	放射線医学講座
439	J Magn Reson Imaging. 31:221-6, 2010	Cerebral asymmetry in patients with schizophrenia: a voxel-based morphometry (VBM) and diffusion tensor imaging (DTI)	Takao H	放射線医学講座
440	Am J Clin Oncol.2010; 33:11-6.	Cine-magnetic resonance imaging assessment of intrafraction motion for prostate cancer patients supine or prone with and without a rectal balloon	Vargas C	放射線医学講座
441	Neurosurgery. 2010 Jul;87(1):100-9; discussion 109.	Contrast-enhanced magnetic resonance characteristics of arteriovenous malformations after gamma knife radiosurgery: predictors of post-angiographic obliteration hemorrhage.	Kunishima K	放射線医学講座
442	Hum Reprod. 2010 Oct;25(10):2475-9.	Decreased pregnancy rate is linked to abnormal uterine peristalsis caused by intramural fibroids.	Yoshino O	放射線医学講座
443	Invest Radiol, 2010; 45: 133-141	Detection and characterization of focal liver lesions.	Ichikawa T	放射線医学講座
444	Neuroradiology. 2010 Aug;52(8):729-33	Diffusion tensor tract-specific analysis of the uncinate fasciculus in patients with amyotrophic lateral sclerosis.	Sato K	放射線医学講座
445	Brain Res. 2010 May 17;1331:51-7	Effect of tryptophan hydroxylase-2 gene variants on amygdalar and hippocampal volumes.	Inoue H	放射線医学講座
446	Genes Brain Behav. 2010 Apr;9(3):269-75	Functional (GT)n polymorphisms in promoter region of N-methyl-D-aspartate receptor 2A subunit (GRIN2A) gene affect hippocampal and amygdala volumes.	Inoue H	放射線医学講座
447	Hum Brain Mapp. 2010	Gray and white matter asymmetries in healthy individuals aged 21-29 years: A voxel-based morphometry and diffusion tensor imaging study.	Takao H	放射線医学講座
448	Schizophr Res. 2010 Feb;116(2-3):196-203	Gray and white matter volumetric and diffusion tensor imaging (DTI) analyses in the early stage of first-episode	Moriya J	放射線医学講座
449	Clin Imaging. 2010 Sep-Oct;34(5):332-6	High signal intensity in the dural sinuses on 3D-TOF MR angiography at 3.0 T.	Inano S	放射線医学講座
450	Acta Neuropathol, 2010; 120(4): 537-543	High-density areas on muscle CT in childhood-onset Pompe diseaseare caused by excess calcium accumulation.	Ishigaki K	放射線医学講座
451	Epub 2010, Apr. 14.	Imaging of the superficial inferior epigastric vascular anatomy and preoperative planning for the SIEA flap using MDCTA.	Fukaya E	放射線医学講座
452	Int J Radiat Oncol Biol Phys.77(3):743-50,2010	JROSG Working Subgroup of Gastrointestinal Cancers. Patterns of radiotherapy practice for pancreatic cancer in Japan: results of the Japanese Radiation Oncology Study	Ogawa K	放射線医学講座

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
453	Jpn J Radiol. 28:27-33, 2010	Motion-robust diffusion tensor acquisition at routine 3T magnetic resonance imaging.	Yasmin H	放射線医学講座
454	Am J Clin Oncol.2010; 33:276-80.	Optimal Image-Guidance Scenario With Cone-Beam Computed Tomography in Conventionally Fractionated Radiotherapy for Lung Tumors	Yeung AR	放射線医学講座
455	Jpn J Radiol. 2010 May;28(4):289-304.	Precontrast and postcontrast susceptibility-weighted imaging in the assessment of intracranial brain neoplasms at 1.5 T.	Hori M	放射線医学講座
456	Magn Reson Med Sci. 2010;9(3):109-10.	q-space imaging (QSI) of the brain: comparison of displacement parameters by QSI and DWI.	Fatima Z	放射線医学講座
457	Eur Arch Psychiatry Clin Neurosci. 2010 Sep;260(6):465-73	Reduced gray matter volume of Brodmann's Area 45 is associated with severe psychotic symptoms in patients with	Suga M	放射線医学講座
458	Biol Psychiatry. 2010 Dec 15;68(12):1141-7	Reduced gray matter volume of pars opercularis is associated with impaired social communication in high-functioning autism spectrum disorders.	Yamasaki S	放射線医学講座
459	Br J Neurosurg. 2010 Sep 8. [Epub ahead of print]	Refined analysis of complex language representations by non-invasive neuroimaging techniques.	Ota T	放射線医学講座
460	NMR Biomed. 2010 Jun;23(5):446-58	Sex dimorphism in gray/white matter volume and diffusion tensor during normal aging.	Abe O	放射線医学講座
461	J Neurosci. 2010 Mar 24;30(12):4295-305	Stimulation of the frontal eye field reveals persistent effective connectivity after controlled behavior.	Akaishi R	放射線医学講座
462	Breast Cancer Sep 3. [Epub ahead of print] 2010	The estimation of anxiety and depression in patient with early stage breast cancer before and after radiation therapy.	Kawase K	放射線医学講座
463	Magn Reson Imaging. 2010 May;28(4):594-8.	Three-dimensional susceptibility-weighted imaging at 3 T using various image analysis methods in the estimation of grading intracranial gliomas.	Hori M	放射線医学講座
464	Jpn J Radiol. 2010 Aug;28(7):494-501. Epub 2010 Aug 27.	Tract-specific analysis for investigation of Alzheimer disease: a brief review.	Nakata Y	放射線医学講座
465	Mov Disord. 2010 Dec 17	Visual grasping in frontotemporal dementia and parkinsonism linked to chromosome 17 (microtubule-associated with protein tau): A comparison of N-Isopropyl-p-[[123]]-iodoamphetamine brain perfusion single photon emission computed tomography analysis with progressive supranuclear	Ogaki K	放射線医学講座
466	Psychiatry Res. 181:64-70, 2010	Voxel-based analyses of gray/white matter volume and diffusion tensor data in major depression.	Abe O	放射線医学講座
467	Neuroradiology. 2010 Aug;52(8):699-710	Voxel-based analysis of the diffusion tensor.	Abe O	放射線医学講座
468	Anesthesiology 2010;112:418-431	Direct evidence for the ongoing brain activation by enhanced dynorphinergic system in the spinal cord under inflammatory noxious stimuli	Taketa Y	麻酔科学・ペインクリニック講座
469	Pedr Surg Int 2010;4:443-6	The benefit of stay suture during thoracoscopic esophagoesophagectomy in patients with esophageal atresia: a technical report.	Shimotakahara A	麻酔科学・ペインクリニック講座
470	J Anesth 2010;254:633-638	Anesthesia protocols for early vitrectomy in former preterm infants diagnosed with aggressive posterior retinopathy of prematurity.	Aoyama K	麻酔科学・ペインクリニック講座
471	Pediatr Surg Int 2010 Sep 18 (Epub ahead of print)	Indications for thoracoscopic repair of congenital diaphragmatic hernia in neonates.	Okazaki T	麻酔科学・ペインクリニック講座
472	ANESTHESIOLOGY.112: 418-431, 2010.	Direct Evidence for the Ongoing Brain Activation by Enhanced Dynorphinergic System in the Spinal Cord under Inflammatory Noxious Stimuli.	Taketa Y	麻酔科学・ペインクリニック講座
473	麻酔と蘇生.2010年3月.46(1)7~12	Interactions between volatile anesthetics and β -adrenergic receptor signaling pathways on L-type Ca^{2+} currents in rabbit ventricular cardiomyocytes.	Sonoda S	麻酔科学・ペインクリニック講座
474	循環制御.2010年5月.30(3)165~170	Interactions between inhalation anesthetics and β -adrenergic receptor signaling pathways on L-type Ca^{2+} currents in rabbit ventricular cardiomyocytes.	Sonoda S	麻酔科学・ペインクリニック講座
475	shock 2010; 33: 431-441,	Effect of olprinone, a phosphodiesterase III inhibitor, on hepatic ischemia-reperfusion injury in rats.	Yamaguchi.K	麻酔科学・ペインクリニック講座
476	Metabolism. 2010; 59(1): 107-113	Altered metabolisms of mediators controlling vascular function and enhanced oxidative stress in asymptomatic children with congenital portosystemic venous shunt.	Nagasaka H	臨床検査医学講座
477	J Atheroscler Thromb. 2010; 17(7):722-729	Statin therapy reduces inflammatory markers in hypercholesterolemic patients who have high baseline levels.	Horiuchi Y	臨床検査医学講座
478	Leuk Lymphoma. 2010; 51(3): 2230-2239	Chronic lymphocytic leukemia in a Japanese population: varied immunophenotypic profile, distinctive usage of frequently mutated IGH gene, and indolent clinical behavior.	Tomomatsu J	臨床検査医学講座
479	Leukemia. 2010; 24(1): 33-43	Selective FLT3 inhibitor FI-700 neutralizes Mcl-1 and enhances p53-mediated apoptosis in AML cells with activating mutations of FLT3 via Mcl-1/Noxa axis.	Kojima K	臨床検査医学講座
480	Clin Chim Acta. 2010; 411(3-4): 253-257	Circadian change of serum concentration of small dense LDL-cholesterol in type 2 diabetic patients.	Hirayama S	臨床検査医学講座
481	Dement Geriatr Cogn Disord. 2010; 30(1): 28-32	Increased levels of soluble LRR1 in cerebrospinal fluid of patients with Alzheimer disease.	Ikeuchi T	臨床検査医学講座
482	Clin Chim Acta. 2010; 411(21-22): 1723-1727	Profiles of inflammatory markers and lipoprotein subclasses in patients undergoing continuous ambulatory peritoneal dialysis.	Kon M	臨床検査医学講座
483	Cancer Lett. 2010; 299(2): 161-170	MDM2 antagonist Nutlin-3 enhances bortezomib-mediated mitochondrial apoptosis in TP53-mutated mantle cell	Jin L	臨床検査医学講座
484	Mol Genet Metab. 2010; 100(2):123-128	Favorable effect of 4-phenylacetate on liver functions attributable to enhanced bile salt export pump expression in ornithine transcarbamylase-deficient children.	Nagasaka H	臨床検査医学講座
485	(J-MACH)-Circ J. 2010; 74(7):1471-1478	Single administration of α -glucosidase inhibitors on endothelial function and incretin secretion in diabetic patients with coronary artery disease. ~Juntendo University Trial: effects of miglitol on endothelial vascular reactivity in type 2 diabetic patients with coronary heart disease.	Hiki M	臨床検査医学講座
486	Int J Cardiol. 2010; 139(2): e15-17	Inverted Takotsubo contractile pattern caused by pheochromocytoma with tall upright T-waves, but not typical deep T-wave inversion.	Kimura S	臨床検査医学講座
487	Lupus 19: 111-113, 2010	The possibility that autoimmune disease can be induced by a molecular mimicry mechanism between autoantigen and human endogenous retrovirus.	Ogasawara H	膠原病内科学講座
488	Arthritis Rheum 62: 574-578, 2010	The association of a nonsynonymous single-nucleotide polymorphism in TNFAIP3 with systemic lupus erythematosus and rheumatoid arthritis in the Japanese population.	Shimane K	膠原病内科学講座

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
489	Inter Med 49: 823-828, 2010	The Long-Term Prognosis of Lupus Nephritis Patients Treated with Intravenous Cyclophosphamide.	Matsuyama N	膠原病内科学講座
490	Ann Rheum Dis 69: 936-937, 2010	Replication of association between FAM167A(C8orf13)-BLK region and rheumatoid arthritis in a Japanese population.	Ito I	膠原病内科学講座
491	Rheumatology 49: 876-881, 2010	Up-regulation of the endoplasmic reticulum transmembrane protein UNC93B in the B cells of patients with active systemic lupus erythematosus.	Nakano S	膠原病内科学講座
492	Mod Rheumatol 20: 168-177, 2010	Investigation of pathological and clinical features of lupus nephritis in 73 autopsied cases with systemic lupus	Kon T	膠原病内科学講座
493	Biochem Biophys Res Commun 94: 804-810, 2010	FTY720 exerts a survival advantage through the prevention of end-stage glomerular inflammation in lupus-prone BXSB	Ando S	膠原病内科学講座
494	J Biomed Biotech 2010; Article ID 207578 1-5, 2010	Association of TNFAIP3 Polymorphism with Susceptibility to Systemic Lupus Erythematosus in a Japanese Population.	Kawasaki A	膠原病内科学講座
495	Autoimmunity. 34(4):356-63, 2010	Inhibitory IgG Fc receptor promoter region polymorphism is a key genetic element for murine systemic lupus	Lin Q	膠原病内科学講座
496	J Autoimmun. 34(4):349-55, 2010	Evidence that Yea-induced loss of marginal zone B cells is a result of dendritic cell-mediated enhanced activation.	Santiago-Raber ML	膠原病内科学講座
497	Arthritis Res Ther 12: R92 1-11, 2010	Inhibitory effects of ZSTK474, a novel phosphoinositide 3-kinase inhibitor, on osteoclasts and collagen-induced arthritis	Toyama S	膠原病内科学講座
498	Arthritis Res Ther 12: R174, 2010.	Association of TNFAIP3 interacting protein 1, TNIP-1 with systemic lupus erythematosus in a Japanese population: a case-control association study.	Kawasaki A	膠原病内科学講座
499	Rheumatol Int 30: 1587-1593, 2010	Investigation of occurrence of osteonecrosis of the femoral head after increasing corticosteroids in patients with recurring systemic lupus erythematosus.	Sekiya F	膠原病内科学講座
500	Mod Rheumatol 20: 291-294, 2010	Improvement of rapidly progressive lupus nephritis associated MPO-ANCA with tacrolimus.	Morimoto S	膠原病内科学講座
501	J Clin Rheumatol 16: 370-374, 2010	Observational Cross-Sectional Study Revealing Less Aggressive Treatment in Japanese Elderly Than Nonelderly Patients With Rheumatoid Arthritis.	Ogasawara M	膠原病内科学講座
502	日本外科系連合学会誌35:78-84,2010	術後の早期再発に対する化学療法が奏功している直腸肛門部悪性黒色腫の1例。	山田正樹	下部消化管外科学講座
503	透析会誌43:953-958,2010	腹膜透析(PD)カテーテル抜去後に左卵巣粘液性嚢胞性腫瘍の穿破による腹膜偽粘液腫を発生した1症例	神田裕生	下部消化管外科学講座
504	日本臨床外科学会雑誌71:2227-2235,2010	StagII大腸癌における再発危険因子・予後予測因子に関する全身化学療法を施行した切除不能遠隔転移を有する上行結腸癌の1例	杉本起一	下部消化管外科学講座
505	癌と化学療法37:1167-1170,2010	腹腔鏡下大腸切除術における安全な上肢固定法の工夫	杉本起一	下部消化管外科学講座
506	手術04:1699-1703,2010	官腸内に脱出し腸重積症を発生した非還納性回腸脂肪腫の1例	杉本起一	下部消化管外科学講座
507	日本外科系連合学会誌 35:772-776, 2010	膀胱転移(Sister Mary Joseph's nodule)を伴った下行結腸癌の1例—本邦報告例の集計—	田代良彦	下部消化管外科学講座
508	日本外科系連合学会誌 35:793-798, 2010	腹腔鏡下前方切除術における腸管クランプ・腸管切離の工夫	五藤倫敏	下部消化管外科学講座
509	手術04:375-380, 2010	酸化セルロースを用いた腹腔鏡下大腸切除術	坂本一博	下部消化管外科学講座
510	臨床外科65: 721-727, 2010	腹腔鏡下S状結腸切除後に発生した虚血性大腸炎の1例	坂本一博	下部消化管外科学講座
511	日腹部救急医学会誌30: 577-580, 2010	盲腸腫瘍に対する盲腸部分切除術に工夫を施した2症例	坂本一博	下部消化管外科学講座
512	臨床外科65:1729-1732, 2010	胃石による食餌性イレウスの1例	坂本一博	下部消化管外科学講座
513	手術04:2023-2026, 2010	mFOLFOX6療法中に十二指腸穿孔を来した再発大腸癌の1例	坂本一博	下部消化管外科学講座
514	日本腹部救急医学会誌30:945-947, 2010	アレルギー性結膜疾患診療ガイドライン(第2版)	海老原伸行	眼科学講座
515	癌と化学療法37:2925-2927, 2010	白内障の術前説明:患者は何を知りたいのか	佐々木秀憲	眼科学講座
516	日眼学誌, 2010; 114: 829-870	隅角に不可逆的変化をきたした原発閉塞隅角緑内障の1例	甘利菜子	眼科学講座
517	臨眼, 2010; 64: 369-373	ペバシマブ硝子体注入を併用した23ゲージ硝子体手術の	井上亮	眼科学講座
518	あたらしい眼科, 2010; 27: 1141-1144	虹彩全幅切除を併用した先天虹彩嚢胞の一例	猪俣武範	眼科学講座
519	臨眼, 2010; 64: 863-867	ホウ酸含有点眼剤組成の抗菌メカニズム	瀧沢岳	眼科学講座
520	眼臨紀, 2010; 3: 390-393	災害時救急救命支援に向けた電子トリアージシステムの設計	木山昇	救急・災害医学研究室
521	あたらしい眼科, 2010; 27: 518-522	アラリアによる気道閉塞 症例報告と文献レビュー	島山淳司	救急・災害医学研究室
522	日本救急医学会雑誌 21(7):377-382(2010)	救命外来受診を契機に診断された眼症例の検討	鈴木梢	救急・災害医学研究室
523	日本救急医学会雑誌 21(9):779-785(2010)	呼吸音の視覚化による気胸検出の試み	林伸洋	救急・災害医学研究室
524	日本外傷学会雑誌, 2010年10月, 24巻:436-443	中国における皮弁開発の真の歴史—特にGroin flap, Chinese flap, ALT flap, Super-thin flapについて	高 建華	形成外科講座
525	日形会誌 30: 36-43, 2010	神経内視鏡を用いた小児脳神経外科の新たな治療戦略	宮崎雅一	形成外科講座
526	脳神経外科ジャーナル 19: 304-310, 2010	ケロイドに対する皮弁術の有用性と問題点	青木雅代	形成外科講座
527	瘻瘻・ケロイド治療ジャーナル 4: 108-111, 2010	シリンジ陰圧法による血腫除去の有用な使用法とその作用機序について	林 礼人	形成外科講座
528	創傷1: 28-35, 2010	Levator lengthening法による顔面神経麻痺性兎眼の治療	林 礼人	形成外科講座
529	Facial N Res Jps 30: 100-102, 2010	腋臭症におけるインギンチャク型タイオーバー固定法	宮本英子	形成外科講座
530	形成外科 63: 1028-1030, 2010	遊離前外側大腿皮弁による頭頸部再建80症例の経験	茅野修史	形成外科講座
531	日本マイクロ会誌 23:324-330, 2010	実際の遊離組織移植術を通じたmicrosurgeon教育	永松将吾	形成外科講座
532	日本マイクロ会誌 23: 367-374, 2010	当院における微小血管吻合連続200例の検討	小泉拓也	形成外科講座
533	日本マイクロ会誌 23: 38-43, 2010	咽喉食摘術に対する遊離空腸移植症例の術後合併症についての検討	赤澤 聡	形成外科講座
534	頭頸部誌 36: 73-76, 2010	下顎再建 下顎骨再建 血管柄付遊離骨移植と遊離軟部組織移植の比較	中川雅裕	形成外科講座
535	日本口腔腫瘍学会誌 22: 134-137, 2010	手術手技 縫合・術後処置・抜糸が不要な高水蒸気透過性フィルムドレッシング材(V3000TM)の使用経験	永松将吾	形成外科講座
536	手術 64: 1969-1976, 2010	癌研有明病院漢方サポート外来【症例46】71歳男性。胃痛、腹臍下胃全摘術後、食後の腹痛と嘔気。【症例47】68歳男性。切除不能進行胃癌。化学療法、細胞免疫療法施行中。【症例48】60歳男性。食道癌。放射線化学療法後、ペプチドワクチン療法中。(解説/症例報告)	星野恵津夫	血液学講座
537	漢方の臨床, 2010; 57: 421-431	癌研有明病院漢方サポート外来【症例49】49歳女性。右乳癌術後、化学療法後、肥満、のぼせ、性交痛。【症例50】36歳女性。左乳癌術後、化学療法後、ホルモン療法中。不潔恐怖、ホットフラッシュ。【症例51】74歳女性。右乳癌術後、化学療法後、ホルモン療法後、全身倦怠感と足のしびれ。(解説/症例報告)	星野恵津夫	血液学講座
538	漢方の臨床, 2010; 57: 1369-1376	癌研有明病院漢方サポート外来(22)(解説)	星野恵津夫	血液学講座
539	漢方の臨床, 2010; 57: 1691-1703	糖尿病性ケトアシドーシスを契機に診断された重症肺結核の1例	岩瀬彰彦	呼吸器内科学講座
540	日本胸部臨床, 2010; 69(1): 67	アルツハイマー病患者に発症し気胸を合併したサルコイドーシスの1症例。	鳥羽慶栄	呼吸器内科学講座
541	日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会雑誌, 2010; 30(1): 67	Four cases of airway foreign body by dental prostheses.	Iwase A	呼吸器内科学講座
542	J Jpn Soc Resp End, 2010; 32: 422-5			

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
544	肺癌, 2010; 50(2): 115-121	高齢化社会における臨床病期1期肺癌の現状と問題点.	安藤克利	呼吸器内科学講座
545	日呼吸会誌, 2010; 48(8): 604-608	当科における進行胸腺癌12例の治療実態.	栗山祥子	呼吸器内科学講座
546	アレルギー, 2010; 59(3): 463	Master Screen IOS-JとMostGraph-01の比較検討.	桂容子	呼吸器内科学講座
547	日老年医学会誌, 2010; 47(6): 550-553	肺がんの呼吸器感染症.	高橋和久	呼吸器内科学講座
548	癌と化学療法, 2010; 37: 487-490	CisplatinおよびPemetrexedの再投与が有効であった悪性胸膜中皮腫の1例.	宿谷威仁	呼吸器内科学講座
549	内科, 2010; 106(4): 754-756	頭蓋骨にpunched-out lesionを呈した脾臓扁平上皮癌の1例.	長島修	呼吸器内科学講座
550	日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会雑誌, 2010; 30(1): 21-28	両肺移植を施行したサルコイドーシスの1例.	三浦佳代	呼吸器内科学講座
551	日本産科婦人科学会東京地方部会誌, 2010; 59: 407-411	血中hCG高値の帝王切開痕部妊娠に子宮内容除去術を行った1例	上里忠好	産科婦人科学講座
552	産婦人科内視鏡学会雑誌, 2010; 25: 442-446	卵巣子宮内膜症性のう胞摘出後の再発に関する検討	中村博子	産科婦人科学講座
553	産婦人科の実際(0558-4728), 2010; 59巻2号: 273-277	後腹膜リンパ節腫瘍後のリンパ腫瘍についての検討	須賀新	産科婦人科学講座
554	産婦人科の実際(0558-4728)59巻8号 Page1229-1235(2010.08)	【産婦人科手術で注目される技術と機材の有用性】さらに低侵襲な腹腔鏡下手術を目指して 単孔式手術と2孔式手術について(解説/特集)	菊地盤	産科婦人科学講座
555	心臓, 2010; 42: 956-958	婦人科悪性腫瘍手術における深部静脈血栓症予防のための周術期管理について	須賀新	産科婦人科学講座
556	日本産科婦人科学会東京地方部会誌59巻3号 Page407-411(2010.09)	血中hCG高値の帝王切開痕部妊娠に子宮内容除去術を行った1例	上里忠好	産科婦人科学講座
557	日大歯学, 2010; 1-2: 19-26	長管骨発生過程における骨膜弾性線維の出現と走行について	山崎洋介	歯科・口腔外科学研究室
558	医学書院 第82巻 第8号 Page 537-540 2010.7	喉頭声門下に発生した腺様嚢胞癌例	大峯慎一	耳鼻咽喉科学講座
559	耳鼻臨床 補126: 25-29 2010.	エアバックの作動により受傷した眼窩吹き抜け骨折症例と受傷機序の検討	峯川明	耳鼻咽喉科学講座
560	耳鼻臨床 補126: 21-24 2010.	眼症状をきたした浸潤型アスペルギルス症例	廣津幹夫	耳鼻咽喉科学講座
561	耳鼻臨床 補126: 1-5 2010.	実験動物を用いた内耳細胞治療研究へのアプローチ	神谷和作	耳鼻咽喉科学講座
562	耳鼻臨床 補126: 10-14 2010.	Lipo-PGE1の突発性難聴に対する有効性	飯塚崇	耳鼻咽喉科学講座
563	耳鼻臨床 補126: 46-49 2010.	喉頭表面麻酔用の軟性経鼻喉頭用スプレーノズルの開発	池田勝久	耳鼻咽喉科学講座
564	耳鼻臨床 補126: 21-24 2010	当科で経験したミグリスツ病の2例	伊藤伸久	耳鼻咽喉科学講座
565	日本臨床スポーツ医学会誌 18-2 2010	成人の先天性聴覚障害者の平衡機能と視機能の評価	中島幸則	耳鼻咽喉科学講座
566	耳鼻臨床 103; 2: 117-120, 2010	多発脳神経障害とHunt症候群例	長陽子	耳鼻咽喉科学講座
567	耳鼻臨床 補126: 33-36 2010	硬口蓋に発生した多形腺腫の2例	加瀬香	耳鼻咽喉科学講座
568	耳鼻臨床 103; 7: 637-641 2010	好酸球性副鼻腔炎を疑った症例に対するステロイド内服効果の評価と組織学的変化の検討	横井秀格	耳鼻咽喉科学講座
569	耳鼻臨床 補126: 6-9 2010.	栄養血管が同定できなかった鼓室型グルームス腫瘍の一例	古川正幸	耳鼻咽喉科学講座
570	耳鼻臨床 補126: 15-18 2010.	頭蓋底、眼窩内側壁に広範囲な骨欠損を伴った篩骨洞嚢胞	八尾亨	耳鼻咽喉科学講座
571	耳鼻臨床 補126: 19-20 2010.	当院における後鼻神経切断術後出血の検討	林千江里	耳鼻咽喉科学講座
572	耳鼻臨床 補126: 30-32 2010.	咽頭頭蓋異常に対するPPI(Proton pump inhibitor)の臨床的	林千江里	耳鼻咽喉科学講座
573	耳鼻臨床 補126: 37-41 2010.	最近経験した成人における咽後膿瘍の症例	中澤麻美	耳鼻咽喉科学講座
574	耳鼻臨床 補126: 42-45 2010.	歯科治療が原因と思われる頸部皮下気腫の2例	齊藤達矢	耳鼻咽喉科学講座
575	耳鼻臨床 補126: 50-53 2010.	薬剤起因性好中球減少症により発症した急性喉頭蓋炎の1例	長陽子	耳鼻咽喉科学講座
576	耳鼻臨床 補126: 54-57 2010.	喉頭カンジダ症を合併した難治性声門狭窄症の1例	川野健二	耳鼻咽喉科学講座
577	耳鼻臨床 補126: 58-62 2010.	当科における喉頭癌症例の検討	松本文彦	耳鼻咽喉科学講座
578	耳鼻臨床 補126: 63-67 2010.	多臓器多病変型ランゲルハンス細胞組織球症例の治療経験	笠井美里	耳鼻咽喉科学講座
579	耳鼻臨床 補126: 73-79 2010.	深頸部膿瘍より降下性壊死性縦隔炎に至った2症例.	藤巻充寿	耳鼻咽喉科学講座
580	Facial Nerve Research 2010 30: 88-90 2010	両側同時性Ramsay Hunt症候群例	飯塚崇	耳鼻咽喉科学講座
581	日本耳鼻咽喉科感染症研究会誌 27-1: 73-76 2010	全身麻酔下中耳手術に対するレボフロキサシン経口抗菌薬使用の検討	飯塚崇	耳鼻咽喉科学講座
582	日本耳鼻咽喉科感染症研究会誌 28-1: 55-57 2010	真珠腫性中耳炎症例における乳突洞の細菌学的検討	飯塚崇	耳鼻咽喉科学講座
583	心臓 第42巻: 781-786, 2010	労作性房室ブロックで発症したステロイドが有効であった心臓サルコイドーシスの1例.	渡邊容子	循環器内科学講座
584	金原出版(2010)17-36	視診・触診でわかる内科疾患の診かた 循環器(症例9-18)	大村寛敏	循環器内科学講座
585	心臓. 42 (7): 978-979, 2010.	静脈血栓症における血栓残存有無とD-dimerの検討	一瀬哲夫	循環器内科学講座
586	Ther. Res 31; 1037-42, 2010	急性冠症候群患者におけるスタチン早期投与は長期予後を改善する	宮内克己	循環器内科学講座
587	小児感染免疫 2010; 22: 227-232.	日本の冠動脈疾患2次予防におけるLDLコレステロールの管理	稲毛英介	小児科学講座
588	日本産科・新生児医学会雑誌 2010; 46: 110-114.	重症心身障害児に発症した口腔内常在菌による膿胸の1例.	大関一裕	小児科学講座
589	感染症学雑誌 2010; 84: 263-268.	当科で経験したダウン症に合併した一過性骨髄増殖症候群(TMD; transient myeloproliferative disorders)の2例.	鎌田彩子	小児科学講座
590	日本小児救急医学会雑誌 2010; 9: 316-320.	乳幼児中耳炎に伴う急性乳様突起炎および乳突洞病変の検	鎌田彩子	小児科学講座
591	皮膚科の臨床 2010; 52: 609-612.	小児深頭部膿瘍15例の臨床的検討.	木下洋和	小児科学講座
592	日本小児救急医学会雑誌 2010; 9: 62-65.	皮膚浸潤を生じたJuvenile Myelomonocytic Leukemiaの1例.	蕭藤美香	小児科学講座
593	小児科臨床 2010; 63: 2351-2355.	慢性便秘中に突然死した6歳男児: Abdominal compartment syndromeと高インスリン性低血糖症の合併例.	佐藤智幸	小児科学講座
594	脂質栄養学 2010; 19: 225-232.	総動脈幹遺残に気管・気管支軟化症を合併した1例.	浜崎智仁	小児科学講座
595	日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌 2010; 23: 102-106.	長寿のためのコレステロールガイドライン 2010年版.	余田篤	小児科学講座
596	日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌 2010; 23: 122-130.	炎症性腸疾患(IBD) 治療の進歩とQOL 潰瘍性大腸炎の内科治療 小児のエビデンスとコンセンサスを統合した潰瘍性大腸炎の診察ガイドラインを中心に.	武井一	小児科学講座
597	日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌 2010; 24: 1-6.	小児における尿中胆汁酸の発達.	入野野博	小児科学講座
598	日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌 2010; 24: 7-13.	乾燥濾紙尿を用いたGC-MSによる胆汁酸分析-先天性胆汁酸代謝異常症への応用-	入野野博	小児科学講座
599	順天堂医学 2010; 56: 77.	協力ネオミノファーゲンC投与肝疾患患児の尿中グリチルリチン酸とグリチルレチン酸の同定.	東海林宏道	小児科学講座
600	日本小児血液学会雑誌 2010; 24: 106-110.	理学療法が未熟児の支持基底面、自発運動に及ぼす効果についての検討.	菅沼広樹	小児科学講座
601	小児高血圧研究会誌 2010; 6: 22-25.	RtE不適合による新生児溶血症の4例 重症化予測と治療法の検討.	染谷朋之介	小児科学講座
602	小児高血圧研究会誌 2010; 7: 36-43.	腎動脈狭窄による高血圧を呈した胎児母体間輸血症候群の一新生児.	西崎直人	小児科学講座
603	夜尿症研究 2010; 15: 63-67.	様々な臨床経過を呈した腎外症候性腎炎を含む急性糸球体腎炎の4例.	西崎直人	小児科学講座
604	小児高血圧研究会誌 2010; 7: 44-48.	当センターにおける夜尿症アラーム療法98例の検討.	平野大志	小児科学講座
605	日本腎臓学会誌 2010; 52: 1029-1036.	検診で高血圧を指摘された左低形成腎と右膀胱尿管逆流症の一男児例.	平野大志	小児科学講座
606	埼玉小児医療センター一医学誌 2010; 25: 41-45.	国際法に従い初期治療を行った小児特発性ネフローゼ症候群の臨床的検討.	平野大志	小児科学講座
		血液透析に至った溶連菌感染後急性糸球体腎炎の1女児例.	平野大志	小児科学講座

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
607 特殊ミルク情報 2010; 46:14-18.	新生児期に血液浄化療法を用いて救命し得たイノ吉草酸血症の1男児例.	春名英典	小児科学講座
608 日本小児腎不全学会雑誌 2010; 30:109-111.	溶連菌感染後急性腎炎の合併により発見されたMegareter-megacystis症候群の1例.	藤永周一郎	小児科学講座
609 夜尿症研究 2010; 15:81-88.	病型分類に基づいた一次性夜尿症治療の有用性.	藤永周一郎	小児科学講座
610 腎と透析 2010; 68:581-585.	Yersinia pseudotuberculosis感染による急性腎不全が強く疑われた1例.	平野大志	小児科学講座
611 日本小児腎臓病学会雑誌 2010; 23:128-132.	先天性後部尿道弁の46例. 長期腎機能予後規定因子の検討.	平野大志	小児科学講座
612 日本小児腎臓病学会雑誌 2010; 23:196-201.	先天性後部尿道弁が原因と考えられた腎破裂および尿性腹水の1例.	平野大志	小児科学講座
613 小児高血圧研究会誌 2010; 7:22-24.	腎梗塞所見を伴う高血圧症の一男児例.	村野弥生	小児科学講座
614 順天堂医学 2010; 56:558-563.	食物アレルギーにおけるロイコトリエン受容体拮抗薬(LTRA)の有用性について.	山川陽子	小児科学講座
615 順天堂医学2010; 56:84-85.	小児科外来における認知発達に応じた小児へのインフォームドアセント・プレパレーションの試み.	田中恭子	小児科学講座
616 腫瘍.2010;25:109-116	局所進行肺癌に対するGemcitabine(GEM)とS-1同時併用化学放射線療法-第1相臨床試験-	松村祐志	消化器画像診断研究室
617 胆道.2010;24:675-682	胆嚢筋腫症に合併した胆嚢癌の臨床病理学的検討.	守 慶	消化器画像診断研究室
618 日本アルコール・薬物医学会雑誌.2010,44,4:408-409	アルコール・非アルコール性肝臓における腫瘍マーカー陽性率の共通性.	今一義	消化器内科学講座
619 腫瘍.2010,25,2;	局所進行肺癌に対するGemcitabine(GEM)とS-1 同時併用化学放射線療法~第1相臨床試験~.	松村祐志	消化器内科学講座
620 日本臨床外科学会雑誌. 2010; 71(2); 344-353	食道癌術後経過におけるchemiluminescence法を用いた好中球活性酸素放出能測定の意義	國安哲史	上部消化管外科学講座
621 分子脳血管病 9: 130-131, 2010	中大脳動脈閉塞をきたした薬物中毒患者. 第8回東京Strokeフロンティア一般演題5	島田佳明	脳神経内科
622 医学と薬学.2010,64巻2号:281-288	多発性硬化症と視神経脊髄炎における髄液ミエリン塩基性蛋白(MBP)	清水優子	脳神経内科
623 BRAIN and NERVE.2010,62巻12号:1337-1340	アムホテリシンBリポソーム製剤およびポリコナゾールが奏効した高齢症候のクリプトコッカス髄膜炎の1例	大垣光太郎	脳神経内科
624 医学と薬学.2010,64巻2号:281-288	多発性硬化症と視神経脊髄炎における髄液ミエリン塩基性蛋白(MBP)	清水優子	脳神経内科
625 Ther. Res., 31: 1471-1480, 2010	高カリウム血症を伴う慢性腎臓病(CKD)患者に対するポリステレンスルホン酸カルシウムゼリーの長期投与効果の検討	富野康日己	腎臓内科学講座
626 Ther. Res., 31:1157-1163, 2010	バルサルタン80mgとCa拮抗薬との併用における安全性と有	富野康日己	腎臓内科学講座
627 順天堂医学. 56:107-115, 2010	2型糖尿病腎症モデルマウス(KK-Ay/Taマウス)におけるQLT解析による腎疾患感受性遺伝子座の検討	青木竜弥	腎臓内科学講座
628 透析会誌. 43:569-573, 2010	腹膜透析カテーテルの腹腔内挿入にスタイルットは透析必要ないーノンスタイルット挿入法ー	岡本貴行	腎臓内科学講座
629 J Spine Res 1: 1449-1456, 2010	腰部脊柱管狭窄症でのKissing Spine破綻の問題点. 術後続発する椎間孔狭窄について.	糸井 陽	整形外科講座
630 日本外科系連合学会誌35: 427, 2010	緊急大量輸血を要する“危機的出血”への対応. 大量出血を伴う重症外傷に対する輸血治療戦略. 早期FFP投与について.	岩瀬史明	整形外科講座
631 日本外傷学会雑誌(1340-6264)24: 212, 2010	当センターの外傷に対する初療室開胸・開腹(ERT/ERL) 迅速な止血手術開始のために.	岩瀬史明	整形外科講座
632 臨床バイオメカニクス 31: 485-490, 2010	重心動揺による運動器不安定症診断の試みー足底中心圧移動可能距離を使用してー.	大林 治	整形外科講座
633 整形外科 61: 898-908, 2010	癌の骨転移患者の予後予測.	片桐浩久	整形外科講座
634 整形外科61: 558-558, 2010	膝蓋骨に発生した良性軟骨芽細胞腫の一例.	金澤博明	整形外科講座
635 骨折32: 396-399, 2010	小児の長管骨骨幹部骨折に対しKirschner-鋼線を用いた髄内固定法による治療成績.	亀田 壮	整形外科講座
636 山梨医学38: 73-78, 2010	大腿骨転子部骨折の術前待機期間とその要因についての検討	川合拓郎	整形外科講座
637 関東整災誌41: 345-348, 2010	足底線維腫症とPIP関節背側にknuckle padを伴ったDupuytren拘縮の1例.	岸 義真	整形外科講座
638 肩関節34: 293-296, 2010	アカゲザルの肩解剖所見に基づく肩関節の形態学的一考察.	桐村憲吾	整形外科講座
639 日本骨・関節感染症学会雑誌23: 24-27, 2010	カンジダ性腱鞘炎の一例.	工藤俊哉	整形外科講座
640 J Spine Res 1: 1822-1826, 2010	腰椎変性疾患に対する片側椎弓根スクリュー固定TLIF 一臨床的適応と椎体間ケージの選択ー.	玄 奉学	整形外科講座
641 J Spine Res 1: 1295-1298, 2010	腰椎椎間板ヘルニアにおける神経根ブロックが効果不良となる危険因子の検討.	河野 裕	整形外科講座
642 J Spine Res 1: 1354-1359, 2010	腰椎内視鏡下除圧術における術後成績不良となる危険因子について.	佐久間吉雄	整形外科講座
643 肩関節34: 347-350, 2010	外転角度を変えて行ったapprehension testの結果に影響する因子の検討.	迫間巧将	整形外科講座
644 山梨県立中央病院年報36: 74-75, 2010	動的足底板の導入に向けて(第1報) 問題点に対する検討.	諏訪さちこ	整形外科講座
645 山梨県立中央病院年報36: 72, 2010	人工関節置換術症例の深部静脈血栓症検案における可溶性フィブリン(SF)の有用性について.	千野孔三	整形外科講座
646 別冊整形外科58: 62-66, 2010	鎖骨骨折の手術療法ー自転車競技選手の治療経験からー.	内藤聖人	整形外科講座
647 日本臨床スポーツ医学会誌. 18: 297-304, 2010	成人の先天性聴覚障害者の平衡機能と視機能の評価 (Evaluation of vestibular function and visual function in adults with congenital deafness).	中島幸則	整形外科講座
648 関東整災誌41: 177-180, 2010	股筋内脱臼患者に大腿骨転子下骨折を生じた1例.	長濱 靖	整形外科講座
649 J Spine Res1: 1973-1976, 2010	脊髄空洞症を合併した脊柱側弯症の検討.	中原大志	整形外科講座
650 骨折32: 509-511, 2010	部分不安定型・不安定型骨盤輪骨折に対する創外固定による治療成績.	二村謙太郎	整形外科講座
651 骨折32: 534-537, 2010	寛骨臼骨折に対する観血的治療の予後不良因子の検討.	二村謙太郎	整形外科講座
652 日本人工関節学会誌40: 322-323, 2010	人工膝関節全置換術後におけるADLの検討ー2種類のインプラント間での比較ー.	松本幹生	整形外科講座
653 日本人工関節学会誌40: 688-689, 2010	股関節疾患に伴う同側の重度外反変形膝に対する治療経	丸山祐一郎	整形外科講座
654 Skin Cancer 25: 162-167, 2010	蜂窩織炎様の臨床像を呈したprimary cutaneous diffuse large B-cell lymphoma. leg typeの1例.	松澤高光	整形外科講座
655 日本外傷学会雑誌24: 213, 2010	当院における外傷性ショック患者の検討 ドクターカー運用に	宮崎善史	整形外科講座
656 日本脊椎関節炎学会誌2: 103-107, 2010	強直性脊椎炎に生じた頸椎脱臼骨折の1例.	向井原健太	整形外科講座
657 中部日本整形外科災害外科学会雑誌. 53: 1423-1424, 2010	部分脱アセチル化キチンスポンジ止血材の局所止血効果の検討ー非結晶キチン-グルコン酸塩を用いてー.	牟田智也	整形外科講座
658 Journal of Spine Research 1: 1960-1963, 2010	思春期特発性側弯症に対する装具治療の成績 King/Moe分類を用いたカーブタイプ別の治療成績.	百村 励	整形外科講座
659 日本人工関節学会誌40: 288-289, 2010	パンコマイシン含有セメントとリネソリドを併用し感染性人工関節再置換を行った2例.	山中 誠	整形外科講座
660 日本肘関節学会誌17: 160-162, 2010	緑膿菌による化膿性肘関節炎の1例.	吉岡千晶	整形外科講座
661 J Spine Res1: 1801-1805, 2010	関節リウマチに合併した頭蓋頸椎移行部病変に対する後頭骨-頸-胸椎固定術の検討.	米澤郁穂	整形外科講座

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
662	日本臨床スポーツ医学会誌18:314-319,2010	大学女子サッカー選手におけるハムストリング肉ばなれの発生要因に関する研究 (Risk factors of hamstring muscle strain injury in female university).	若松健太	整形外科学講座
663	精神科治療学,2010;25:661-666.	Quetiapine抵抗性の幻視にCarpiprazoleが奏効したレビー小体型認知症の1例	野澤宗央	精神医学講座
664	臨床精神薬理,2010;13:1203-1208.	Risperidone投与中に夜尿と勃起不全を生じlonanserin変更後に軽減した統合失調症の1例	笠貫浩史	精神医学講座
665	BRAIN and NERVE: 神経研究の進歩,2010;62:615-619.	インフルエンザワクチン接種後に単純ヘルペスウイルスが原因と考えられる辺縁系脳炎をきたした1症例	内海雄思	精神医学講座
666	老年精神医学雑誌,2010;21:1377-1384.	意味性認知症の前駆状態と考えられる2症例 もの忘れドックによる早期発見と神経心理的特徴	村山憲男	精神医学講座
667	精神科治療学,2010;25:267-272.	水中毒により神経遮断薬性悪性症候群様状態を呈した統合失調症の1例	笠貫浩史	精神医学講座
668	日本薬物脳波学会雑誌,2010;11:63-70.	統合失調症患者における表情の動き認知の事象関連電位を用いた検討	桐野衛二	精神医学講座
669	福島県保健衛生雑誌, 19(2), 38-40, 2010.	メタボリックシンドロームに着目した保健指導結果からの考察—ヘルスアップ教室の取り組み—	横倉三代子	総合診療科学講座
670	呼吸 2010 ; 29 ; 923-927.	Mycobacterium abscessus肺感染症の1例	今井梨乃	総合診療科学講座
671	日本老年医学会雑誌 2010 47 P47~51	高齢者市中肺炎の死亡例に関する検討	坂本直治	総合診療科学講座
672	日本老年医学会雑誌 2010 47 P250~256	認知症例の退院援助に関する検討	塩路直子	総合診療科学講座
673	民族衛生, 2010; 76(5): 195-206	地域のクリニックにおける中高齢の生活習慣病患者に対する運動教室の意義	木村彰光	総合診療科学講座
674	人間ドック, 2010; 25: 618-625	集団型メタボリックシンドローム改善プログラム修了後の追跡	長南愛子	総合診療科学講座
675	呼吸(0286-9314)29巻9号 Page923-927(2010.09)	Mycobacterium abscessus肺感染症の1例	今井梨乃	総合診療科学講座
676	日本形成外科学会誌, 2010; 30: 352-356	深部脳刺激電極埋め込み術における皮膚合併症の検討	清水 梓	脳神経外科学講座
677	小児の脳神経, 2010; 35: 376-382	てんかんの予防的手術は是か否か	菅野秀宣	脳神経外科学講座
678	臨床神経学, 2010; 50: 973-976	特発性正常圧水頭症病態研究:最近の進歩~特発性正常圧水頭症の髄液診断について	中島 円	脳神経外科学講座
679	機能的脳神経外科, 2010; 49: 68-89	The effect of Bilateral subthalamic Deep brain stimulation on Decision making Parkinson's Disease	中島 円	脳神経外科学講座
680	機能的脳神経外科, 2010; 49: 129-135	両側視床下核刺激療法がパーキンソン病患者の意思決定能力に与える影響	中島 円	脳神経外科学講座
681	未病と抗老化, 2010; 19: 79-85	Leucine-rich-alpha-2-glycoproteinとタウ蛋白による髄液診断は認知症が改善する特発性正常圧水頭症の症例群を鑑別す	中島 円	脳神経外科学講座
682	Neurosurg Emerg, 2010; 15: 25-30	2007年における所沢市で救急搬送となった脳梗塞症例の現状	柳川洋一	脳神経外科学講座
683	Skin Cancer, 2010; 25:205-209	308エキシマランプが奏効したprimary cutaneous anaplastic large cell lymphoma(PALCL)の1例	大熊慶湖	皮膚科学講座
684	Skin Cancer, 2010; 25:210-213	Mucinous carcinoma of the skinの2例	飯田秀雄	皮膚科学講座
685	順天堂医学, 2010; 56: 50-55	TLR2, TLR1, およびTLR6リガンドによって刺激したヒト角化細胞における炎症性サイトカイン誘導	Anh Tuan VU	皮膚科学講座
686	日美誌, 2010; 47-2: 41-48	美容外科クリニックにおけるインシデントレポートの有効性	石原信浩	病院管理学研究室
687	関東リウマチ, 2010, 43: 86-92	足趾壊死を初発症状として脾動脈瘤破裂により古典的結節性動脈周囲炎と診断された一例	山内芳也	病理・腫瘍学講座
688	皮膚科の臨床, 2010: 1492-1493	多発性Warty Dyskeratomaの1例	志村英恵	病理・腫瘍学講座
689	日本頭痛学会誌. 36:244-247,2010.	後頭部通における天柱ブロックの有効性とその評価.	井福正貴	麻酔科学・ペインクリニック講座
690	慢性疼痛29:41-46,2010.	痛みによる睡眠障害質問票の開発のための前研究	森田善仁	麻酔科学・ペインクリニック講座
691	臨床医薬26:335-351,2010.	がん疼痛に対するHFT-290の第Ⅲ相臨床試験-用量換算検証	宮崎東洋	麻酔科学・ペインクリニック講座
692	がんと化学療法. 37:1747-1752,2010.	がん疼痛に対する1日1回貼付のフェンタニル経皮吸収剤の第Ⅱ相臨床試験	宮崎東洋	麻酔科学・ペインクリニック講座
693	麻酔(0021-4892)59巻8号 Page1058-1062(2010.08)	従来より短時間測定機能をもつ血圧測定機器の精度検証(原著論文)	小西るり子	麻酔科学・ペインクリニック講座
694	麻酔(0021-4892)59巻9号 Page1171-1177(2010.09)	頭側に5cmと7cm留置した硬膜外カテーテルの先端の位置と方向性には有意差がなかった(原著論文)	川越いづみ	麻酔科学・ペインクリニック講座
695	麻酔(0021-4892)59巻10号 Page1267-1290(2010.10)	硬膜外ブロック時に生じた非免疫学的アナフィラキシーの1症例(原著論文)	小西るり子	麻酔科学・ペインクリニック講座
696	慢性疼痛, 2010, 29: 41-6	痛みによる睡眠障害質問票の開発のための前研究	森田善仁	麻酔科学・ペインクリニック講座
697	日本頭痛学会誌, 36:244-247, 2010.	『後頭部痛における天柱ブロックの有効性とその評価』	井福 正貴	麻酔科学・ペインクリニック講座
698	臨床病理, 2010; 58(3):205-210	中高年者における血清亜鉛濃度は年齢とともに低下し、貧血に関連する。	出居真由美	臨床検査医学講座
699	日本臨床検査自動化学会誌, 2010; 35(5): 884-887	GLIA法によるCA19-9測定値乖離例における非特異反応の系統的解析	海原和己	臨床検査医学講座
700	臨床病理, 2010; 58(5): 437-441	血液培養から分離されたStaphylococcus属の臨床的意義判定における2セット採取の必要性	近藤成美	臨床検査医学講座
701	臨床病理, 2010; 58(6):559-564	自動血球分析装置を用いた脳脊髄液および体腔液中の細胞数算定と腫瘍細胞検出能	竹村浩之	臨床検査医学講座
702	臨床病理, 2010; 58(9):884-890	血液像自動分析システムCella Vision DM96の白血球分類能に関する検討	山本剛正	臨床検査医学講座
703	順天堂医学 56: 123-129, 2010	関節リウマチに対する白血球除去療法の治療効果メカニズム解明に向けた動物実験モデルの確立	小田啓介	膠原病内科学講座
704	医学と薬学 63: 925-933, 2010	コスミック社製Premmuneシリーズ(抗ENA抗体, 抗CENP-B抗体)の基礎的および臨床的検討—MBL社製MESACUPキットとの比較検討—	高崎芳成	膠原病内科学講座

計 704 件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	院長 高崎 芳成
管理担当者氏名	各部署責任者(馬場 子孝、堀越 正之、井田 豊太郎、大島 純子)

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病院日誌類： 管理課 入院診療録： 診療録管理室 平成21年5月以降は、電子カルテシステム内 外来診療録、X線写真：医事課、カルテ室	病院日誌については、管理課において、年度別に保管 手術記録を含む入院診療録については、患者別に保管(順次マイクロ化保管) ただし、平成21年5月以降の入院診療録については、診療科別に医事課担当で保管
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事部人事課	主に所属別、診療科別
	高度の医療の提供の実績	事務部管理課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	学術・研究支援課 事務部管理課	
	高度の医療の研修の実績	事務部医事課	
	閲覧実績	事務部管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携室 事務部医事課	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	事務部医事課 薬剤部		
第規一則号第一に掲げる条の第一項各号の状況及び第九條の二十三	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室 ・順天堂医院医療安全マニュアル 他	・付則に基づき、年1回以上医療安全管理委員会の議題として取り上げ、改正を検討。
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室 ・順天堂医院医療安全マニュアル 他	・毎月第3木曜日にRM全体委員会、第4水曜日に医療安全管理委員会を開催。また、隔月で危機管理・職業倫理委員会を開催。
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	・順天堂医院医療安全マニュアル 他	・セーフティーレクチャー(医療安全研修会)で「医療安全」「感染対策」「健康管理」「医療機器安全管理」「医薬品安全管理」について講義。また、e-Learningを使用して基礎講習会を全職員が受講。
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	・順天堂医院医療安全マニュアル 他	・昨年度多く報告されたインシデント事例をRM委員会で検討し対策を立てて実施し、検証している。
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理室 ・順天堂医院医療安全マニュアル 他	・重大事例は、医療安全管理委員会にて検討。

第一項	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策室室長 堀 賢、ICP5名、事務員1名	・医療安全管理室に属する管理内容は医療安全管理指針に準拠する。
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理室 ・順天堂医院医療安全マニュアル 他	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	サービス課 「患者さんご相談コーナー」	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一條の十一第一項各号及び第九條の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染対策室 順天堂医院感染対策ガイドラインマニュアル2011、学内HP、医療情報端末IE
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策室 順天堂規約集 規第平12-6
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策室 年次ごとに作成(別紙参照)
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策室 感染対策委員会にて報告、検討(日報、週報、月報) MRSA、MDRO、各種届出が必要な感染症、血液培養ラウンド、感染症ポケットマニュアル発行等
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部長 佐瀬 一洋
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部 (医薬品情報室) 年度ごとに開催日、出席者、研究内容を記録し、薬剤部にて今後の計画を含め一元管理
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部 (医薬品情報室) 手順書については、薬剤部で作成、改定後、医療安全管理委員会にて承認後、関連部門に配付。実施状況については各部署で実施後、一元管理
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部 (医薬品情報室) 学会、企業、行政、患者、院内各部署からの情報を薬剤部(医薬品情報室)において収集、解析、一元管理し、学会、企業、行政、患者、院内各部署へ発信)
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学室長 代田 浩之
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学室 年度ごとに開催日、機種、出席者、内容を記録、保管
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学室 年度ごとに計画し、実施記録を機器ごとに分類、保管	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学室 製造販売業者、厚生労働省、PMDA、病院機能評価等からの情報を収集、分析し、医療機器安全情報としてレター等で周知	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	各所属長、院長 高崎 芳成
閲覧担当者氏名	各所属長、堀越 正之(管理課長)、井田 豊太郎(医事課長) 大島 純子(診療録管理室係長)
閲覧の求めに応じる場所	診療録閲覧室、会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	4 件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	2 件
	地方公共団体	延	2 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	52.46 %	算定期間	平成22年 4月1日～平成23年 3月31日
算出根拠 A: 紹介患者の数	26,000 人		
B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	18,103 人		
C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	5,832 人		
D: 初診の患者の数	77,075 人		

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： 1. 総則 2. 組織体制 3. 医療の安全確保を目的とした改善のための方策 4. 安全管理のための職員研修の実施 5. 医療事故発生時の対応方法 6. 患者相談窓口の設置 7. 安全な医療を提供するための院内規則・手順 8. 医療従事者と患者及びその家族間との情報共有 他	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年24回
・ 活動の主な内容：別紙マニュアル参照 I. 医療安全管理指針 P. 1～P. 20 II. 医療事故防止体制 P. 21 VI. 医療安全に関する報告の流れ P. 26	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年15回
・ 研修の主な内容： I. 医療安全管理指針 4. 安全のための職員研修の実施 P. 14～P. 15	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： I. 医療安全管理指針 3. 医療の安全確保を目的とした改善のための方策 P. 10～P. 14 II. 医療安全防止体制 P. 21 VI. 医療安全に関する報告の流れ P. 26	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (7名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・ 所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (3) 名 ・ 活動の主な内容： I. 医療安全管理指針 2. 組織体制 P. 2～P. 10 2. 医療の安全確保を目的とした改善のための方策 P. 10～P. 14 4. 安全のための職員研修の実施 P. 14～P. 15 5. 医療事故発生時の対応方法 P. 16～P. 19	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

I 医療安全管理指針

1. 総 則

1) 安全管理指針の目的

医療は、患者と医療従事者の信頼関係、医療に対する信頼の下で、患者の救命や健康回復を最優先として行われるべきものであり、患者を中心とした安全で質の高い医療を提供しなければならない。この実行のために全ての医療従事者は医療安全に取り組むものとする。このため本指針は、順天堂大学医学部附属順天堂医院における医療安全管理に関する基本方針を定めるとともに、院内の責任体制を明確にし、医療安全管理の具体的な推進方策について定めることを目的とする。

2) 医院における医療安全管理の基本方針

安全な医療を提供するためには、医療従事者一人ひとりが患者の安全を守る意識を持つことが不可欠ではあるが、近年の医療の高度化・複雑化等を背景に、医療従事者個人の努力に依存した医療安全管理は困難になってきている。このため、当院においては医療安全管理をシステム化し、院長、医療安全管理を統括する医療安全管理室室長、医療安全管理者、医療安全管理委員会、リスクマネジメント全体委員会を中心として有機的な体制を構築し、総合的管理の一環として組織横断的に取り組む。また、常により質の高い安全な医療提供体制を構築するのみならず、患者・家族に対する接遇に留意し、計画・実施・評価・改善の一連の過程において継続的な見直しを行うことにより、医療現場の状況の変化に適切かつ迅速に対応した医療安全管理を実施する。さらに、医療安全管理に資する情報を職員全体で共有し、組織における安全文化を醸成するため、発生した医療事故、ヒヤリ・ハット事例情報等の分析結果や、医療安全管理委員会等で検討・決定された事故予防対策等を、速やかに職員にフィードバックするとともに、各種の関連する研修会を通じて、医療安全管理に関する職員の教育や啓発に努めるものとする。

3) 医療安全管理における医院職員の責務

(1) 院長の責務

院長は、医院における最高責任者として、医療安全管理に必要な組織体制を整備し、これを指揮・監督する。具体的には、本指針に基づいて円滑かつ効果的に医療安全管理が遂行できるよう、医療安全管理活動の具体的目標や予算の策定、職員の能力や適性に応じた人事・処遇、職場環境の整備等を行い、医院を一つの組織体として適正に管理する。

(2) 個々の職員の責務

全ての職員は、患者の安全を最優先し、安全に医療を提供する責務があることを十分に認識して業務に当たる。このため、職員は医療従事者としての基本的な倫理観や知識・技術の継続的な習得を行い、患者の安全確保に努める。また、職員は、チーム医療の担い手としての役割と責任を果たすために、日ごろから緊密な協力体制を築き、本人の医療安全管理活動へ積極的かつ主体的に参加する。

2. 組織体制

医院における医療安全管理ならびに事故発生時の緊急対応について、医院の組織全体が効果的・効率的に機能するよう、以下の役職および組織等を設置する。

1) 医療安全推進部(2007年4月組織変更)

病院の安全管理の強化のため、平成19年4月医療安全推進部が発足した。医療安全推進部は、医療安全管理室・感染対策室・健康管理室から構成されている。検討案件の性質により3室が適宜連携して組織横断的に問題解決にあたる。

(1) 医療安全推進部・各管理室の構成

① 医療安全推進部・各管理室には以下の各号に掲げる者とする。

- i 管理室長
- ii 管理室副室長
- iii 医療安全管理者(医療安全管理室)
- iv 事務職員
- v その他必要な職員

②室長，副室長，医療安全管理者は院長が任命する者をもって充てる。

③医療安全管理室，感染対策室，健康管理室の職員は院長が任命する。

(2) 医療安全管理室の役割

医療安全管理室は，次に掲げる各号についてその役割を担う(感染対策室，健康管理室の役割の詳細は各室マニュアルに記載)。

①医療の安全を確保するための改善方策に関すること

- 「インシデントレポート」による情報の収集・分析
- 医療事故予防策，再発防止策の立案，実施，評価および見直し
- 安全な医療提供のためのガイドラインやマニュアルの策定に関すること
- 患者からの苦情・要望等の分析および医療安全管理への活用

②医療安全管理のための職員への企画・運営および院内広報等の企画・実施

③医療事故発生時の対応に関すること

- 診療録・看護記録等への記載状況についての確認・指導
- 患者への診療や説明等の対応状況についての確認・指導

④医療安全管理委員会の円滑な運営に関すること

- 医療安全管理委員会に対する議題の提案
- 医療安全管理委員会の資料作成，議事録作成等の庶務

⑤医療安全管理に関する院内の連絡調整

⑥その他医療安全管理に関する業務

2) 安全管理者の配置

(1) 医療安全管理者

(医療安全管理者の役割)

医療安全管理者は，医師，薬剤師または看護師のいずれかの資格を有し，所定の医療安全管理研修を修了したものとする。

医療安全管理者は，医療の質・安全管理委員会の構成員

となり医療の安全管理に関する体制の構築に参画し、医療の質・安全管理室の業務に関する企画立案及び評価、委員会等の各種活動の円滑な運営を支援する。また、医療安全に関する職員への教育・研修、情報の収集と分析、対策の立案、事故発生時の対応、再発防止策立案、発生予防および発生した事故の影響拡大の防止等に努める。そして、これらを通し、安全管理体制を組織内に根づかせ機能させることで本院における安全文化の熟成を促進する。

医療安全管理者は、医療安全対策の推進に関する業務を専ら従事し、医療安全部門の各組織ならびに各安全管理者と連携して、以下の業務を行う。

- ①安全管理部門の業務に関する企画立案および評価を行う。
- ②定期的に院内を巡回し各部門における医療安全対策の実施状況を把握・分析し、医療安全確保のために必要な業務改善等の具体的な対策を推進する。
- ③各部門における医療事故防止担当者への支援を行う
- ④医療安全対策の体制確保のための各部門との調整を行う
- ⑤医療安全対策に係る体制を確保するための職員研修を企画・実施する
- ⑥相談窓口等の担当者と密接な連携を図り、医療安全対策に係る患者・家族の相談に適切に応じる体制を支援する

(2) 医療機器安全管理責任者(2007年4月、医療法改正により配置)

医療機器安全責任者1名を配置し、放射線担当者1名、医療機器担当者1名、医療材料担当者1名が協力して医療機器の安全使用に関する業務を担う。

(医療機器安全管理責任者の役割)

医療機器安全管理責任者は、医療機器に関する十分な知識を有する医師、薬剤師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士のいずれかの資格を有する者とし、医療機器に関わる安全管理のための体制を確保するため、医療安全管理委員会や各安全管理者と連携し、以下の業務

を行う。

- ①教職員に対し、新しい医療機器を使用する際や安全操作の教育が必要な医療機器に関する研修を定期的実施し記録する。
- ②医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検を適切に実施し記録する。
- ③医療機器の添付文書、取扱説明書等の医療機器の安全使用・保守点検に関する情報整理と管理を行う。
- ④医療機器の不具合情報や安全性情報等を製造販売業者等から一元収集し、得られた情報を医療機器扱者に適切に提供している。
- ⑤管理している医療機器の不具合や健康被害等に関する内外の情報収集を関係法令に留意し、病院長に報告する。

(3) 医薬品安全管理責任者(2007年4月、医療法改正により配置)

医薬品安全管理責任者1名を配置し、医薬品の安全使用に関わる業務を担う。

(医薬品安全管理責任者の役割)

医薬品安全管理責任者は、医薬品に関する十分な知識を有する医師、薬剤師または看護師のうちのいずれかの資格を有する者とし、医薬品に関わる安全管理のための体制を確保するため、医療安全管理委員会や各安全管理者と連携し、以下の業務を行う。

- ①医薬品の安全使用のための業務に関する手順書を作成し、管理する。
- ②教職員に対する医薬品の安全使用のための研修を実施し、記録する。
- ③医薬品の業務手順書に基づく状況を確認し、記録する。
- ④医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集、その他の医薬品の安全確保を目的とした改善のための方策を実施する。

3) 医療安全管理委員会

(目的)

医院における医療事故防止の取り組みを効果的に推進

し、医院全体および各部門における医療事故防止体制の整備を図るために必要な事項ならびに院長の諮問事項を審議献策し、医療従事者への周知を図るとともに実施状況を必要に応じて調査、見直しを行う。

(委員会の構成)

- ① 医療安全推進部長
- ② 医療安全管理室長
- ③ 感染対策室長
- ④ 医療安全管理室副室長
- ⑤ 医療安全管理者
- ⑥ 総医局長
- ⑦ RM 全体委員会委員長
- ⑧ 看護部長
- ⑨ 薬剤部長
- ⑩ 事務部長
- ⑪ その他委員会が必要と認めたもの若干名

(委員会の開催)

原則として月 1 回開催する。

(委員会の出席)

委員会へ出席できない場合は必ず代理出席をする。

(情報の取扱い)

- ① 委員は、その職務に関して知り得た情報について、既に公表されているものを除き、院長の許可なく他に漏らしてはならない。
- ② 委員は、患者のプライバシーを特に尊重しなければならない。
- ③ 情報の取扱いは関係する職員すべてに適用されるものとする。

4) リスクマネジメント全体委員会

(目的)

医院全体の安全管理に関する連絡・意見交換を行い、各部門における医療安全活動および問題点の報告等により、適正かつ効率的に事故防止を図る。

(委員会の構成)

委員長：1 名

副委員長：医療安全管理者 他 2 名

RM 委員：医師，薬剤師，看護師，放射線・臨床検査技師，事務職員など，各診療科・部門より若干名とし，部門から選任された職員から責任者を置く。その他委員会が認めたもの若干名

(委員会の開催)

委員会は原則として月 1 回開催する。

(委員会の出席)

委員会へ出席できない場合は必ず代理出席をする。

(小委員会の設置)

委員会は必要に応じて小委員会を設置することができる。小委員会の委員長は委員会の委員長が任命する。

(小委員会の任務)

各診療科・部門から選任された RM 委員は，必ず小委員会に所属し，医療事故の原因，防止方法に関する検討・提言，医療安全管理委員会，委員会活動に対する提案を行う。

(RM 委員の役割と業務)

- ① 部門から選任された RM 委員は，部門の管理者を補佐し，医療安全対策を推進する。
- ② 部門における「医療安全に関する報告」の提出促進・収集・分析。
- ③ 部門の事故予防策，再発防止策の検討・推進。
- ④ 途中就任した医療従事者には，安全指針を周知する。
- ⑤ 病院全体の医療安全管理に関する事項を当該部門の委員会等に報告し，各医療従事者に周知する。周知状況を医療安全管理室に報告する。

5) 医療安全を推進する担当者(リスクマネジャー)

(1) リスクマネジャーの配置

各部門・部署の管理者を補佐し，医療安全管理活動を推進する者として，各部門，部署にリスクマネジャーを配置する。リスクマネジャーは各部門・部署の責任者が任命する。

(2) リスクマネジャーの役割

リスクマネジャーは，次に掲げる各号についてその役割を担う。

- ① 各部門・部署における「インシデントレポート」の提出の促進・収集・分析。

②各部門・部署における事故予防策，再発防止策の検討・推進。

③医院全体の医療安全管理に関する各部門・部署の意見のとりまとめ，提案。

④各部門・部署の職員等への周知と周知状況の把握。

(3) リスクマネジャー小委員会

医療安全管理委員会，医療安全管理室と連携して，各部門・部署における安全対策を円滑に進めるための討議を行うことを目的として，リスクマネジメント小委員会および全体委員会を定期的に開催する。

6) SE 対策チーム

(チームの構成)

委員長：医療安全推進部長

委員：医療安全管理室長，副室長，医療安全管理者，感染対策室長，他1名

医師：内科系，外科系，精神・神経系若干名 その他，チームが必要と認めたもの 若干名

(チームの業務内容)

院長，関連診療科または部門の求めにより，医療事故等の原因究明が適切に実施されるよう早急に調査・分析を行い，患者や家族への診療や説明などの対応状況ならびに診療録や看護記録などへの記載状況について確認・指導する。

7) SE 対策委員会

(委員会の構成)

SE 対策チーム，関係診療科医局長，担当医，関係看護師長，看護師，管理課職員，その他随時

(委員会の開催)

重大な問題が生じた場合，または患者や家族からの苦情により，当該診療科・部門のみでは対応が難しい場合に随時開催する。

(委員会の審議)

事故等の原因究明，対応策等を策定し，必要があれば医療安全管理委員会で協議し，事例調査委員会に報告するとともに，医療安全対策への活用を行う。

8) 事例調査委員会

(委員会の構成)

委員長：院長

委員：副院長，総医局長，医療安全推進部長，医療安全管理室長，医療安全管理者，感染対策室長，事務部長，顧問弁護士，管理課長，その他随時

担当部署：教授，前任准教授，医局長，担当医，担当師長，その他随時

(委員会の業務内容)

- ① 重大事故発生後，関連部署職員が集まり事故の概要，原因について時系列で詳細に分析し，患者・家族への対応，外部機関への対応を早急に検討する。
- ② 事故発生の診療科等に医療事故防止の具体的指導を行う。

9) 外部調査委員会

(委員会の目的)

医療安全推進部長の進言に基づき，院長の求めにより，重大事故発生後，当院の外部から公正・中立かつ客観的な視座によって医療事故内容の検討と評価を行い，もって当院の医療安全管理体制および医療の質の向上に資することを目的とする。

(委員会の構成)

- ① 発生した医療事故の医療行為が分析できる専門医
- ② 事例調査委員会の調査手法，論点を客観的に評価できる弁護士・法律家など
- ③ 科学的に事故原因を究明できる薬剤師・看護師・臨床工学技士・診療放射線技師など
- ④ 医療事故を多角的方面より分析できるジャーナリストなど
- ⑤ その他，病院長が指名した者

(委員会の業務内容)

- ① 当該事例に関する情報の収集
- ② 当該事例に関する医療内容の検討・評価
- ③ 当該事例に関する外部評価報告書の作成
- ④ 医療安全管理体制および医療の質の向上に関する提言

⑤その他，本委員会の目的を達成するために必要なこと

10) 危機管理・職業倫理委員会(2009年4月発足)

(委員会の構成)

委員長：病院管理学教授

委員：個人情報管理委員長，接遇マナー・職業倫理委員長，危機管理委員長，薬剤部長，看護部長，事務部長，総医局長，RM全体委員長，臨床研修センター運営委員長，感染対策室長，医事課長，サービス課長，本郷地区情報センター，警備課長，医療安全管理者

危機管理・職業倫理委員会は「個人情報管理委員会」「接遇マナー・職業倫理委員会」「危機管理委員会」の3委員会で構成され，それぞれに委員長と委員を配置する。

(委員会の開催)

「個人情報管理委員会」「接遇マナー・職業倫理委員会」「危機管理委員会」の各委員会は毎月1回，委員会を開催し，リスク情報の収集，病院への影響度の評価，対策等を行い，2ヶ月に1回，3委員会を統合した会議を開催する。

3. 医療の安全確保を目的とした改善のための方策

医療の安全確保を図るためには，各々の業務を医療安全の観点から見直し，その結果に基づいて当院全体で医療安全管理に取り組むべき必要がある。標準化，統一化，規則化の推進，正確で効率的な情報管理を促進するとともに，策定された安全対策を計画・実施・評価という一連の過程から，さらなる改善活動を通じて常に見直していく必要がある。当院における医療事故等の報告体制は，こうした改善活動の一環として重要である。さらに，当院の医療安全管理活動を評価し，改善につなげていくために，内部評価，外部評価を実施する。

1) 医療事故等に関する報告制度

(1) 報告制度の目的

医院では，医療事故につながる可能性のある問題点を把

握して効果的な安全対策を講じるため、全職員を対象にインシデントレポート事例の報告を制度化し、その収集を促進するとともに、収集した情報を活用して組織全体で継続的な業務改善に取り組む。

(2) 報告制度の対象とする事例

報告制度で対象とする事例は、以下のとおりとする。

① 医療事故(アクシデント)

医療に係わる場所で、医療の全過程において発生するすべての人身事故一切を包含し、医療従事者が被害者である場合や廊下で転倒した場合なども含む。

② ヒヤリ・ハット(インシデント)

日常診療の場で、誤った医療行為などが患者に実施される前に発見されたもの、あるいは、誤った医療行為などが実施されたが、結果として患者に影響を及ぼすに至らなかったもの。

(3) 報告経路と報告方法

① 医療事故ならびにヒヤリ・ハット事例を体験または発見した職員は、その概要をインシデントレポートシステムに入力し、翌日までに上司および当該リスクマネジャーに報告する。

② 当該リスクマネジャーは、提出された報告の内容を確認し、当該部門・部署の管理者に報告する。

③ 部門・部署の管理者は必要に応じ、リスクマネジャーに調査・分析を指示する。

④ リスクマネジャーは、調査・分析の結果を部門・部署の管理者及び医療安全管理室に報告する。報告は 24 時間以内に行う。

⑤ 医療安全管理室は、一定期間内に提出されたインシデントレポートを集計し、所定の期日ごとに医療安全管理委員会およびリスクマネジャー全体委員会で報告する。

(4) 重大な医療事故の場合の報告

重大な医療事故が発生した場合には、以下に定める手続きに従って報告を行う。

① 対象となる医療事故

- i 当該行為によって患者が死亡または死亡に至る可能性がある場合

- ii 当該行為によって患者に重大もしくは不可逆的傷害を与え、または与える可能性がある場合
- iii その患者等から苦情を受けた場合

②報告経路と報告方法

- i 重大な医療事故発生時には、直ちに当該リスクマネージャーに報告する。報告を受けたリスクマネージャーは、医療上必要な指示を与え、各部門・部署の責任者を經由して速やかに院長および医療安全管理室長に報告する。また、緊急を要する場合にはひとまず口頭で報告し救命措置の遂行に支障を来たさない範囲で遅滞なくシステムによる報告を行う。
- ii 患者の生死に関わる重大かつ緊急な場合は、上記経路を省略して院長に直接報告することができる。

(5) インシデントレポートの分析

医療安全管理室は、報告されたインシデントレポートから当該部門・部署担当のリスクマネージャーと連携し、事例の分析・対処にあたる。複数部門・部署間に関連する問題、本院全体の医療の質に関わる問題などは医療安全管理室ならびに医療安全管理者が中心となって事例の分析にあたる。医療安全管理室は事例分析と策定した事故予防策案ならびに再発防止策案を医療安全管理委員会に報告する。

(6) 事故予防策・再発防止策の検討と決定

医療安全管理委員会は医療安全管理室からの報告に基づいて、分析結果の妥当性、リスクの重大性、リスク予測の可否、システム改善の必要性、事故予防策ならびに再発防止策等について協議する。

(7) 事故予防策・再発防止策の職員への周知徹底実施

医療安全管理室は、医療事故およびヒヤリ・ハット事例の分析・実施・評価結果や、医療安全管理委員会の協議に基づいて決定された事故予防策・再発防止策について、リスクマネジメント全体委員会で報告した後、各部門・部署の責任者およびリスクマネージャーを通じて全員に周知・徹底する。また、定期的な職員研修の実施、ニュースレター等により、周知徹底を図る。

(8) 事故予防策、再発防止策の実施状況の調査・評価と継続的な改善活動

医療安全管理室は、事故予防策や再発防止策の実施状況を定期的に調査・評価し、必要に応じた見直しを継続的に行う。

なお、事故予防策や再発防止策の調査・評価結果や見直しに関する、医療安全管理委員会への報告等の手続きについては、「(5)インシデントレポートの分析」、「(6)事故予防策・再発防止策の検討と決定」に準ずる。

(9) リスクマネジャーとの連携

医療安全管理室は、インシデントレポートの分析・評価、事故予防策・再発防止策の検討およびその実施状況の調査等にあたっては各部門・部署のリスクマネジャーと連携してこれを行う。

(10) 診療録への記載

医療事故が発生した場合には、その内容と、患者や家族への説明など事故発生時の対応状況を診療録、看護記録等に正確に記載する。

(11) 報告者の保護

インシデントレポート報告者に対し、報告があった事実のみで、正当な事由なく不利益な処分を行わない。

(12) 守秘義務

医療事故やヒヤリ・ハット事例について本報告制度によって職務上知りえたものは、その内容を正当な事由なく他の第三者に告げてはならない。

2) 医療の安全確保を図るためのその他の方策

(1) 標準化・規則化等の推進

医療の質の向上と安全性を高めるためには、医療行為等の作業手順の統一化、入院時診療計画(クリニカルパス)の活用、物品の保管や配置等の統一化等によって標準化を図るとともに、院内における業務活動については可能な限り規則化し、その遵守を徹底することが重要である。また、高度化・複雑化する医療において、適切な診療情報管理、情報伝達を行うため、情報管理手法の統一化や、情報システムの導入・活用を推進する。

医院では、業務活動の標準化、規則化等を推進するため、

各部門・部署における業務マニュアルを整備するとともに、医療安全管理にとって重要な規則や手順等は院内規則・手順として明記し、その内容の周知徹底を図る。また各業務マニュアルおよび院内規則・手順は、適宜評価・見直しを行い、現場の安全と医療の質をより向上させるものとしなければならない。

(2) 医療安全管理活動の評価

① 内部評価活動

医療安全管理室は、医院における医療安全管理活動の成果を評価し、一層の改善を行うため、日常的な院内の巡回等を活用して、以下の事項について内部評価活動を行う。

- i 診療録や看護記録等の記載状況
- ii 業務マニュアル等の整備，見直し状況
- iii 本指針および各種マニュアルの遵守状況
- iv ヒヤリ・ハット，医療事故報告の活用状況

② 外部評価の活用

当院の安全管理上の問題点について、外部からの評価によって明らかにすることを目的として、(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価、他の医療機関との相互評価など、第三者による評価を積極的に活用する。

4. 安全管理のための職員研修の実施

医療安全管理に関する基本的な考え方や、医療事故予防・再発防止の具体的な方策を職員に周知徹底することにより、個々の教職員の安全に対する意識を高め倫理意識や安全文化を醸成し、安全に業務を遂行するための能力の向上を図ることを目的として職員研修を実施する。

1) 医療安全管理室の役割

(1) 研修の実施

医療安全管理室は、医療安全管理に関する以下の研修を計画し、実施する。

① 医療機関全体に共通する医療安全管理に関する研修

目 的：医療安全管理に関する基本的な考え方を理解するとともに、リスク感性および医療安

全に関する個々の責務に関する啓発を図る。

受講対象：全職員

開催回数：年 11 回

②新規採用者に対する医療安全管理に関する研修

目的：病院の理念と医療安全管理に対する基本的な考え方を理解するとともに、医療安全を確保するために遵守しなければならない事項に関する知識を修得する。

受講対象：新規採用者

開催回数：年 3 回(新規採用者研修の全体研修の一部として実施)

③指導者の研修

目的：指導者の役割を理解し、具体的な活動を行う上での医療安全の知識、技能を修得する。

受講対象：指導者

開催回数：年 2 回程度

④臨床研修医の研修

目的：医師の業務を理解し、具体的な業務を行う上でのモラル、知識、技能を修得する。

受講対象：臨床研修医、医師

開催回数：年 3～4 回程度(全該当者が受講できるように調整)

(2)各部門・部署への支援

医療安全管理室は、各部門・部署が医療安全管理に関する研修を実施する際には、必要に応じて研修計画への参加や講師派遣などの協力を行うとともに、各部門・部署における研修の実施状況を把握し、積極的な研修実施を促す。

(3)研修参加の促進

医療安全管理室は、リスクマネージャーと連携し、研修への職員の積極的な参加を促す。

2)各部門・部署のリスクマネージャーの役割

(1)研修の実施

各部門・部署は、その管理責任において、職員の職種、部門・部署、職位にふさわしい安全管理能力を得られるよう、以下のような研修を計画し、実施する。

①新人研修

新規採用者に対する研修に加え、新人に対しては、各部門・部署ごとに、医師、看護師などが専門業務を行う上で必要とされる基本的な知識・技術の実践を含めた研修を行う。

②各部門・部署単位での医療安全管理に関する研修

各部門・部署は、専門業務の理解、安全管理の徹底、業務改善への意識付けを行うための研修を実施する。配置転換に伴う転入者に対する研修を各部門・部署単位で必要に応じて実施する。

(2)外部研修への派遣

各部門・部署は、職員の職種、部門・部署、職位にふさわしい安全管理能力を得られるよう、必要に応じて外部研修の活用を行う。

3) 医療安全管理者、医療安全管理室職員の研修

院長は医療安全管理者、医療安全管理室職員が医療安全管理に必要な能力確保を図るために、外部研修の派遣など必要に応じて学習の機会を提供する。また医療安全管理者、医療安全管理室職員は、自ら医療安全管理に関する情報を幅広く収集し、院外での研修会等に積極的に参加することにより、知識・技能の向上に努める。医療安全管理者は、院内・外の研修や情報収集等により、医療事故やヒューマンエラーに対する正しい知識を持ち、安全管理に関わる病院の管理を適正に行うよう努める。

4) 研修の実施記録

医療安全管理室および研修を実施した部門・部署は、医療安全管理に係わる職員研修の実施内容を所定の方法で記録する。その記録は医療安全管理室で保管する。

5. 医療事故発生時の対応方法

医療事故発生時には、患者の救命を最優先して、誠心誠意治療に専念するとともに、事故の内容を明らかにし、医療従事者としての説明責任を適切に果たすために、患者・家族等に誠実に説明する。また、事故の再発防止策を早期に検討し職員に周知徹底する。

1) 初動対応

(1) 患者の安全確保

医療事故が発生した場合は、患者の安全確保を最優先課題とし、医師、看護師等の連携の下、迅速な救命救急処置を行う。事故発生部署の職員だけでは十分に対応できない場合は早急に他の診療科や専門医の応援を求め、病院の総力をあげて対応する。他院への転送が必要な場合は、患者・家族に承認を得た上で速やかに転送する。

(2) 患者に使用した薬剤・器具等の保管

事故発生前後に当該患者に使用した薬剤、注射器等は、事実確認および事故発生要因の検討に活用するために現状を保存しておく必要があるため、廃棄せず、保管する。また、使用した医療機器等の設定値についても、同様の理由により現状を保存する。現状保存の期間、方法については院長が医療安全管理者および事故発生部門・部署の責任者と相談し、決定する。

(3) 事実経過の正確な記録

医療事故発生前後における事実経過については、事実確認および事故発生要因の検討に活用するため、診療録、看護記録等に正確に記録する。

2) 医療事故の報告

医療事故発生時の報告については、「3. 1) 医療事故等に関する報告制度」に定める手続きによる。

3) 患者・家族等への説明

(1) 患者・家族等への説明

事故発生後、救命措置の遂行に支障を来さない限り可及的速やかに、患者本人・家族等への説明を担当する職員を決定し、事故の状況、現在実施している回復措置、その見通し等について、誠意を持って説明する。患者・家族等の要望および患者の状態の変化等に応じて、その時々状況が理解できるように追加説明を行う。尚、説明時は担当職員と記録者の2名以上で対応する。

(2) 説明内容の記録

説明を行った事実および説明の内容については、説明を

行った者が診療録等に明記しておく。また、同席者が記録した「病状治療方針説明記録」は診療録に綴じる。

4) 警察への届出

医療過誤により死亡または傷害が発生した場合、またはその疑いがある場合は、院長が所轄警察署(本富士警察署)に届出を行うことがある。

5) 事故の再発防止

医療事故発生後、医療安全管理室、医療安全管理委員会等において、事故の再発防止について検討し、再発防止策を策定し、職員全員に徹底する。

6) 事例調査委員会の設置・招集

院長は、自らまたは医療安全管理委員会の審議に基づき医療事故の事実調査、患者・家族等への対応、外部関係機関への対応、医事紛争への対応、再発防止策の検討等を目的として、必要に応じて事例調査委員会を設置・招集することができる。

7) 重大事故発生時の施設内職員および他の患者への対応

重大事故発生後、速やかに組織としての方針を決定し、全職員に事故発生の実態と経過を説明することを基本とする。説明はあらかじめ準備した資料に基づいて行う。その際、部署・患者・事故当事者等が特定されないように十分留意する。

他の患者への対応は、説明する範囲(病室、当該部署、施設全体)と内容を組織の対応方針に基づき決定する。

8) 重大な事故に関わった職員への対応

事故により重大な結果を招いた場合、当事者となった職員へは適切な配慮や長期的な支援が必要である。医療のプロセス・システムには、誰もが事故当事者となりうる危険性が潜んでいる。個人を責めるのではなく、医療のプロセス・システム全体に策を講ずることで再発防止を図る、という考え方を基本とする。重大事故に関わった職員は、院

長および所属長が必要と判断した場合にメンタルクリニックを受診することができる。その後のサポートは人・組織・機能を活かした支援体制を整え、当事者の状況に応じた支援内容を検討し、実施する。

6. 患者相談窓口の設置

患者から寄せられる苦情等について迅速に対応するとともに、患者の意見や要望を聞き、医院の医療安全管理に積極的に活用し、病院運営全般に反映させるため、当院の情報公開に資するため、相談窓口を設置し対応する。

1) 患者相談窓口の体制

患者相談窓口を設置し、患者・家族等からの相談に対応する担当者を配置する。

2) 患者相談窓口の業務

患者相談窓口の存在を患者・家族に徹底するとともに、相談を行ったことにより患者や家族などが不利益を受けないよう配慮しなければならない。

3) 患者相談窓口に関する院内掲示

患者相談窓口担当者は、患者相談窓口の活動の趣旨、設置場所、対応時間等について、病院受付、待合室、病室等における掲示や、入院時の案内等を通じて、患者・家族等に幅広く案内するよう努める。

7. 安全な医療を提供するための院内規則・手順

医院では安全管理のための重要な規則や手順を以下のように決定し周知している。チーム医療の中で、これらの規則・手順が尊重され守られ、また評価されることは、患者安全を確保する上で極めて重要である。

- 患者確認のルール
- 誤薬防止のための基本ルール
- 輸血に関する事故予防マニュアル
- 化学療法実施マニュアル
- インスリン指示の標準

- 転倒・転落事故予防マニュアル
- 静脈血栓塞栓症予防マニュアル

8. 医療従事者と患者およびその患者間との情報の共有

患者の病状，治療方針，リスク及び合併症等を患者およびその家族等に必要かつ十分に説明をして同意を得ること。さらに説明を受けることを希望する患者および家族等に対しては，積極的に情報共有を行い，医療従事者と患者およびその家族等との情報共有を図ることに努める。

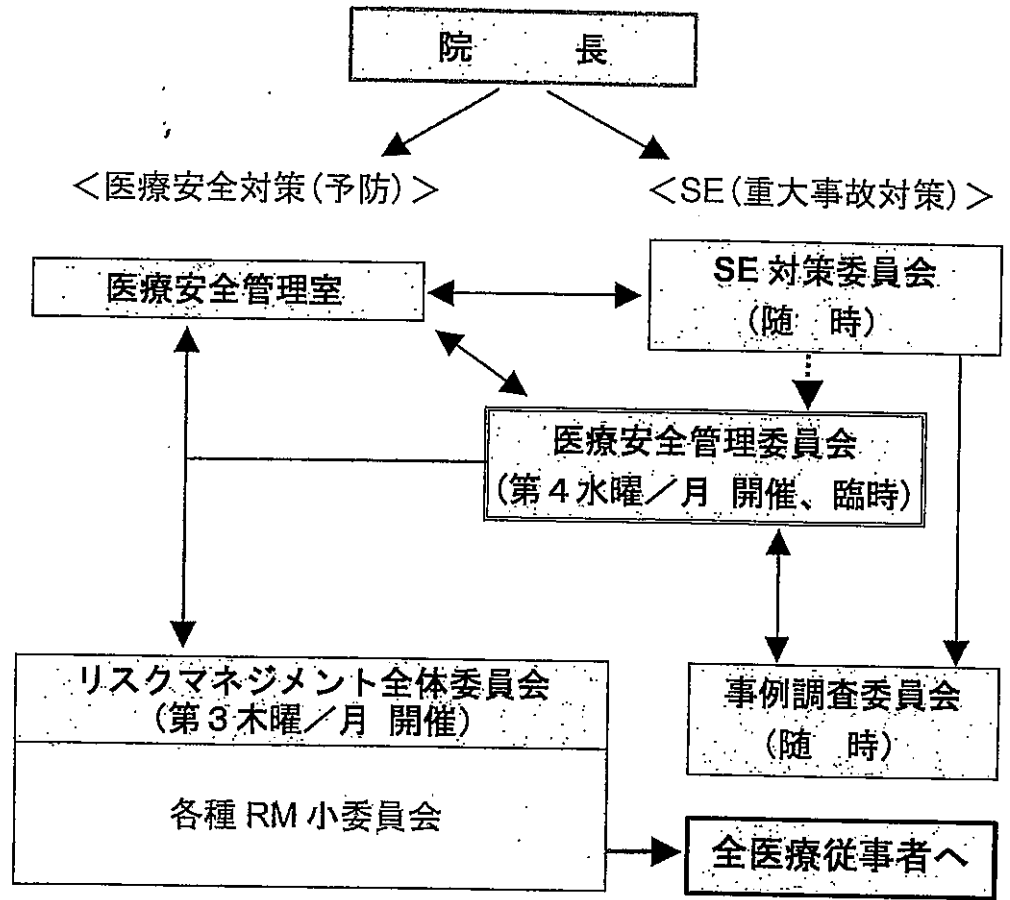
本指針は，患者および家族等から閲覧の求めがあった場合には，これに応じる。また，本指針についての照会には，医療安全管理室が対応する。

9. 付 則

医療安全管理委員会は，少なくとも毎年1回以上，本指針の見直しを議事として取り上げ，改正を検討する。

(2007.7.25) (2008.8.27) (2009.2.25) (2009.4.22)
(2009.8.25) (2010.1.27) (2011.1.24)

Ⅱ 医療事故防止体制

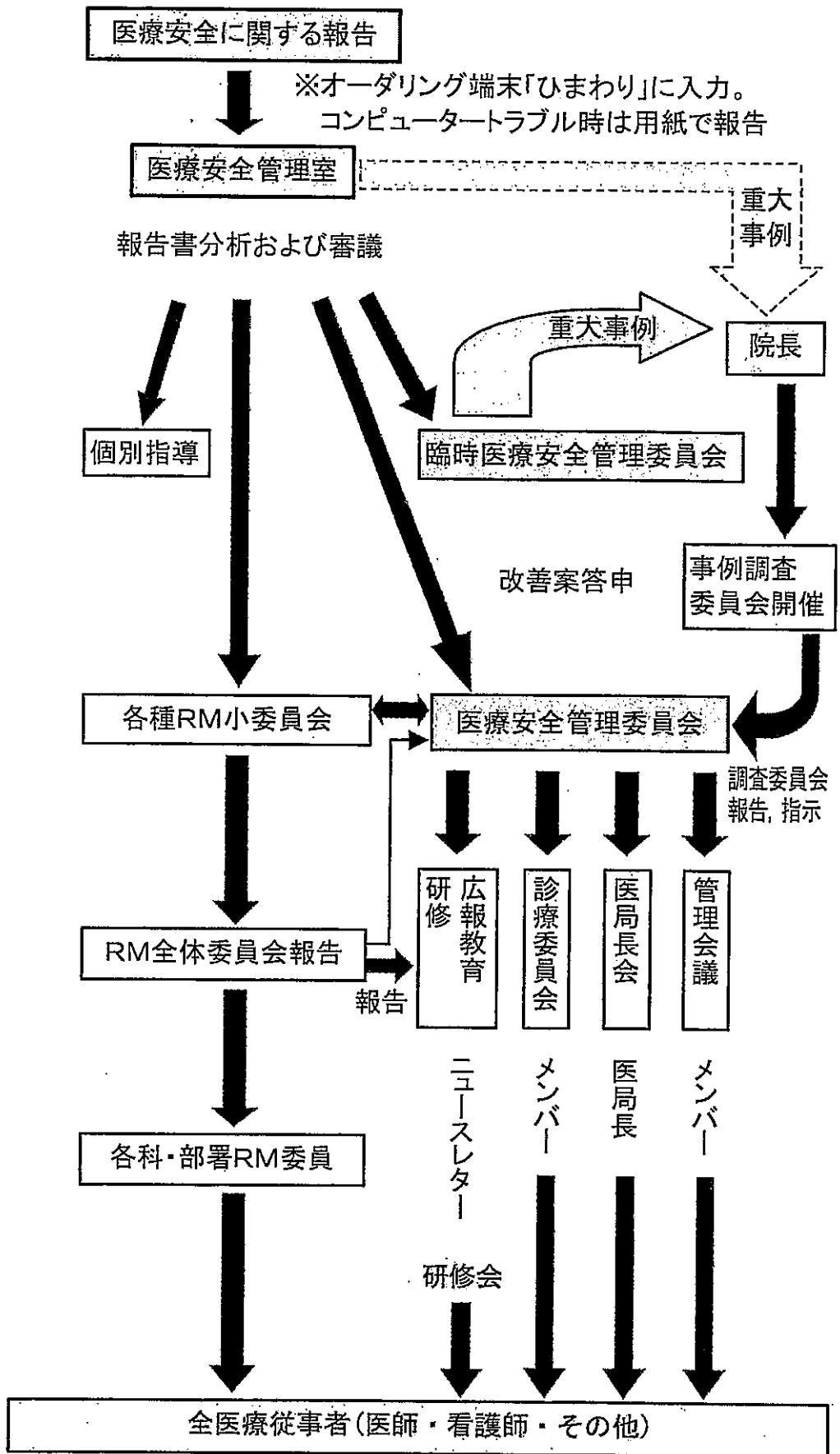


注)

RM : Risk Manager or Risk Management

SE : Sentinel Events

VI 医療安全に関する報告の流れ



(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1) 院内感染に関する基本的な考え方2) 感染対策委員会の組織に関する基本的事項3) 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針4) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針5) 院内感染発生時の対応に関する基本方針6) 患者等に対する当院の院内感染対策指針の閲覧に関する基本方針7) その他の院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1) 病院内で発生した感染症の分布とその対応について、院内ガイドライン・マニュアルに従い、感染対策室からの現場指導を受けながら、有効性の確認や検証を実施2) 針刺し切創について、院内の届出書の集計結果を基に改善策を検討3) MRSA院内伝播数に応じて感染対策の実施と徹底を主体的に促すシステムを運営（レベルゼロシステム）	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年24回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>「標準予防策の徹底」「順天堂医院におけるMRSA感染対策」「インフルエンザ感染防止」「結核感染防止」など、感染対策の基本動作を中心に、患者－職員間での伝播のリスクが高いものに焦点を当てて開催。</p> <p>また、インフルエンザや麻しんなど、季節性や時事の話題性のある疾患について適宜取り上げて注意を促している。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1) 選択的MRSA保菌者のスクリーニング検査2) 現場主導型のMRSA感染対策活動（レベルゼロシステム）と擦式手指消毒剤使用推進活動3) MDROサーベイランスとアウトブレイク対応4) BSIサーベイランスと改善の取り組み5) 抗菌薬委員会と連携した抗菌薬処方適正化活動	

平成23年度 院内職員研修会開催状況

	実施日	時間	研修会名	研修項目	開催場所	対象職種	参加人数
1	4月1日	150分	臨床研修医 オリエンテーション	当院における感染対策 手指衛生・PPEの基本動作習得/安全機材使用方法など	生物化学系実習室	臨床研修医	56
2	4月13日	60分	新入職看護師 オリエンテーション	当院の感染制御の考え方	有山記念講堂	新入職看護師	165
3	4月14日 ～15日	120分 ×3	新入職看護師 オリエンテーション	手指衛生・PPEの基本動作取得/鋭利物品の 取り扱い方法など	生物学系実習室	新入職看護師	164
4	4月19日	20分	セーフティレクチャー	順天堂医院の感染対策2011年度版	有山記念講堂	全職員	426
5	4月25日	20分	セーフティレクチャー	順天堂医院の感染対策2011年度版	有山記念講堂	全職員	359
6	5月19・23日	各10分	新入職看護師 オリエンテーション	針刺し事故を防ぐために	有山記念講堂	新卒看護師	147
7	5月27日	20分	セーフティレクチャー	針刺し・切創・粘膜曝露事故防止について	有山記念講堂	全職員	466
8	6月27日	20分	セーフティレクチャー	針刺し・切創・粘膜曝露事故防止について	有山記念講堂	全職員	413
9	6月28日	25分	針刺し事故・ 粘膜曝露防止キャンペーン	針刺し事故を防ぐために	8号館2階 医学教育研究室	臨床研修医	32
10	6月28日	20分	放射線技師レクチャー	手指衛生について(講義)	1号館地下1階放射線部	放射線技師	15
11	7月7日	15分	放射線技師レクチャー	手指衛生について(演習)	1号館地下1階放射線部	放射線技師	14
12	7月28日	15分	セーフティレクチャー	旅行者感染症について 感染対策e-learning掲載開始のお知らせ	有山記念講堂	全職員	327
13	8月31日	10分	セーフティレクチャー	食中毒について	有山記念講堂	全職員	283
14	9月5日 ～8日	9:00 ～17:00	医療看護学部 看護課題実習	臨床の場における感染予防の試みと看護	院内	医療看護学部 4年生	4
15	9月12日 ～15日	9:00 ～17:00	医療看護学部 看護課題実習	臨床の場における感染予防の試みと看護	院内	医療看護学部 4年生	4
16	9月30日	5分	セーフティレクチャー	(予定)インフルエンザについて 手指衛生の5つのタイミングについて	有山記念講堂	全職員	
17	10月3日	90分	感染症予防実習	(予定)手指衛生・PPEの基本動作取得	生物学系実習室	医学部4年生	
18	10月未定	90分	看護助手 集合教育	(予定)手洗い講習・PPE着脱について	未定	看護助手 医事課職員	
19	10月27日	未定	セーフティレクチャー	(予定)インフルエンザ・マイコプラズマについて	有山記念講堂	全職員	
20	11月29日	未定	セーフティレクチャー	(予定)感染性胃腸炎について	有山記念講堂	全職員	
21	12月21日	未定	セーフティレクチャー	(予定)多剤耐性菌に対する当院の取り組みについて	有山記念講堂	全職員	
22	平成24年 1月31日	未定	セーフティレクチャー	(予定)結核について	有山記念講堂	全職員	
23	2月23日	未定	セーフティレクチャー	(予定)当院の感染対策の方針と活動成果について	有山記念講堂	全職員	
24	3月21日	未定	セーフティレクチャー	(予定)当院の感染対策の方針と活動成果について	有山記念講堂	全職員	

平成22年度 院内職員研修会開催状況

	実施日	時間	研修会名	研修項目	開催場所	対象職種	参加人数
1	4月2日	150分	臨床研修医オリエンテーション	当院における感染対策 手指衛生について・安全機材使用方法など	生物化学系実習室	臨床研修医	84
2	4月7日	60分	新入職看護師 オリエンテーション	感染対策の基礎	有山記念講堂	新入職看護師	206
3	4月16日	90分×4	新入職看護師 オリエンテーション	手指衛生について・PPE使用方法など	生物学系実習室	新入職看護師	206
4	4月26日	20分	セーフティレクチャー	感染対策の指針と基本的注意事項	有山記念講堂	全職員	305
5	4月30日	20分	セーフティレクチャー	感染対策の指針と基本的注意事項	有山記念講堂	全職員	334
6	5月17日 ～8月11日	各60分	針刺し事故・ 粘膜曝露防止キャンペーン	採血・鋭利物取り扱い実践演習	看護研究会室	新卒看護師	150
7	5月28日	25分	セーフティレクチャー	針刺し事故について	有山記念講堂	全職員	484
8	6月29日	30分	針刺し事故・ 粘膜曝露防止キャンペーン	針刺し事故について	大学院8番教室	臨床研修医	45
9	6月30日	25分	セーフティレクチャー	針刺し事故について 海外の感染症情報	有山記念講堂	全職員	415
10	7月23日	25分	セーフティレクチャー	針刺し事故について 海外の感染症情報	有山記念講堂	全職員	490
11	8月26日	25分	セーフティレクチャー	海外の感染症情報について	有山記念講堂	全職員	423
12	9月8日 ～11日	9:00 ～17:00	医療看護学部 看護課題実習	臨床の場における感染予防の試みと看護	院内	医療看護学部 4年生	4
13	9月13日 ～18日	9:00 ～17:00	医療看護学部 看護課題実習	臨床の場における感染予防の試みと看護	院内	医療看護学部 4年生	4
14	9月29日	20分	セーフティレクチャー	海外の感染症情報について	有山記念講堂	全職員	496
15	10月21日	90分	看護助手 集合教育	手洗い講習・PPE着脱について	有山記念講堂	看護助手 医事課職員	73 44
16	10月25日	25分	セーフティレクチャー	多剤耐性菌に対する当室の取り組みについて	有山記念講堂	全職員	284
17	11月30日	25分	セーフティレクチャー	当院の感染対策の取り組みについて	有山記念講堂	全職員	290
18	12月27日	25分	セーフティレクチャー	当院の感染対策の取り組みについて	有山記念講堂	全職員	186
19	平成23年 1月27日	25分	セーフティレクチャー	インフルエンザ・感染性胃腸炎について	有山記念講堂	全職員	163
20	2月24日	25分	セーフティレクチャー	インフルエンザ・感染性胃腸炎について	有山記念講堂	全職員	212
21	3月24日	25分	セーフティレクチャー	感染対策の方針と活動の成果	有山記念講堂	全職員	375
22			e-learning	当院の感染対策について	—	全職員	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年11回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">*薬学生の実務実習カリキュラムとその実施について*DPCと血漿分画製剤*内服処方せんの記載方法と変更について*PD-Sideについて*接遇マナーについて*RM報告(製剤編)*日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会報告*RM報告(病棟編)*e-learning、平成22年セーフティレクチャー基礎講習会*RM報告(調剤室編)*平成22年度国公立大学病院薬剤部研修会に参加して*第20回日本医療薬学会報告*RM報告(製剤室編)*がん診療連携拠点病院としての業務の現状*薬剤管理指導業務の現状と検証*日本薬学会第131回年会	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有)・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">*医薬品の採用、購入、管理業務*調剤業務*製剤業務(無菌・一般)*医薬品情報業務*医療安全管理業務*教育業務*研修業務	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">*医薬品情報の院内通知*医薬品の副作用情報の収集*診療科との情報共有	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年49回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容：下記機器の使用法、取扱いの注意点等・補助循環装置 *閉鎖式保育器 *パルスオキシメータ *人工呼吸器 *高エネルギー放射線装置 *電気メス *除細動器 *ネブライザ *血液浄化装置輸液ポンプ・シリンジポンプ等 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 (有・無) ・ 保守点検の主な内容： *人工心肺装置定期点検 *閉鎖式保育器定期点検 *麻酔器定期点検 *人工呼吸器定期点検 *血液浄化装置定期点検 *モニター定期点検 他 *除細動器定期点検 *高エネルギー放射線装置定期点検 *輸液ポンプ・シリンジポンプ定期点検 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 日本医療機能評価機構およびPMDAより情報を入手し、リスクマネジメントニュースレター等で周知している。 *No.23- 2「気管チューブの抜けた事例について」 *No.22-10「MRI検査室の金属製品の持ち込みについて」 *No.22-10「人工呼吸器使用中の電源に関する注意点について」等 	